

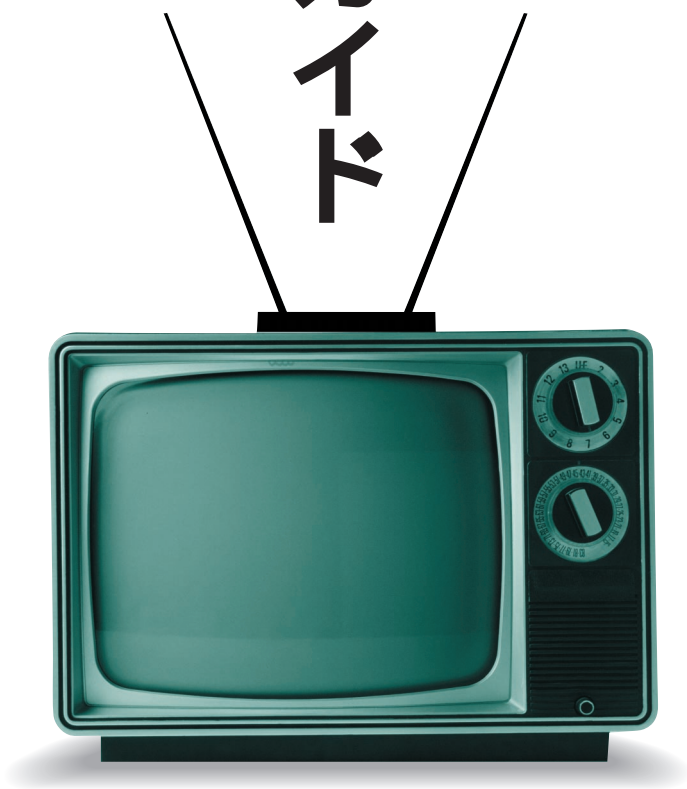


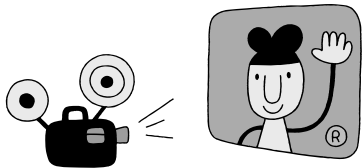
NEC

TVモデル専用の  
機能を使うときの必読書！

# TVモデルガイド

VALUESTAR





# TV モデル ならではの

楽しみ方

「見る」・「録る」・「創る」・「楽しむ」が広がります。

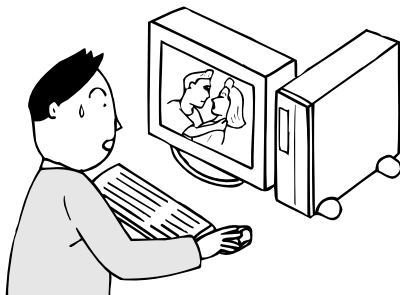
## スムーズに見る・楽しむ

SmartGalleryを使えば、TV番組、音楽、ホームページ、画像、動画などいろいろな種類のデータをスマートにチェックできます。画面に一覧表示するので、目的のものがスムーズに見つかります。また、「スポーツ」や「ドラマ」など、ジャンルからの検索もできます。



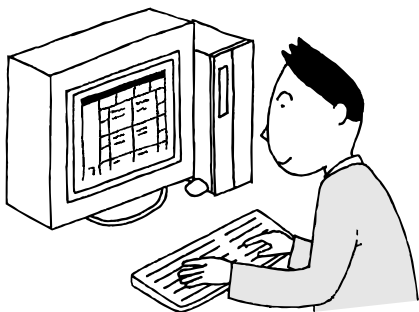
## 便利なテレビ視聴

番組の放送中に一時停止して見たい場面をじっくり見たり、今見たシーンをもう一度見たいときにすぐに再生して見ることができます。



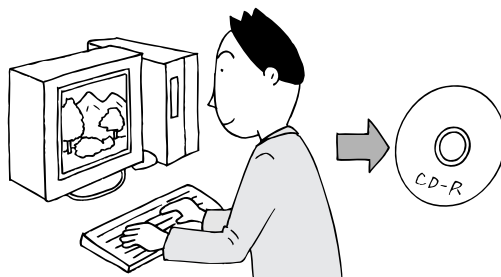
## 録画予約する

テレビ番組表のデータを受信すれば、新聞のテレビ欄から選ぶように番組の録画予約ができます。さらに出演者やジャンルから番組を検索することもできます。



## オリジナル作品を創る

ビデオカメラなどから取り込んだ映像を編集し、オリジナルの作品を作ることができます。CD-R/RWに書き込めば、ライブラリとして保存できます。





## はじめに

このマニュアルでは、パソコンでテレビや地上波データ放送を見たり、録画したり、映像を取り込むなど、TVモデル特有の機能や使い方を説明しています。また、機能仕様などの説明も記載しています。

このマニュアルで、TVモデルの機能を使いこなし、楽しく活用してください。

2000年 8月 初版

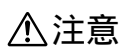
## このマニュアルの表記について

このマニュアルでは、パソコンを安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています



**警告**

注意事項を守っていただけない場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示します。



**注意**

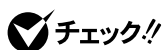
注意事項を守っていただけない場合、人が傷害を負う可能性が想定されること、または物的損害のみ発生が想定されることを示します。



感電注意

注意事項を守っていただけない場合、発生が想定される障害または事故の内容を表しています。左のマークは感電の可能性が想定されることを示しています。このほかに、発火注意、けが注意、高温注意についても、それぞれ記載しています。

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります



**チェック!!**

してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。



パソコンで起きている問題点に対する対処方法を示しています。対処のしかたがいくつかあるときは、この記号の確認事項をチェックして、あてはまるものをさがしてください。



**用語**

パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。



**参照**

マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。


このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

**【 】**


【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。

**プリンタ、コネクタなど**

「プリンター」や「コネクター」などの末尾に付く「ー」を省略して表記しています。これは、パソコンの画面に表示される用語や、パソコン関連書籍などでよく使われている表記に準拠しているためです。

 **「添付ソフトの使い方」**

「スタート」-「サポートセンタ」-「添付ソフトの使い方」を開き、各ソフトの使い方を参照することを示します。「添付ソフトの使い方」は、「ランチ-NX」から開くこともできます。

 **「サポートセンタ」**

「サポートセンタ」を起動して、各項目を参照することを示します。「サポートセンタ」は画面右上の「サポートセンタ」をクリックして起動します。

このマニュアルでは、各モデル（機種）を次のような呼び方で区別しています  
表をご覧になり、購入された製品の型名とマニュアルで表記されるモデル名を確認してください。

このパソコン、本機 | 表の各モデル(機種)を指します。

TVモデル | テレビ/地上波データ放送を見るための機能を搭載したモデルのことです。

型名	型番	表記の区分				
		本体の形状	内蔵CD-R/RW・DVD-ROM	ディスプレイ	添付アプリケーション	スピーカ
VT667J/3FD4	PC-VT667J3FD4	コンパクトタイプ・TVモデル	CD-R/RW with DVD-ROMモデル	液晶ディスプレイ セットモデル(15型液晶)	Office 2000モデル	サラウンドスピーカシステム (5.1チャンネル対応)
VT667J/3FD3	PC-VT667J3FD3					ステレオスピーカ

購入された製品の型名、型番の末尾に「9」が付加されている場合は、末尾の「9」を除いて、モデル名を確認してください。

## 本文中の画面、ホームページ

本文中の画面は、モデルによって異なることがあります。また、実際の画面とは多少異なることがあります。本文中に使用しているホームページは、実際にご覧になるものと異なる場合があります。

## このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

(本文中の表記)	(正式名称)
Windows、 Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating System 日本語版
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
Office 2000 Personal	Microsoft® Office 2000 Personal ( Microsoft Word 2000、 Microsoft Excel 2000、Microsoft Outlook® 2000、Microsoft/ Shogakukan Bookshelf® Basic )
MS-IME2000	Microsoft® IME 2000
インターネットエクスプローラ、 Internet Explorer	Microsoft® Internet Explorer 5.0 1
VideoStudio	Ulead VideoStudio Version4.0

## ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBit-INN、またはNECパソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。ご購入元までご連絡ください。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- (5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外 NEC では、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているMicrosoft® Windows® 98および本機に添付のCD-ROM、DVD-ROMは、本機のみでご使用ください。
- (8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
- (9) あなたがテレビ放送や録画物などから引用したものは、個人として楽しむなどのほかに、著作権上、権利者に無断で使用できません。

---

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Outlook、FrontPage、DirectShowおよびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Bitcastおよびビットキャストの名称、ロゴは、株式会社インフォシティの登録商標です。

ADAMS (TV-Asahi Data And Multimedia Service) は、テレビ朝日データ株式会社によるWebデータを配信するデータ多重放送サービスです。

ビットキャストブラウザで表示する地図の作成にあたっては、建設省国土地理院の承認を得て、同院発行の300万分の1日本とその周辺、および50万分の1地方図を使用したものです。(承認番号平11総使、第371号)

Ulead、VideoStudioは、Ulead Systems, Inc.の登録商標です。

DVDIt!は、米国Sonic Solutions社の米国およびその他の国における商標です。

Intel、Pentiumは、Intel Corporationの登録商標です。

Hayesは、米国Hayes Microcomputer Productsの登録商標です。

MNPは、Microcom, Inc.の登録商標です。

SmartGallery、ThumbsStudio、SmartVisionは、日本電気株式会社の商標または登録商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

---

---

© NEC Corporation 2000

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

---

#### 輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。

本製品は日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。

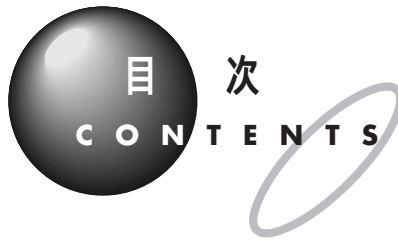
また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等はありません。

本製品の輸出については、外国為替及び外国貿易法に基づいて通商産業省の許可が必要となる場合があります。

必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。

輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせ下さい。

---



# 目次

## CONTENTS

はじめに .....	i
このマニュアルの表記について .....	ii

### PART

## 1

## テレビを見る準備をしよう..... 1

### アンテナ線を接続する..... 2

アンテナ線の種類を確認する .....	3
ケーブルにF型コネクタプラグを取り付ける .....	5
アンテナ線を本体につなぐ .....	7

### LINE ケーブルを接続する..... 8

### スピーカを接続する..... 10

スピーカを接続する(VT667J/3FD4の場合) .....	11
スピーカを接続する(VT667J/3FD3の場合) .....	14

### 受信チャンネルの設定をする..... 16

SmartVision/TV を起動する .....	16
チャンネルを設定する .....	17
チャンネルの設定を確認する .....	20
SmartVision/TV を終了する .....	20

### テレビ番組表の設定をする..... 21

番組表を受信する .....	21
受信した番組表を見る .....	24
番組表を自動受信できるようにする .....	25
番組表のチャンネルを設定する .....	27
録画予約に使用するアプリケーションを選択する .....	28
パソコンの時計を合わせる .....	29
SmartVision/EPG を終了する .....	31

### PART

## 2

## テレビを見よう..... 33

### パソコンで広がるテレビの楽しみ方..... 34

タイムシフトモードについて .....	35
---------------------	----

### テレビ番組を見る..... 36

SmartVision/TV を起動する .....	36
----------------------------	----



コントロールバーを使って操作する .....	38
一時停止して見たい場面を見逃さない .....	39
もう一度見たいシーンをすぐに再生する .....	39
録画しながらテレビを見る .....	40
番組の詳細表示を見る .....	41
裏番組を表示する .....	41
ウィンドウサイズを変更する .....	42
音声を切り替える .....	43
SmartVision/TV の設定について .....	43
SmartVision/TV を終了する .....	44

## テレビ番組を録画しよう..... 45

<b>テレビ番組を録画する</b> .....	46
録画について .....	46
SmartVision/TV を起動する .....	47
番組を録画する .....	48
<b>録画予約する</b> .....	49
SmartVision/EPG を起動する .....	49
番組表から番組を選んで予約する .....	50
手動で番組を予約する .....	52
ジャンルや出演者で番組を検索して予約する .....	53
予約の確認や変更をする .....	55
番組を録画する .....	57
予約実行結果を確認する .....	58
SmartVision/EPG を終了する .....	59
<b>録画したテレビ番組を再生する</b> .....	60
録画した番組を再生する .....	60
録画終了を待たずに再生する .....	63
<b>キーボードの【テレビ】ボタンを使う</b> .....	64

**PART**

**4**

**映像を編集してみよう ..... 65**

**テレビの映像を静止画にしてパソコンに取り込もう ..... 66**

静止画の取り込みについて ..... 66

ビットキャストブラウザを起動する ..... 67

「キャプチャ設定」ウィンドウを表示させる ..... 68

静止画の取り込み方を決める ..... 69

静止画を取り込む ..... 70

ファイル名を指定して静止画を取り込む ..... 71

取り込んだ静止画を確認する ..... 71

**外部ビデオ機器から映像を取り込もう VideoStudio ..... 72**

本体に外部ビデオ機器を接続する ..... 72

Video Wizard を起動する ..... 73

映像を取り込む ..... 74

**取り込んだ映像を編集しよう ..... 76**

映像にタイトルや効果を入れる ..... 78

編集した映像を再生する ..... 79

**DVD タイトルを作成する ..... 80**

VideoStudio で編集する ..... 81

DVDit! で編集できるデータにする ..... 85

DVDit! で仕上げる ..... 88

DVD タイトルを保存する ..... 92

**DVD タイトルを再生する ..... 94**

ハードディスクに保存した DVD タイトルを再生する ..... 94

CD-R/RW に保存した DVD タイトルを再生する ..... 96

**PART**

**5**

**取り込んだ映像を活用しよう ..... 97**

**やりたいことはスマートにはじめよう ..... 98**

SmartGallery を起動する ..... 98

SmartGallery のウィンドウについて ..... 99

基本的な使い方 ..... 100

ファイルを開く ..... 102

SmartGallery を活用しよう .....	103
情報を入力する .....	103
表示する画像を変える .....	104
お気に入りの画像を電子メールに添付する .....	106
録画したテレビ番組を探す .....	107
録画したテレビ番組を MD に録音する .....	108
<b>地上波データ放送を見よう .....</b>	<b>111</b>
地上波データ放送とは .....	112
ビットキャスト放送を見よう .....	113
ビットキャストブラウザを起動する .....	113
チャンネルを合わせる .....	115
コントロールバーを使ってテレビを見る .....	116
受信した情報を見る .....	118
インターネットのホームページを見る .....	122
ビットキャストローダーで情報を受信する .....	124
表示モードを切り替える .....	126
ウィンドウサイズを変更する .....	127
カラー調整をする .....	128
ビットキャストブラウザを終了する .....	130
ADAMS 放送を見よう .....	131
ADAMS ナビを起動する .....	131
チャンネルを合わせる .....	132
ADAMS 放送を見る .....	133
ADAMS ナビを終了する .....	135
文字放送を見よう .....	136
モジモジ-NX を起動する .....	136
チャンネルを合わせる .....	137
文字放送を見る .....	139
モジモジ-NX を終了する .....	139
字幕放送を見よう .....	140
字幕放送を見る .....	140

字幕表示の設定をする .....	140
<b>TV モデル Q&amp;A .....</b>	<b>141</b>
<b>テレビがうまく見られないときには .....</b>	<b>142</b>
テレビが映らない .....	142
テレビの音が出ない .....	143
音が出ない、音が大きすぎる .....	143
テレビの画面が白っぽい .....	144
<b>視聴予約 / 録画予約ができないときには .....</b>	<b>145</b>
番組表が受信できない .....	145
録画予約した番組が録画されていない .....	145
<b>動画や静止画をうまく取り込めないときには .....</b>	<b>146</b>
キャプチャできない .....	146
動画キャプチャでテレビやVTRの音声がキャプチャされない、 SmartVision/TVで音が出ない .....	147
取り込んだ動画の画質が悪い .....	148
VideoStudioでテレビの映像をキャプチャしたい .....	149
<b>SmartGallery がうまく動かないときには .....</b>	<b>151</b>
動画の簡易再生ができない .....	151
保存したマルチメディアデータが SmartGallery の一覧に 見あたらない、SmartVision/TVで録画したはずのデータが SmartGallery の一覧に見あたらない .....	151
<b>地上波データ放送がうまく見られないときには .....</b>	<b>152</b>
地上波データ放送が受信できない、または、データの取りこぼしが起きる ...	152
「キャッシュコントロール」の内容が更新されない。画面下の 「ビットマークウィンドウ」に出てくるはずの「ビットマーク」 がいくら待っても表示されない .....	154
テレビは表示されるが、ビットキャスト放送が受信できない .....	154
受信したビットキャスト放送 (Web ページ) が自動的に表示 されない .....	154
「ビットキャストブラウザ」に表示されているリンクから、 インターネット上の Web ページにアクセスできない .....	154
キャッシュやアーカイブを他のドライブやフォルダに移動したい ...	155
キャッシュやアーカイブのデータベースが大きくなってしまった ...	155

「ADAMS」の内容が更新されない.....	156
スタンバイ状態にしようとする、「デバイスドライバがプログラムが原因で、待機モードに入れません。すべてのプログラムを終了してから、もう一度やり直してください。」と表示された.....	156

## 付 録 ..... 157

本体の各部の名称.....	158
---------------	-----

機能仕様.....	162
-----------	-----

このパソコンが使用しているリソース.....	164
------------------------	-----

## 索 引 ..... 165

P A R T

# 1

## テレビを見る準備をしよう

このパソコンでテレビや地上波データ放送を見るには、アンテナ線やスピーカの接続、受信チャンネルやテレビ番組表の設定などが必要です。

## アンテナ線を接続する

テレビや地上波データ放送を見る場合には、アンテナに接続されているケーブルにF型コネクタプラグ(別売)を取り付け、それをパソコン本体背面につなぎます。

### 警告



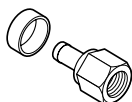
雷が鳴り出したら、電源ケーブル、ACアダプタ、ディスプレイのケーブル、モジュラーケーブル(電話線)、アンテナ線の接続作業を中止してください。

落雷による感電のおそれがあります。

ここでは、アンテナ線など、TVモデル専用に必要なものの接続について説明しています。パソコンの設置のしかた、キーボードやディスプレイなどの機器の接続については、『はじめにお読みください』のPART1、PART2を必ずご覧ください。

### 用意するもの

#### 市販のF型コネクタプラグ、または市販のF型コネクタプラグ付きアンテナケーブル



F型コネクタプラグ



F型コネクタプラグ付きアンテナケーブル

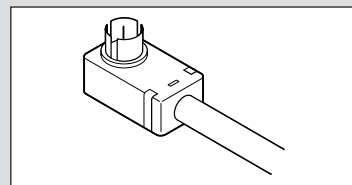
F型コネクタプラグやF型コネクタプラグ付きアンテナケーブルは、このパソコンには添付されていません。

お使いのアンテナ線の状態に合わせて、適したものをお買い求めください。

### チェック!!

アンテナ線とパソコン本体を接続するときは、ノイズの影響を受けにくいネジ式のF型コネクタプラグを使用してください。

下の図のような形をしたプラグをパソコン側のコネクタに使用すると、ノイズの影響を受けやすくなり、データ放送を正常に受信できないことがあります。



このほか、アンテナ線の状態によっては、U/V混合器や分配器が必要になります。

### 参照

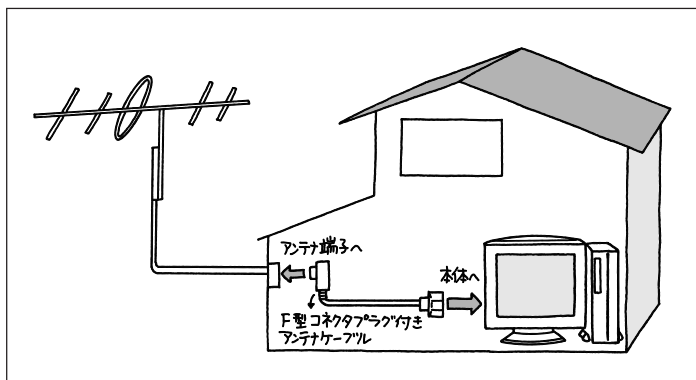
アンテナ線の種類の確認 次ページの「アンテナ線の種類を確認する」

## アンテナ線の種類を確認する

いま使っているアンテナ線はどうなっていますか？

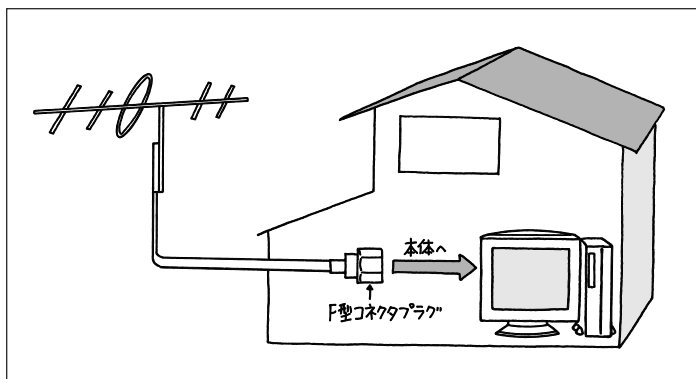
マンションなどで、壁面にアンテナ端子だけある場合は、別にアンテナケーブルをお買い求めいただくことになります。ケーブルにF型コネクタプラグのついた同軸ケーブルをお買い求めください。本体側にF型コネクタプラグの付いた方を接続します。

詳しくはお近くの電器店などにご相談ください。



アンテナ線が1本( UHFのみまたはVHFのみか、UHF/VHF混合 )のときは、アンテナ線の先端にF型コネクタプラグを取り付けてパソコン本体につなぎます。

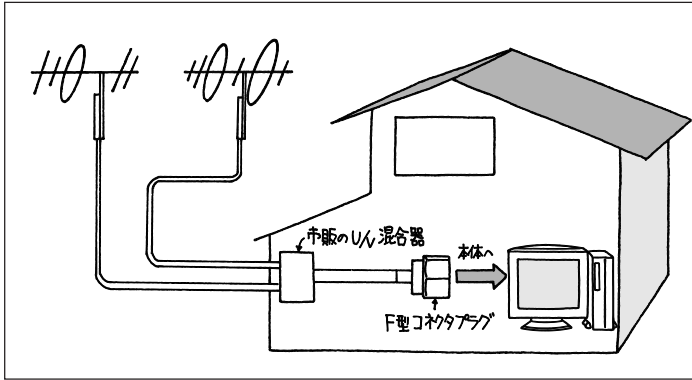
( F型コネクタプラグの取り付け方は p.5 )





アンテナ線が2本(UHFとVHF)あるときは、市販のU/V混合器を取り付けてケーブルを1本にします。そしてケーブルの先端にF型コネクタプラグを取り付けてパソコン本体につなぎます。

(F型コネクタプラグの取り付け方は p.5)



U/V 混合器とその取り付け方についてはお近くの電器店などにご相談ください。

## こんなときは



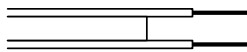
### アンテナ線をパソコン本体とテレビ(またはビデオ)の両方に接続したい

市販の分配器を使って、アンテナ線を2つにすることができます。分配したあとで、市販のF型コネクタプラグの付いた同軸ケーブルで、パソコンと接続してください。ただし、分配することにより信号が弱くなります。電波状況によってはアンテナブースタが必要になります。詳しくは、お近くの電器店などにご相談ください。



### アンテナ線に平行フィーダを使っている

アンテナ線に平行フィーダ(下の図左)を使っている場合は、市販の整合器を使用して、同軸ケーブルに変更してください。詳しくは、お近くの電器店などにご相談ください。



平行フィーダ線



同軸ケーブル

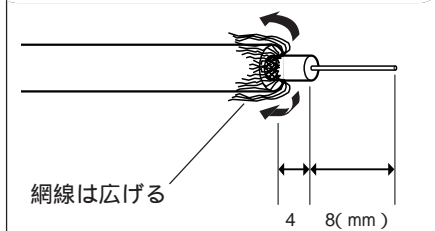
## ケーブルにF型コネクタプラグを取り付ける

1

アンテナ線の先を持つ

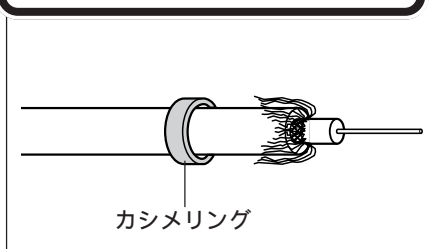
2

カッターを使って、およそ次のような寸法にケーブルを加工する



3

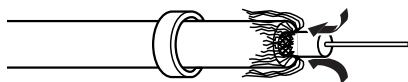
カシメリングをケーブルに通す



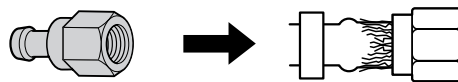
4

F型コネクタプラグを図のようにケーブルに押し込む

網線と白い部分の間に入れる



下の図のように押し込む



あらかじめ、市販のF型コネクタプラグと、お手持ちのカッター、ペンチを用意してください。

F型コネクタプラグは、ケーブルの太さにあったものをお買い求めください。

網線の端を少し切っておくと、あとでケーブルにカシメリングを通す際に作業しやすくなります。

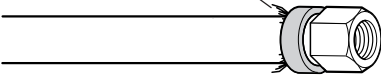
金属線は折れやすいので、カッターで傷ついたり、曲げないように注意してください。

カシメリングは、F型コネクタプラグが抜けにくいよう締めるためのものです。

5

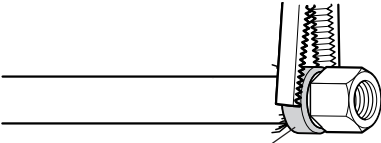
カシメリングをF型コネクタプラグのつけ根あたりに持ってくる

網線はリングに通す



6

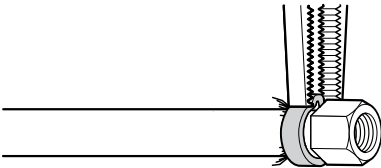
カシメリングをペンチなどではさみ、軽くつぶす



カシメリングをだ円状にする

7

ケーブルをカシメリングの片側に寄せて、すきまがある部分をペンチなどではさんで締める



8

カシメリングからはみ出した網線を、カッターなどで切り取る

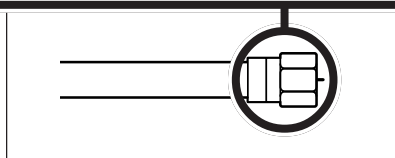
## アンテナ線を本体につなぐ

1

本体や周辺機器の電源を切り、  
電源ケーブルを取り外す

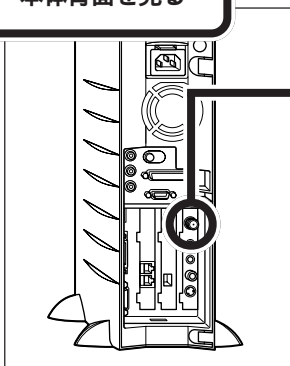
2

F型コネクタプラグを取り付けた  
ケーブルを持つ



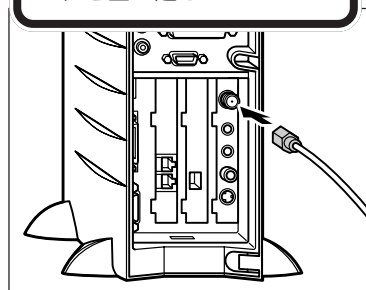
3

本体背面を見る



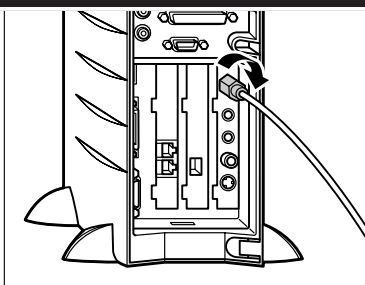
4

「VHF/UHF」と書か  
れているコネクタにブラ  
グを差し込む



5

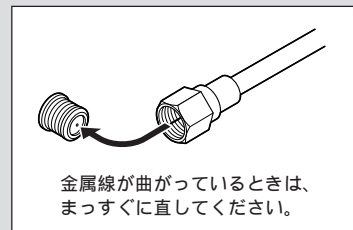
F型コネクタプラグの先端のネジを右  
へ回し、止まるまでしっかり固定する



ここでは、ディスプレイが、すでに本  
体と接続されていることを前提とし  
ています。

まだ、本体にディスプレイを接続して  
いない場合は、『はじめにお読みくださ  
い』をご覧ください。

コネクタ中心部の小さな穴に、F型コ  
ネクタプラグの中心にある金属線を  
差し込んでください。



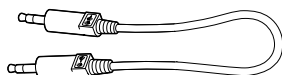
金属線が曲がっているときは、  
まっすぐに直してください。

金属線は折れやすいので、ていねい  
に扱ってください。

# LINE ケーブルを 接続する

本体背面の LINE 端子と地上波 TV & データボードを、  
LINE ケーブルで接続します。

## 用意するもの

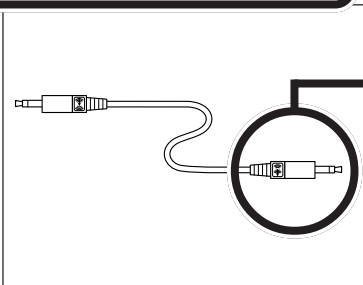


LINE ケーブル

LINE ケーブルは、添付品収納箱に入っています。

1

LINE ケーブルを確認する



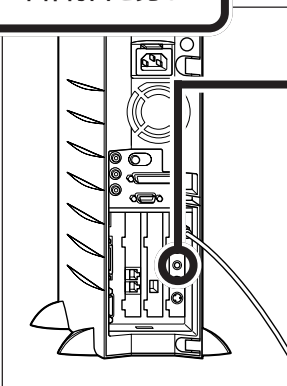
2

⦿(黄緑色)のつ  
いた方のプラグを  
持つ



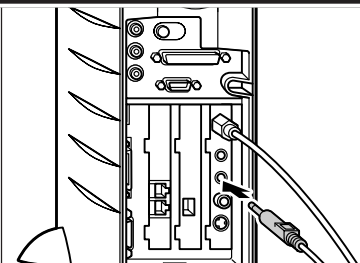
3

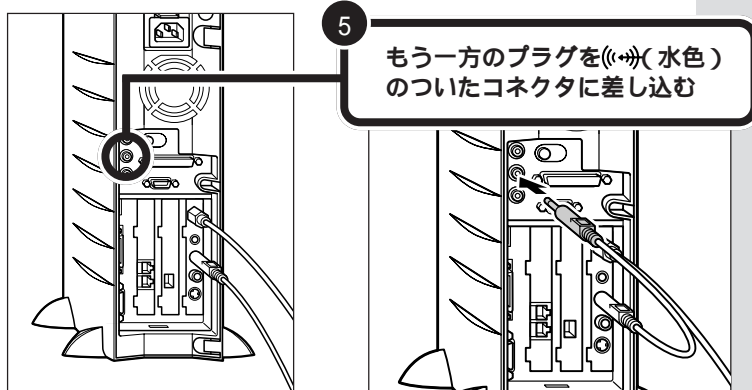
本体背面を見る



4

LINE ケーブルのプラグを⦿(黄緑  
色)のついたコネクタに差し込む





6

p. 7 の手順 1 で取り外した電源ケーブルを接続し直す

**✓チェック!!**

外付けスピーカーを使う場合は、スピーカーを接続してから、電源ケーブルを接続してください。

# スピーカを接続する

このパソコンに添付の外付けスピーカを接続すれば、より高音質な音を楽しむことができます。

## ⚠ 注意



感電注意

濡れた手で電源ケーブルのプラグを抜き差ししないでください。

感電の原因になります。



発火注意

タコ足配線にしないでください。

タコ足配線にすると、コンセントが過熱し、火災の原因になります。



感電注意

電源ケーブルの上には、絶対に重いものをのせないでください。

ケーブルに傷がついて、感電や火災の原因になります。



発火注意



感電注意

電源ケーブルは、必ず添付の電源ケーブルを使用してください。

スピーカの AC アダプタは、添付のスピーカ専用 AC アダプタを使用してください。



発火注意

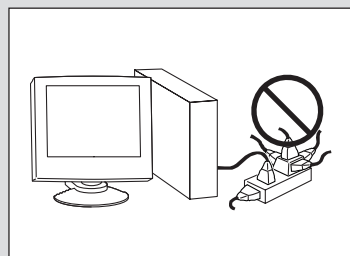
添付以外の電源ケーブルまたは AC アダプタを使用すると、感電、発煙、発火の原因となります。



発火注意

スピーカの AC アダプタの、ケーブルのつけ根部分を無理に折り曲げないでください。

壁に押しつけて曲がった状態など、ケーブルのつけ根部分を圧迫するような状態で使用すると、発煙、火災の原因となります。

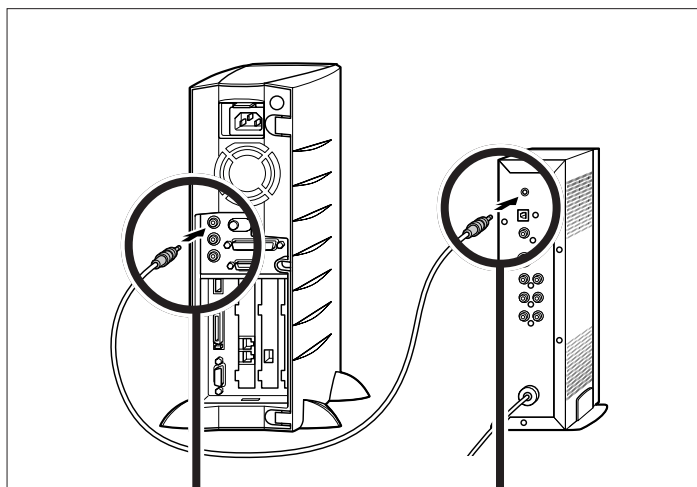


お使いの機種によって、スピーカの接続のしかたは異なります。  
お使いの機種の型名を確認して、あてはまるページへ進んでください。

VT667J/3FD4 の場合は **次ページへ進む**

VT667J/3FD3 の場合は **p.14 へ進む**

## スピーカを接続する(VT667J/3FD4の場合)



1

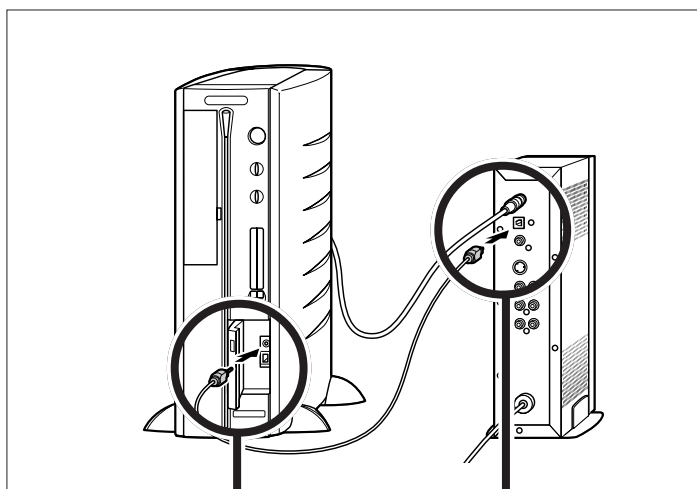
ミニプラグケーブルを、本体背面の(←→)の付いたコネクタ(3つのコネクタの一番上)に差し込む

2

もう一方のプラグを、デコーダ背面のINPUT3と書かれたコネクタに差し込む

外付けスピーカを接続する場合は、スピーカを接続してから、パソコン本体やデコーダ、サブウーファの電源ケーブルを接続してください。

デコーダ、ミニプラグケーブルは、スピーカセットの梱包箱に入っています。



3

光ケーブルの細長い形状のコネクタ、本体前面の(≡≡)の付いたコネクタに差し込む

4

もう一方の四角形状のプラグを、デコーダ背面のINPUT1と書かれたコネクタに差し込む

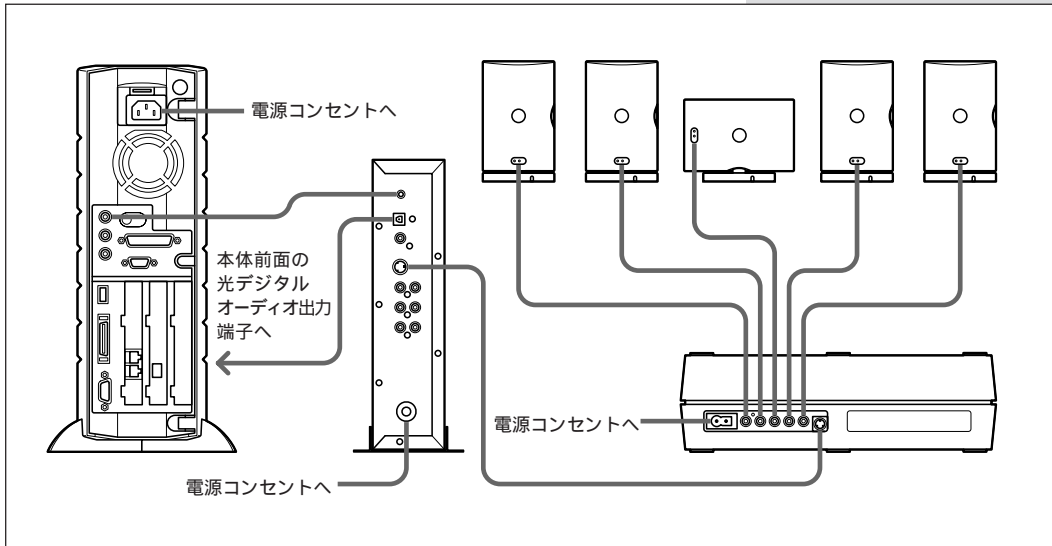
光ケーブルは、スピーカセットの梱包箱に入っています。



5

## デコーダとサブウーファ、スピーカの接続をする

それぞれのスピーカの接続方法や配置図について詳しくは、スピーカに添付のマニュアルをご覧ください。



### ✓チェック!!

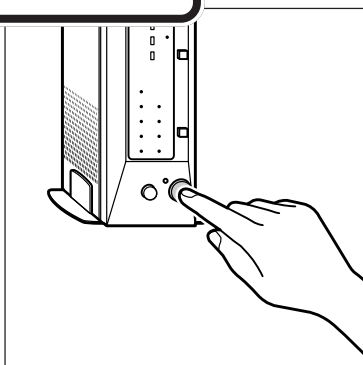
DVDプレーヤーで、5.1チャンネル対応ソフトを5.1チャンネルで再生するには、設定の変更が必要です。詳しくはDVDプレーヤーのヘルプをご覧ください。

## スピーカの電源を入れる(VT667J/3FD4の場合)

1

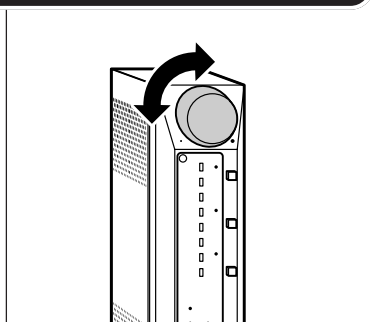
## デコーダの電源スイッチを押す

電源が入り、デコーダの電源ランプが点灯する



2

## デコーダのボリュームつまみを回す



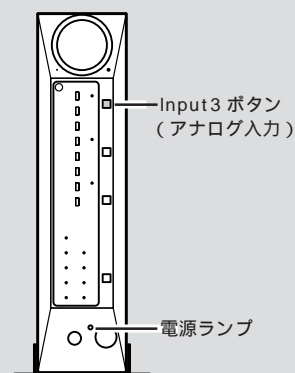
ボリュームつまみを左右に回して音量を調整する

## 音楽CDをサラウンドスピーカシステム(5.1チャンネル対応)で聞くには

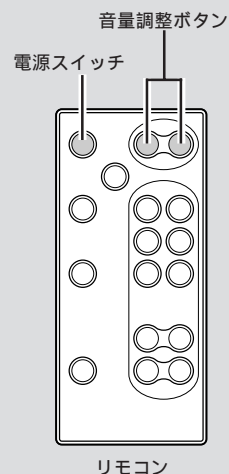
- ・アナログで音を聞くには  
デコーダの「Input3」(アナログ入力)ボタンを押して、デコーダの設定を切り替えてご使用ください。
- ・デジタルで音を聞くには  
ご購入時の状態では、音楽CDは光デジタル出力できません。音楽CDを光デジタル出力できるようにするには、音楽CDを再生していない状態で「スタート」「設定」「コントロールパネル」「システム」の「デバイスマネージャ」で「サウンド、ビデオおよびゲームコントローラ」の左の[+]をクリックした後、「Creative SB AudioPCI 64V」をダブルクリックします。「Creative SB AudioPCI 64Vのプロパティ」画面が表示されるので、「設定」タブをクリックし、「CD-DAデジタルリプレイ」を[✓]にしてください。

マイクから入力される音やビットキャストブラウザのテレビの音声など、一部、光デジタル出力されない音があります。これらの音(アナログ)を外付けスピーカから聞くときは、デコーダの「Input3」(アナログ入力)ボタンを押して、デコーダの設定を切り替えてご使用ください。

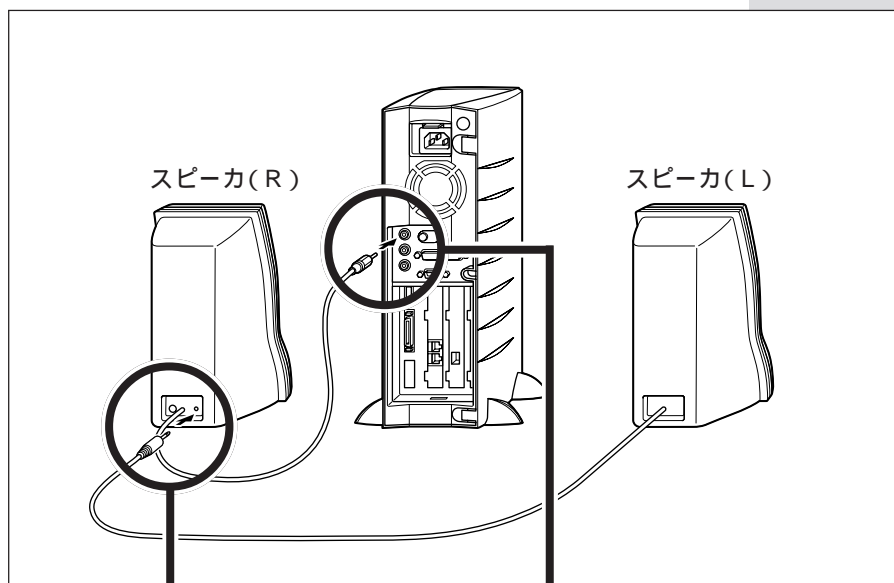
スピーカやデコーダについて詳しくは、スピーカに添付のマニュアルをご覧ください。



リモコンを使って電源を入れたり、音量を調整することもできます。詳しくはスピーカに添付のマニュアルをご覧ください。



## スピーカを接続する(VT667J/3FD3の場合)



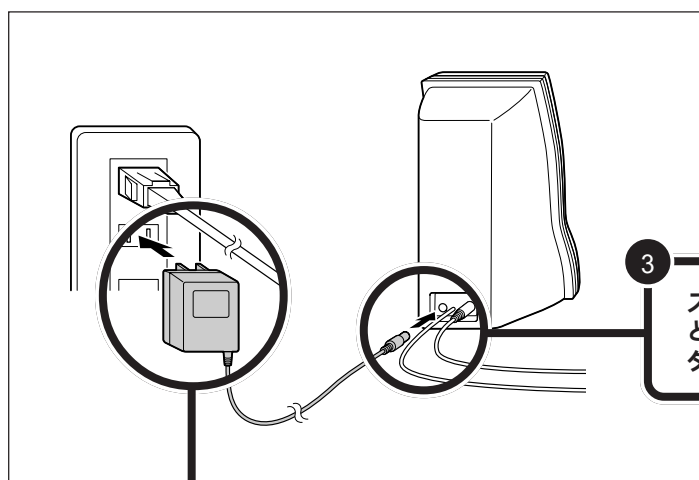
電源スイッチやボリュームのついている方が、スピーカ(R)です。もう一方が、スピーカ(L)です。

1

スピーカ(L)のプラグを、スピーカ(R)の口の付いたコネクタに差し込む

2

スピーカ(R)のプラグを、本体背面の(⚡)の付いたコネクタ(3つのコネクタのうち一番上)に差し込む



ACアダプタは、スピーカセットの収納箱に入っています。

外付けスピーカを接続する場合は、スピーカを接続してから、パソコン本体の電源ケーブルやACアダプタを接続してください。

3

スピーカ(R)背面の12VDCと書かれたコネクタに、ACアダプタのプラグを差し込む

4

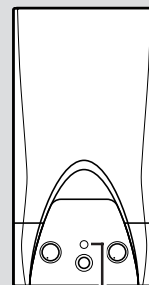
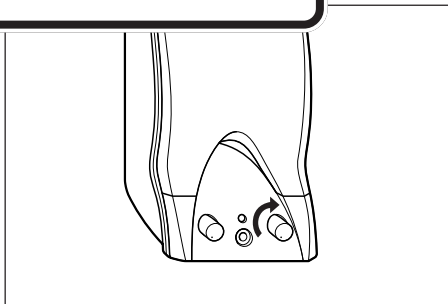
ACアダプタを壁などのコンセントに差し込む

## スピーカの電源を入れる(VT667J/3FD3の場合)

1

スピーカのボリュームつまみを右にカチッと音がするまで回す

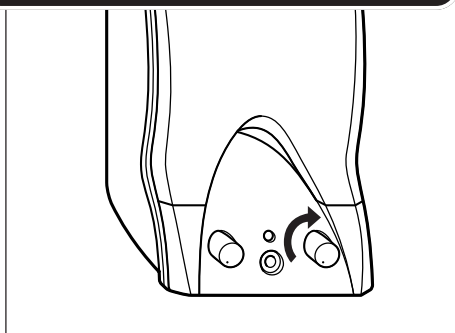
スピーカの電源が入り、  
スピーカの電源ランプ  
が点灯する



電源ランプ

2

スピーカのボリュームつまみを回す



ボリュームつまみを右側に回して、音量を調整する

# 受信チャンネルの設定をする

テレビ放送を受信するためには、チャンネルの設定が必要です。

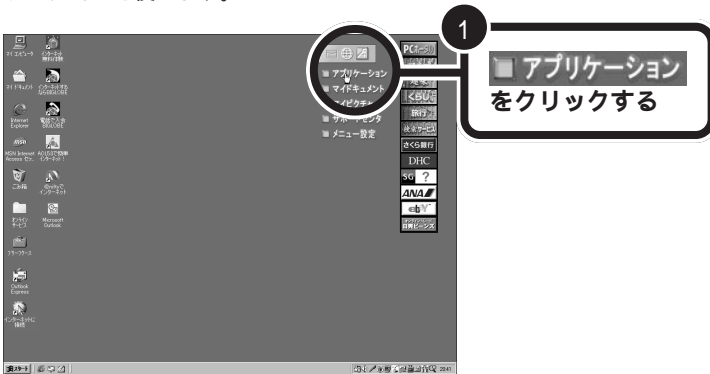
チャンネルを設定する前に、アンテナの接続が正しく行われているか確認してください。

📖 参照

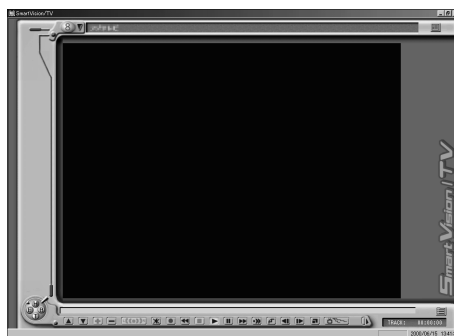
アンテナの接続 このPARTの「アンテナ線を接続する」(p.2)

## SmartVision/TV を起動する

このパソコンでテレビを見る時は、「SmartVision/TV」というアプリケーションを使います。




SmartVision/TV が表示される




SmartVision/TVを利用できる解像度と表示色は、「800 × 600 ピクセル、65,536 色 (High Color)」以上です。

📖 参照

解像度と表示色の設定について  「添付ソフトの使い方」「ディスプレイの設定」

はじめてSmartVision/TVを起動すると、「SmartVision/TVご利用にあたって」の画面が表示されます。注意事項をお読みの上、「次回起動時、このダイアログを表示しない。」のをクリックしてにしてください。次回起動時から表示されなくなります。

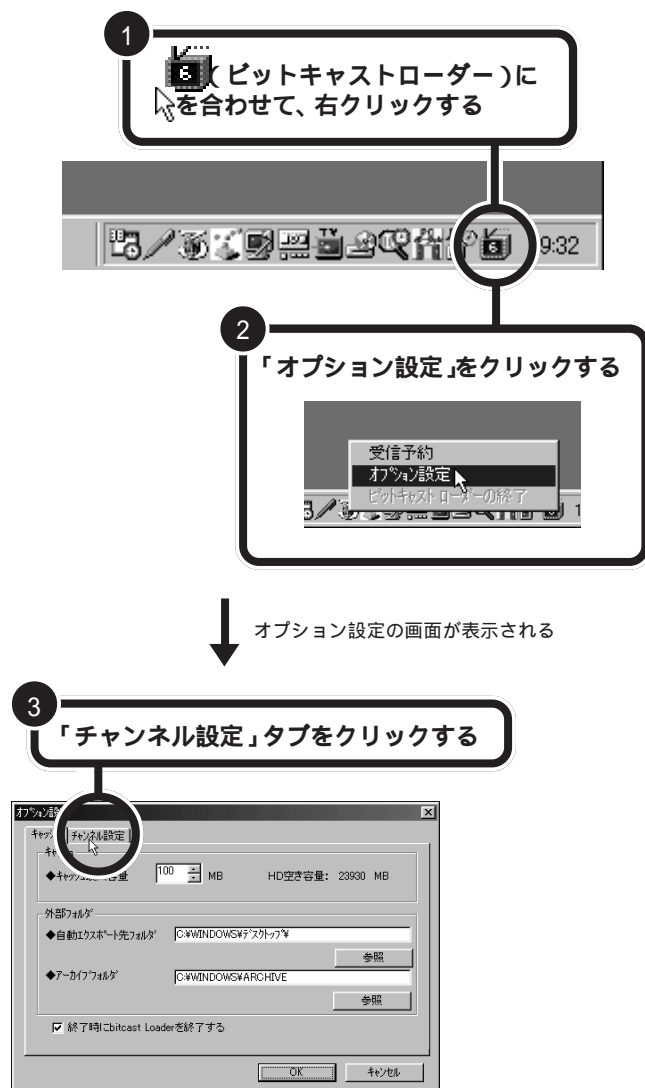
SmartVision/TV と同時にビットキャストローダーが起動して、画面右下のタスクトレイに  が表示されます。

## チャンネルを設定する

購入時のチャンネル設定は関東地方の設定(UHFは除く)になっています。関東地方以外にお住まいの方は、以降の手順にしたがってチャンネルの設定をしてください。

### チャンネルを設定するためのウィンドウを開く

チャンネルの設定は、ビットキャストローダーから「オプション設定」を起動して行います。まず、「オプション設定」のウィンドウを開いてみましょう。



チャンネル設定の画面が表示されます。次ページからの手順にしたがって、チャンネルを設定してください。

## チャンネルを一括して設定する

表示された日本地図上で、パソコンを設置した場所(ご自宅や会社など)に一番近いTV中継塔の位置を選択すると、自動的にすべてのチャンネルが一括して設定されます。

チャンネルの設定では、12局分の放送局を登録することができます。選択できるチャンネルは、1～62チャンネル(VHF:1～12、UHF:13～62)までです。



1 「詳細設定」をクリックする



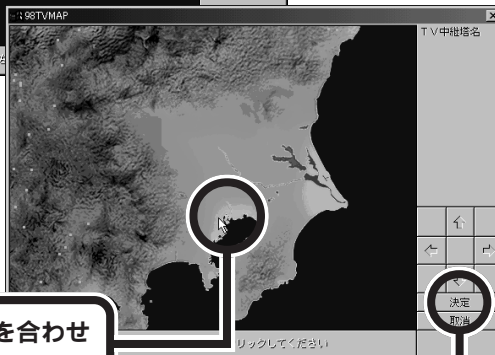
2 VHFの欄の右にある「変更」をクリックする

日本地図が表示される



3 パソコンを設置した場所付近をクリックする

クリックした付近の詳細な地図と近辺にあるTV中継塔が水色の点で表示される



4 TV中継塔にマウスを合わせてクリックする

5 「決定」をクリックする

6 同様の手順で、UHFのチャンネル設定も行う

ここでは例として、「東京」を選択しています。

TV中継塔の位置は、水色の点で表示されています。TV中継塔を選んでクリックすると $\oplus$ になり、近辺のTV中継塔も赤い点で表示されます。

一度、TV中継塔をクリックした後は、画面の右上に表示されるTV中継塔名から、パソコン設置場所に一番近いTV中継塔をクリックして選ぶこともできます。



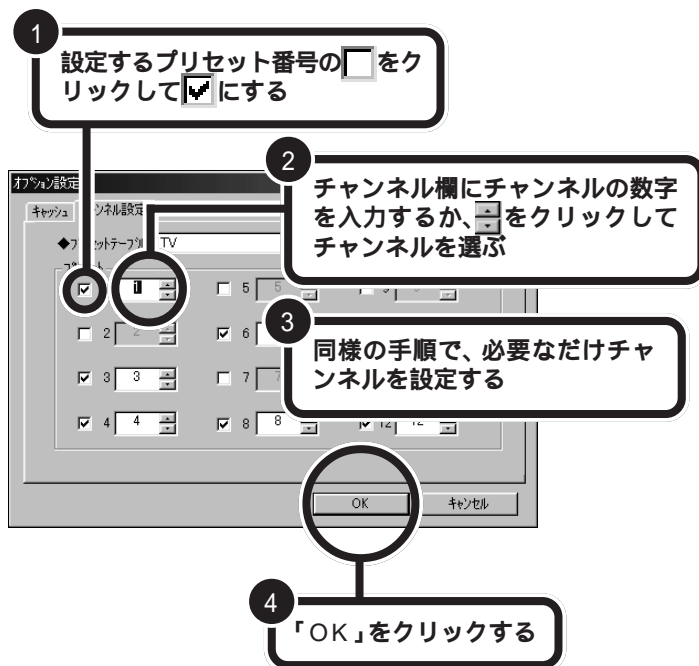


7 「OK」をクリックする



8 「OK」をクリックする

### チャンネルを個別に設定する



### ✓チェック!

地域によっては、チャンネルを一括して設定する方法ではうまく設定できない場合があります。目的のチャンネルをうまく設定できない場合は、選ぶTV中継塔を変更するか、またはチャンネルの個別設定で調整してください。

ここでは、「プリセット」の1から12の番号に、受信できる放送局のチャンネルを割り当てます。例えば、1番の左の  をクリックして  にし、チャンネル欄で「6」を選ぶと、「プリセット」の1番には「6」チャンネルが割り当てられます。

この場合は、SmartVision/TVの画面( p.16 )やビットキャストブラウザのコントロールバー( p.116 )に表示されるチャンネルを「1」にすると、「6」チャンネルの放送を受信する設定になります。

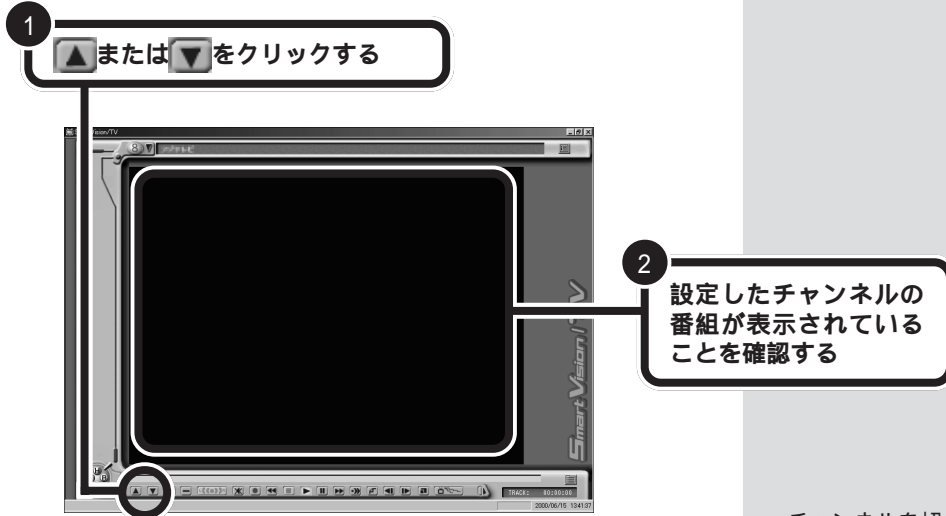
VHF、UHFどちらの設定もここで入力してください。

入力するチャンネルの数字がわからないときは、新聞のテレビ番組欄などで調べて入力してください。



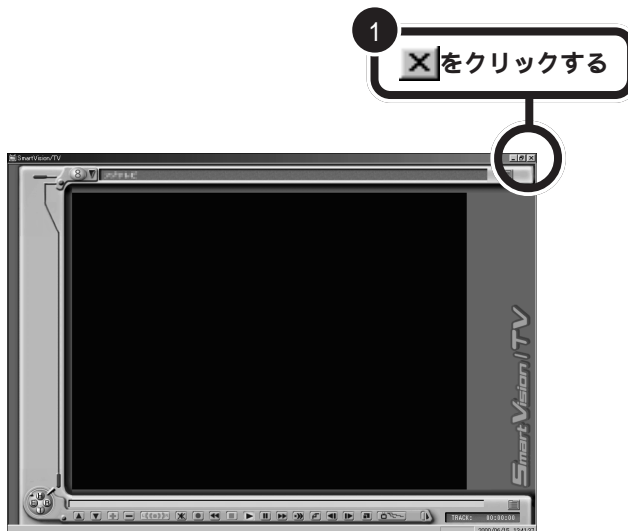
## チャンネルの設定を確認する

チャンネルを設定したら、正しくテレビ番組が表示されるか確認してください。



チャンネルを切り替えると、チャンネルバーにチャンネル番号が表示されます。

## SmartVision/TV を終了する

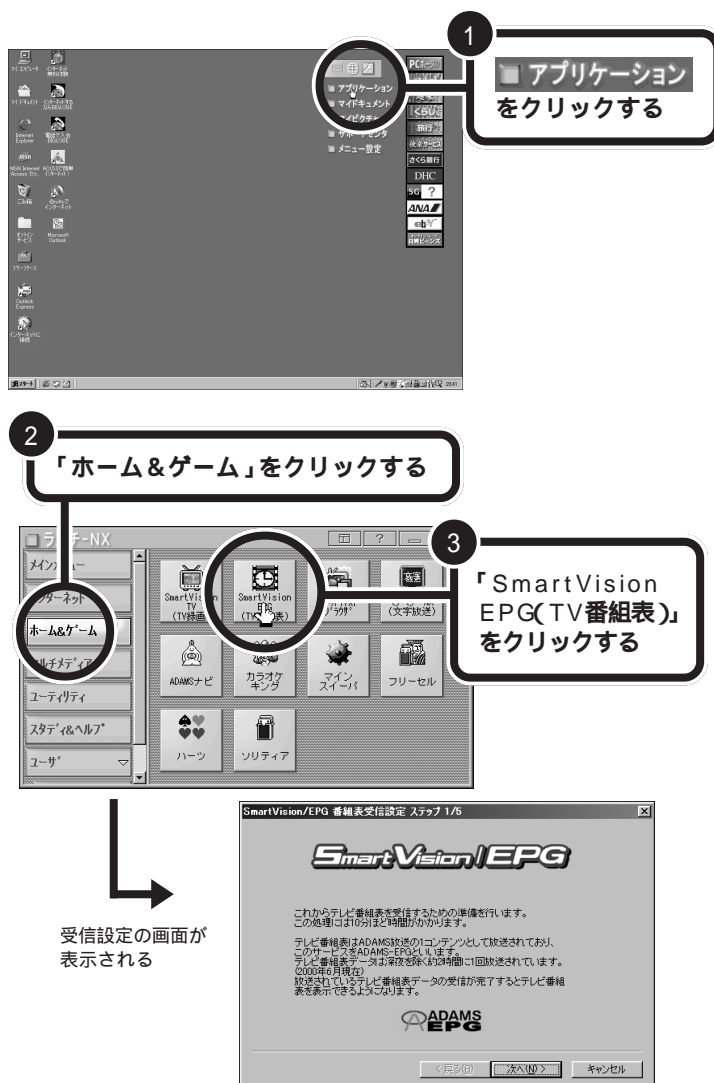


# テレビ番組表の設定をする

チャンネルの設定が終わったら、テレビ番組表を受信するための設定をしましょう。

## 番組表を受信する

テレビ番組の情報は、「SmartVision/EPG」というソフトを使って取り込みます。ご購入後初めて、「SmartVision/EPG」を起動すると、番組表の情報を取得するようにという画面が表示されます。



SmartVision/EPGのEPGは、Electric Program Guideを略したものです。

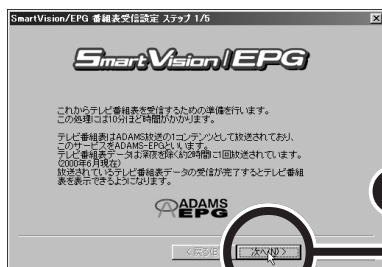
### ✓チェック!

番組表を受信する前に、ADAMS放送が受信できることを確認してください。番組表は、ADAMS放送の1コンテンツとして受信されます。

### 📖参照

ADAMS放送について PART6の「ADAMS放送を見よう」(p.131)

SmartVision/TVから起動するSmartVision/EPGは、SmartVision/TVの「モード切替ベゼル」(p.37)からも起動できます。



4 「次へ」をクリックする

受信チャンネル設定の画面が表示される



5 をクリックして ADAMS 放送を受信できるチャンネルを選択する  
ADAMS 放送を受信できる放送局については、p.132 をご覧ください。チャンネルは、この PART の「チャンネルを設定する」(p.17) で設定したプリセットの番号を選択します。

6 「次へ」をクリックする




しばらくすると受信時刻設定の画面が表示される



7 「受信時刻」を選択する  
クリックした時間帯が反転表示されます。【Ctrl】を押したままクリックすると複数の時間帯を選択できます。ここで予約と他の予約(録画予約、視聴予約、データ放送予約)が重なった場合は、他の予約が優先され、テレビ番組表は受信されません。

8 「次へ」をクリックする

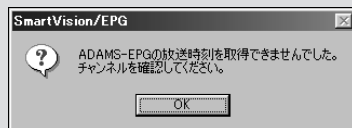
手順 4 で「キャンセル」を選択すると、番組情報のない「SmartVision/EPG」が起動します。番組表を受信するには、SmartVision/EPG の画面左上の方にある  (設定) ボタンをクリックして表示されるウィンドウの「EPG 放送時刻の取得」をクリックしてください。手順 4 の画面が表示されます。あとは、手順 4 から手順 10 と同じ操作で番組表を受信できます。

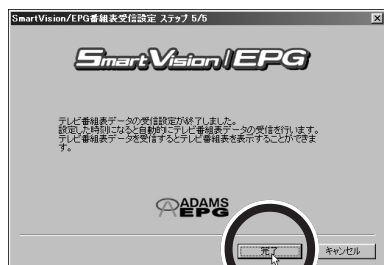


画面右下のタスクトレイには、ピットキャストローダーが表示されます。





ここで、下のような画面が表示された場合は、ADAMS 放送を受信できていません。チャンネルの間違いやアンテナが接続されていない、などの原因が考えられます。「PART 7 TV モデル Q&A」(p.141) をご覧ください。





### 9 「完了」をクリックする

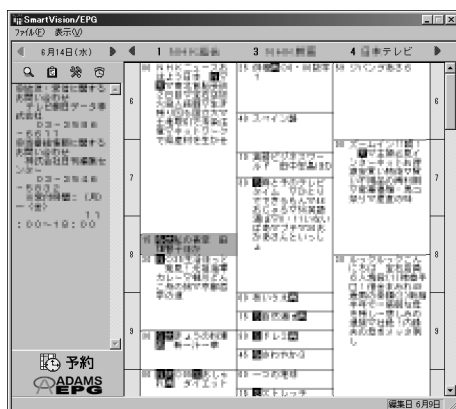
手順7で設定した時刻になると、自動的に番組表の情報を受信します。受信を開始すると画面右下のタスクトレイのがに変わります。受信が終了すると元のアイコンに戻ります。

初回起動時など番組表の情報を受信する前のときは、番組表を開くときに注意のウィンドウが表示されます。

### 10 をダブルクリックする



SmartVision/EPG が起動し、  
テレビ番組表が表示される



ご購入時の状態では、東京のVHFの放送局に設定されています。他の放送局を設定する場合、またはチャンネルがうまく合っていない場合は、「番組表のチャンネルを設定する」(p.27)をご覧ください。

「スタート」-「Windowsの終了」-「スタンバイ」を選択して、パソコンをスタンバイ状態にしても受信時刻になると自動的に番組表を受信します。

### ✓チェック!!


- ・受信時刻にビットキャストブラウザでテレビを見ていた場合は、チャンネルを「受信チャンネル」で設定したチャンネルに自動的に切り替えます。
- ・「設定」ウィンドウ( p.25 )の「受信設定」タブの「EPG 放送時刻の取得」ボタンで番組表の放送時刻を受信できます。
- ・パソコンの時計が大幅にずれていると、番組表を受信できません。

### 📖参照

時計を自動的に合わせる方法 このPARTの「パソコンの時計を合わせる」( p.29 )

### ✓チェック!!

テレビ番組表の受信開始 2 分前から終了 1 分後の間に他の予約(録画予約、視聴予約、データ放送予約)が重なった場合は、他の予約が優先され、テレビ番組表は受信されません。

SmartVision/EPG は、を右クリックして表示されるメニューから「SmartVision/EPG」をクリックしても表示されます。

## 受信した番組表を見る

番組表は、新聞や雑誌と同じような体裁(縦方向に時間、横方向に放送局)で表示されます。

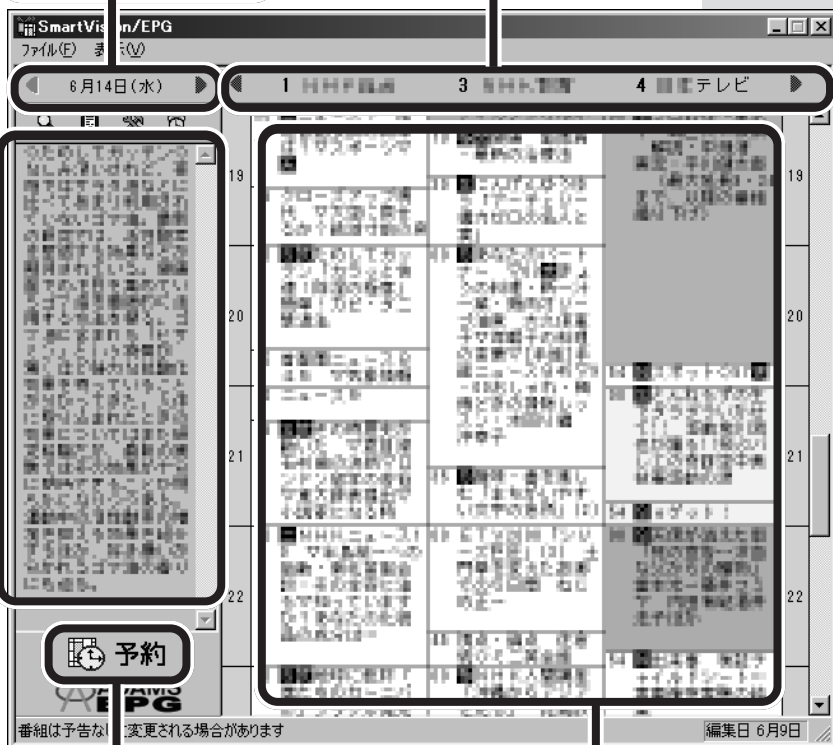
番組の上にマウスポインタを移動させると、欄内に表示しきれていない文字を表示できます。

### 日付

◀ ▶ をクリックすると日付が変わり、その日付の番組表が表示されます。

### 放送局

◀ ▶ をクリックすると放送局と番組表の表示が変わります。



### 予約

クリックすると、予約設定の画面が表示されます。

### 詳細情報

選択されている番組の詳細内容(ドラマや映画の筋書きなど)を表示します。

### 番組表示部

番組はジャンル別(ドラマ、映画、スポーツなど)に色分けして表示されています。番組をクリックすると、詳細情報が右側に表示されます。ダブルクリックすると、予約設定の画面が表示されます。

## 番組表を自動受信できるようにする

いったん受信した番組表のデータを次からは自動的に受信できるようにしましょう。自動受信する方法は、次の2通りがあります。

- ・SmartVision/EPGを自動起動させる方法
- ・ビットキャストローダーで番組表を自動更新する方法

### SmartVision/EPGを自動起動させる方法

パソコンの起動と同時にSmartVision/EPGが自動起動するように設定すれば、設定した時刻に番組表を自動受信できます。

1 (設定ボタン)をクリックする



設定の画面が表示される

2 ADAMS放送を行っているチャンネルになっていることを確認する

ADAMS放送を受信できる放送局については、p.132をご覧ください。チャンネルは、このPARTの「チャンネルを設定する」(p.17)で設定したプリセットの番号を選択します。

✓チェック!!

番組表はADAMS放送の1コンテンツとして受信されます。ADAMS放送を行っている放送局にチャンネルを設定しないと、番組表は受信できません。

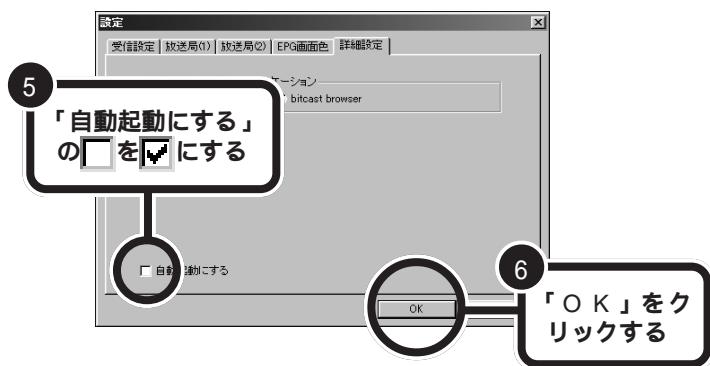



3 「受信時刻」を選択する

クリックした時間帯が反転表示されます。【Ctrl】を押したままクリックすると複数の時間帯を選択できます。

4 「詳細設定」タブをクリックする

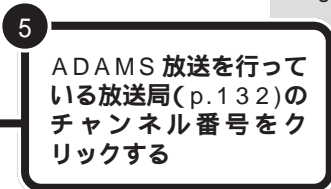
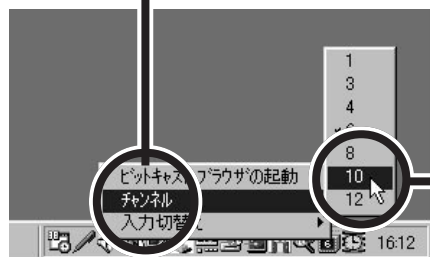




次回起動時から、パソコンを起動すると同時に SmartVision/EPG が起動して、画面右下のタスクトレイに  が表示されます。設定した時間になると、番組表を受信します。

### ビットキャストローダーで番組表を自動更新する方法

番組表の受信時刻を設定していなくても、ビットキャストローダーが起動して ADAMS 放送を行っているチャンネルに合わせていれば、番組表の最新情報を入手することができます。



番組表の情報が送信されると、自動的に受信します。

「スタート」「Windowsの終了」「スタンバイ」を選択して、パソコンをスタンバイ状態にしても、受信時刻になると自動的に番組表を受信します。

### ✓チェック!!

受信時刻にビットキャストブラウザでテレビを見ていた場合は、チャンネルを「受信チャンネル」で設定したチャンネルに自動的に切り替えます。

「自動起動にする」を  にした状態で SmartVision をアンインストールすると、「C:\¥Windows¥スタートメニュー¥プログラム¥スタートアップ」フォルダにショートカットが残ります。

ビットキャストローダーを起動している場合は、パソコンをスタンバイ状態にできません。

### 📖参照

ビットキャストローダーを起動するには PART6 の「ビットキャストローダーで情報を受信する」(p.124)

### ✓チェック!!

番組表は ADAMS 放送の 1 コンテンツとして受信されます。ADAMS 放送を行っている放送局にチャンネルを合わせないと、番組表は受信できません。

## 番組表のチャンネルを設定する

ご購入時の状態では、東京のVHFの放送局に設定されています。他の放送局を設定する場合、またはチャンネルがうまく合っていない場合は、次の方法でチャンネル設定をしてください。

1  (設定ボタン)をクリックする



設定の画面が表示される

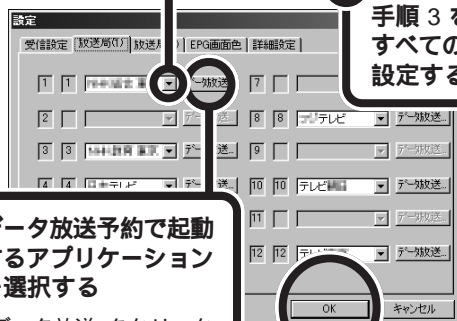
2 「放送局(1)」をクリックする



3  をクリックして放送局名を選択する

このPARTの「チャンネルを設定する」(p.17)で設定したプリセットの番号と同じ番号に放送局を設定してください。


4 手順3を繰り返して、すべてのチャンネルを設定する



5 データ放送予約で起動するアプリケーションを選択する

「データ放送」をクリックして、起動するアプリケーションに  をつけてください。

6 「OK」をクリックする

左の画面は、タスクトレイの  を右クリックして表示されるメニューから「設定」をクリックして起動することもできます。

ビットキャストローダーの「オプション設定」(p.19)で「プリセット」が  になっているチャンネルは放送局名の欄がグレー表示になり選択できません。

衛星放送などプリセットチャンネルに設定できない放送局は、「放送局(2)」タブの画面で設定します。

「EPG画面色」タブでジャンル別に番組の色を変更できます。



## 録画予約に使用するアプリケーションを選択する

録画予約には、「SmartVision/TV」と「ビットキャストブラウザ」のどちらかを使用します。

ご購入時には、録画するアプリケーションとしてSmartVision/TVが設定されています。

SmartVision/TVとビットキャストブラウザには、それぞれの次の特徴があります。

### SmartVision/TV

MPEG2方式で録画ができるため、より高画質で録画できます。また、録画を実行中でも、その番組を最初から見ることができる「追っかけ再生機能」があります。

### ビットキャストブラウザ

MPEG1方式で録画ができるため、録画データファイルがより小さくなります。ただし「追っかけ再生機能」はありません。

### アプリケーションの切り替え方法

1 (設定ボタン)をクリックする

設定の画面が表示される

2 「詳細設定」をクリックする

3 使用するアプリケーションの  を  にする

4 「OK」をクリックする

The diagram illustrates the process of switching the application for recording reservations. It starts with the SmartVision/EPG main menu where the settings icon is highlighted. This leads to the main settings screen, where the 'Detailed Settings' option is selected. In the detailed settings, the 'SmartVision/TV' radio button is chosen over 'bitcast browser'. Finally, the 'OK' button is pressed to confirm the selection.

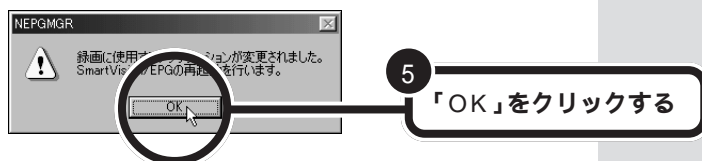


録画予約について PART3の「録画予約する」(p.49)

### チェック!!

- ・「追っかけ再生機能」は「予約設定」のモードを「標準画質」に設定した場合のみできます( p.51 )。「高画質」に設定すると、映像は表示されません。
- ・ビットキャストブラウザで録画予約を行う場合は、「キャプチャ設定」ウィンドウ( p.68 )の「動画」タブで次の設定をしてください。
- ・「キャプチャ時間を指定する」のチェックを外す
- ・「自動保存」のチェックをつける

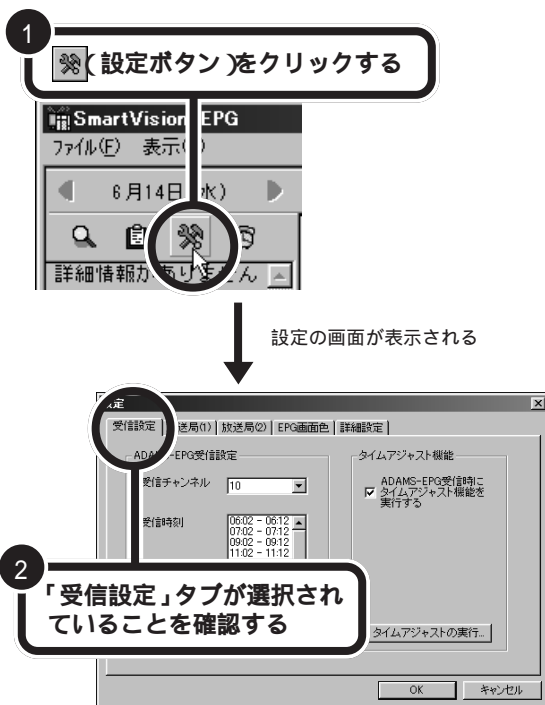
使用するアプリケーションを変更したときは、再起動するメッセージが表示されます。



## パソコンの時計を合わせる

テレビの録画予約をするときに、パソコンの時計がずれていると、正しい時間に録画ができなくなります。「SmartVision/EPG」の「タイムアジャスト機能」を使えば、テレビ電波から送られてくる時刻信号を利用してパソコンの時計を正しい時刻に保つことができます。

ご購入時には、テレビ番組表を受信したときに自動的に時刻合わせをする設定になっています。



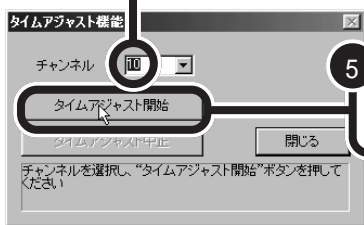
### ✓チェック!!

「ADAMS-EPG 受信時にタイムアジャスト機能を実行する」のチェックが  になっているときは  にすることをおすすめします。



3 「タイムアジャストの実行」をクリックする

4 ADAMS 放送がされているチャンネルを選ぶ



5 「タイムアジャスト開始」をクリックする

↓ ビットキャストローダーが起動し、受信中の画面になる

受信が成功すると、この画面が表示され、ビットキャストローダーが終了します。



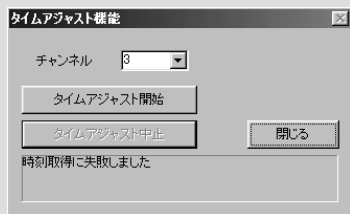
6 「閉じる」をクリックする

「設定」ウィンドウに戻る

7 「設定」ウィンドウの X をクリックして、ウィンドウを閉じる

受信中は「しばらくお待ちください」と表示されます。

ADAMS 放送を行っていない放送局が選択されていたなどの理由で、受信できない場合は受信を開始してから約 70 秒後に下の画面が表示されます。ADAMS 放送については、「ADAMS 放送を見よう」(p.131)をご覧ください。



## SmartVision/EPG を終了する

1

X をクリックする





PART

# 2

## テレビを見よう

このパソコンでテレビを見る時は、「Smart Vision/TV」というソフトを使います。「Smart Vision/TV」には、放送中の番組を一時停止させたり、巻き戻したりと、今までのテレビではできなかった再生機能がついています。

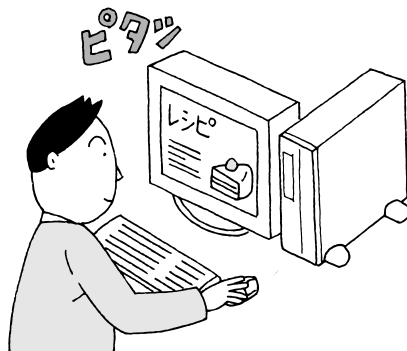
# パソコンで広がるテレビの楽しみ方

「SmartVision/TV」なら、このパソコンならではのテレビ視聴を楽しめます。

## 一時停止して見たい場面を見逃さない

### 一時停止機能

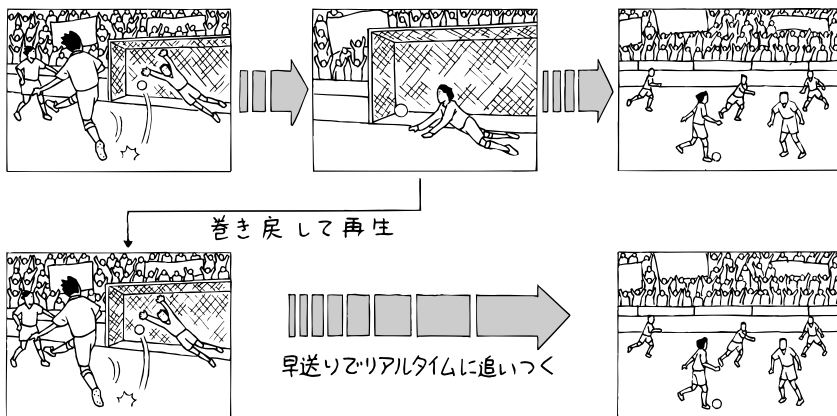
テレビを見ているときに、料理番組のレシピやプレゼントの応募先などが一瞬で消えてしまい、残念な思いをしたことはありませんか。ビデオに録画していれば、ビデオの一時停止機能を使って、見たい場面をじっくり見ることができたはず。SmartVision/TVなら、番組の放送中に一時停止して、料理番組のレシピやプレゼントの応募先をその場で書き写すことができます。



生放送のスポーツ観戦をしていて今のシーンをもう一度見たいと思っても放送ではリプレイしないときがありますね。そんなときでも、巻き戻して見ることができます。巻き戻した場面を見ている間の放送も見逃すことはありません。

## もう一度見たい場面をすぐ再生

### 巻き戻し機能



生放送のサッカー観戦。決定的瞬間のゴールシーン。もう一度見たいと思ったら、すかさず巻き戻して見てしまいましょう。見た後は、再生スピードを少し速めればリアルタイムに追いつくことができます。

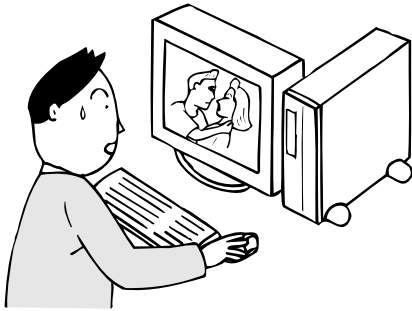
## 録画しながらテレビを見る

## 追っかけ再生機能

ずっと見ていたドラマ。見逃したくない場面で、急な電話が邪魔をする。そんなときも、一時停止で放送中の場面をストップ。一時停止していた間に放送された分はパソコンに録画されているので、用事が済んだら一時停止した場面から見ることができます。

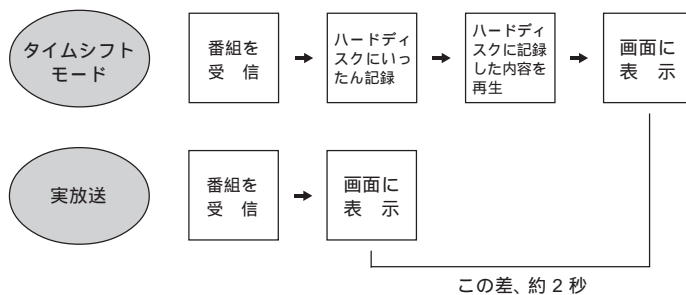
## 即時再生機能

長くかかりそうなときは録画して、用事が済んだら、録画終了を待たずに、すぐ再生。これで、ドラマの筋立てがわからなくなることはありません。



## タイムシフトモードについて

SmartVision/TVの表示モードは、「タイムシフトモード」です。一時停止機能や即時再生機能を実現しているのが、「タイムシフトモード」です。「タイムシフトモード」では、実際に放送されている番組と比べて約2秒遅れで映像を表示しています。

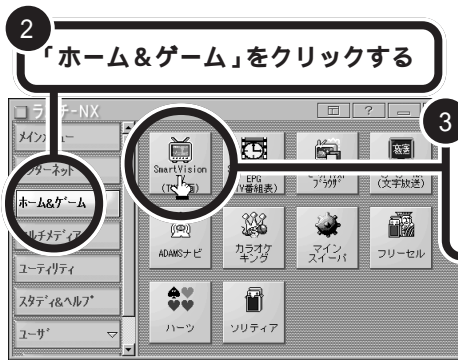
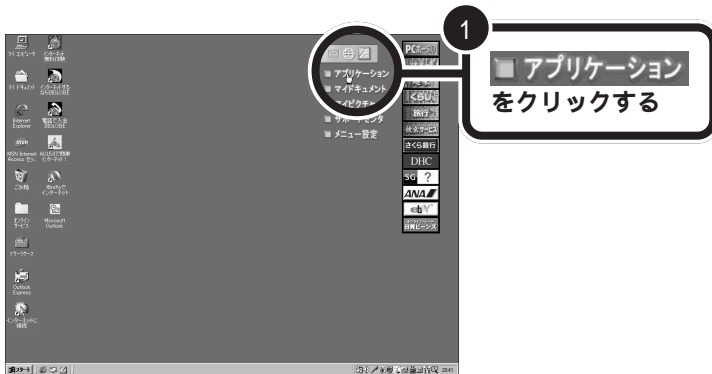




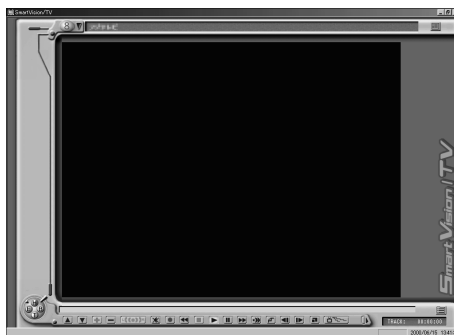
# テレビ番組を見る

前のPARTでテレビを見るための準備が終了したら、テレビを見てみましょう。

## SmartVision/TV を起動する



SmartVision/TV が表示される



SmartVision/TVは、キーボードの【テレビ】ボタンを押して起動することもできます。テレビを視聴中は、できるだけ他のアプリケーションを操作しないでください。

📖 参照


【テレビ】ボタンからの起動 PART3の「キーボードの【テレビ】ボタンを使う」(p.64)

✔ チェック!!

- ・ SmartVision/TV を起動中は、ビットキャストブラウザを起動できません。
- ・ SmartVision/TVでテレビを見ているときは、スタンバイ状態にしないでください。

SmartVision/TVを利用できる解像度と表示色は、「800 × 600ピクセル、65,536色(High Color)」以上です。

📖 参照

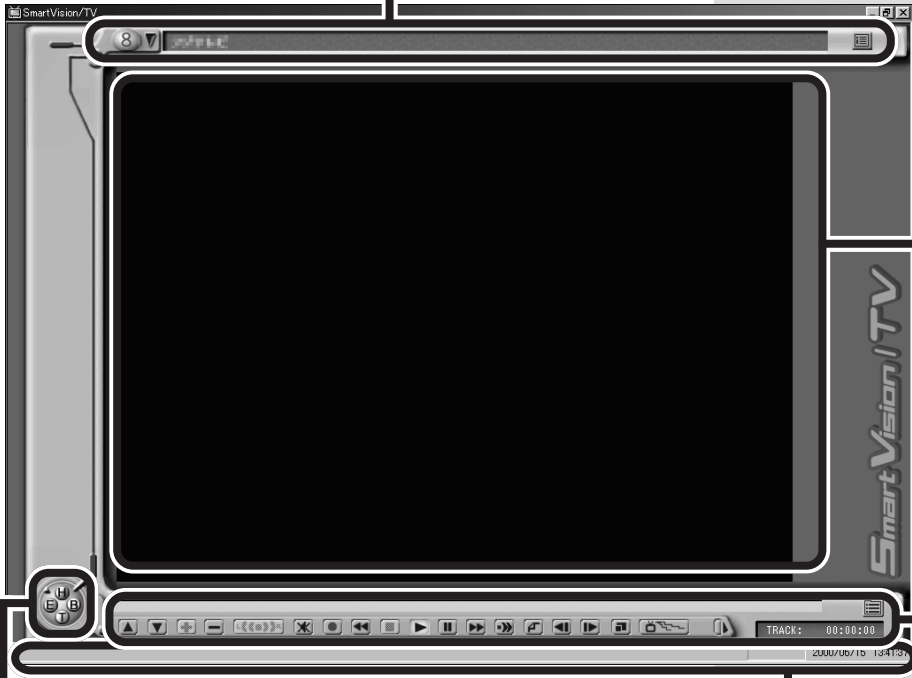
解像度と表示色の設定について   
「添付ソフトの使い方」「ディスプレイの設定」

SmartVision/TV(テレビモード)のウィンドウについて

**チャンネルバー**  
現在のチャンネル、放送局名・番組名が表示されます。また、裏番組の選択や番組の詳細情報の表示もできます。

**チェック!!**

チャンネルバーの情報の更新は、1分に1度行われます。



**テレビ表示部**  
テレビの画面を表示します。

**コントロールバー**  
録画・再生をしたり、チャンネルを切り替えたりします。

**モード切替ベゼル**

SmartVision/TVのオンラインヘルプを起動する

SmartVision/EPG ( p.49 )を起動する

バインダーモード ( p.62 )に切り替える

テレビモードに切り替える (通常、テレビモードで起動します)

**ステータスバー**  
エラーなどの各種メッセージ、再生速度、日時を表示します。

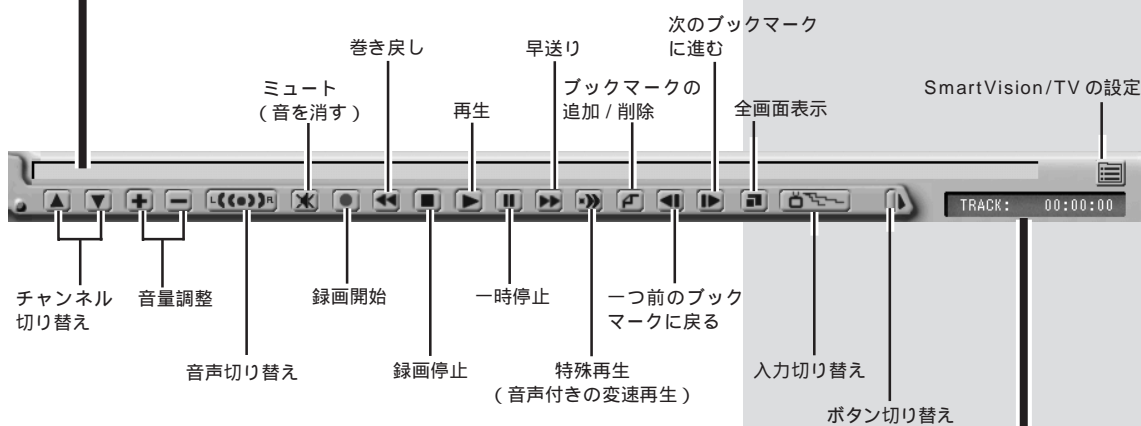
## コントロールバーを使って操作する

チャンネルを変えたり、音声を切り替えるには、コントロールバーを使います。

### プログレスバー

タイムシフト視聴時：実放送(リアルタイム放送)との差を青色で表示します。実放送に最も近づいたときは、すべて黄色で表示されます。

録画番組再生時：現在再生している位置を黄色で表示します。



### カウンター表示部

タイムシフト視聴時：実放送(リアルタイム放送)からの遅れを「-(マイナス)」で表示します。

録画中または録画番組再生中：録画時間または再生時間を表示します。

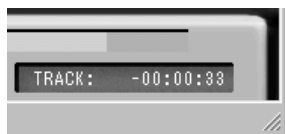
## 一時停止して見たい場面を見逃さない

料理番組のレシピやプレゼントの応募先などを書き写したいときに、画面を一時停止することができます。

1

コントロールバーの (一時停止) をクリックする

カウンター表示部にリアルタイムから、どのくらい遅れているのか時間を表示します。





2

数分後、 (再生) をクリックする

一時停止をしたところから再生が始まります。

3

リアルタイムに追いつきたいときは、 (早送り) をクリックする

 をクリックするたびに追いつくスピードが速くなります。リアルタイムに追いつくと、早送りボタンは使用できなくなります。



### チェック!

一時停止できる時間は、ご購入時の状態で5分間です。5分を過ぎると一時停止は自動的に解除され、一時停止した場面から再生が始まります。一時停止できる時間を長くしたい場合は、「SmartVision/TVの設定」で変更できます。

### 参照

SmartVision/TVの設定 このPARTの「SmartVision/TVの設定について」(p.43)

5分以上テレビの前を離れるときは このPARTの「録画しながらテレビを見る」(p.40)

 の代わりに  (特殊再生) をクリックすると、音声付きの変速再生ができます。再生速度は「SmartVision/TVの設定」(p.43)で変更できます。

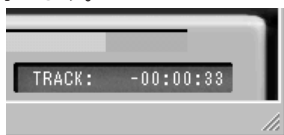
## もう一度見たいシーンをすぐに再生する

スポーツ番組の観戦中、決定的瞬間を「もう一度見たい」と思ったら、巻き戻してすぐに見ることができます。

1

 (巻き戻し) をクリックする



カウンター表示部にリアルタイムから、どのくらい巻き戻しているのか時間を表示します。




2

見たい場面で、 (再生) をクリックする

3



リアルタイムに追いつきたいときは、 (早送り) または  (次のブックマークに進む) をクリックする

 をクリックするたびに追いつくスピードが速くなります。リアルタイムに追いつくと、早送りボタンは使用できなくなります。

巻き戻すことができる時間は、ご購入時の状態で「5分前まで」です。巻き戻し時間を長くしたい場合は、「SmartVision/TVの設定」で変更できます。

### 参照


SmartVision/TVの設定 このPARTの「SmartVision/TVの設定について」(p.43)



 の代わりに  (特殊再生) をクリックすると、音声付きの変速再生ができます。再生速度は「SmartVision/TVの設定」(p.43)で変更できます。


## 録画しながらテレビを見る

電話などでしばらくの間番組を見られないときは、一時停止では番組を見逃してしまうかもしれません。そんなときは録画をします。録画終了を待たずに再生を始めて、引き続き番組を楽しむことができます。放送済みの部分を見ている間も番組の録画は続いています。

1 コントロールバーの  (録画開始) をクリックする  
録画が始まります。


2  (前のブックマークに戻る) をクリックする  
録画を開始したところから番組を再生します。


3 リアルタイムに追いつきたいときは、 (早送り) をクリックする  
 をクリックするたびに追いつくスピードが速くなります。リアルタイムに追いつくと、早送りボタンは使用できなくなります。


4 リアルタイムに追いついたら、 (録画停止) をクリックする

### ブックマークを使う

ブックマークを使うと見たいところを探し出すことができます。番組放送中に好きな場面を繰り返し見たり、自由に再生場面を変更できます。

1 後でもう一度見たい場面で  (ブックマークを追加) をクリックする  
いくつかブックマークを設定します。

2  (前のブックマークに戻る) をクリックする  
前のブックマークのある場面に移動します。ブックマークがないときは録画の先頭に戻ります。

3  (次のブックマークに進む) をクリックする  
次のブックマークのある場面に移動します。ブックマークがないときは録画の最後に進みます。

一時停止できる時間は、ご購入時の状態で5分間です。5分以上テレビの前を離れるときは、録画をおすすめします。

### ✓チェック!!

録画画質を「高画質」に設定しているとき、テレビを見たり、再生することはできません(ご購入時の状態では「標準画質」に設定されています)。

### 📖参照

録画画質を変更するには このPARTの「SmartVision/TVの設定について」(p.43)

「録画停止」ボタンをクリックすると、録画した番組は「録画のタイトル」のリストに追加され、バインダーモードで見ることができます。

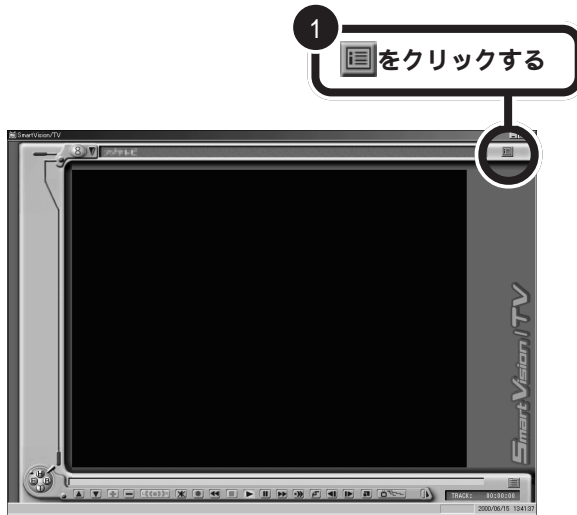
### 📖参照

録画した番組を見るには PART3の「録画したテレビ番組を再生する」(p.60)

### ✓チェック!!

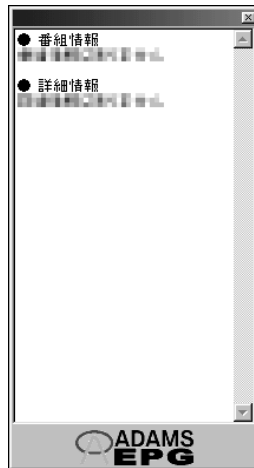
「高画質」での録画中は、ブックマークを追加できません(ご購入時の状態では「標準画質」に設定されています)。

## 番組の詳細表示を見る



↓

番組の詳細情報が  
表示される



テレビ番組の詳細情報を見るには、あらかじめテレビ番組表を受信しておく必要があります。

📖 参照

テレビ番組表の受信 PART 1 の「テレビ番組表の設定をする」(p.21)

テレビ番組の詳細情報は、[ ] をクリックした時点の情報が表示されます。テレビ番組の詳細情報を更新するには、再度このボタンをクリックしてください。

詳細情報ウィンドウを閉じるには、[ X ] をクリックします。

## 裏番組を表示する

視聴中以外の、現在放送されている放送局名と番組名の一覧を表示できます。



テレビ番組表が受信されていないときは、放送局名のみ表示されます。

## ウィンドウサイズを変更する

テレビの画面サイズは自由に変更できます。

### 全画面表示する

ディスプレイいっぱいにテレビの画面を表示します。



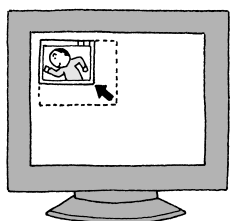
2

マウスの左ボタンを押す  
元のサイズに戻ります。

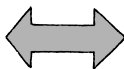
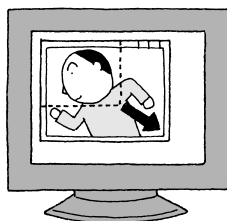
### 好きなサイズに変更する



左斜め上にドラッグすると



右斜め下にドラッグすると



ディスプレイ前面のV-MODEボタンを押して、V-MODE にすることをおすすめします。V-MODE にすると、画面が明るく、鮮やかになります。テレビを見る際に活用してください。

ウィンドウ右上のボタンが<img alt='\"' data-bbox='855 565 875 585'>のときは、ウィンドウが最大化されているので、サイズの変更はできません。好きなサイズにするには、<img alt='\"' data-bbox='835 615 855 635'>をクリックして、<img alt='\"' data-bbox='815 635 835 655'>にしてから、左の手順にしたがってサイズを変更してください。

## 音声を切り替える

「SmartVision/TVの設定」の「音声多重放送」で「主+副音声」に設定しているときは、音声を切り替えることができます(ご購入時の状態では、「主音声」が選択されています)。L(☺)Rをクリックして音声を切り替えます。



このボタンを押すごとに、  
左音声のみ 右音声のみ 両音声 左音声のみ ...  
と切り替わる

音声多重放送でないときにこのボタンを押すと、ステレオ放送時は左、右それぞれの音が聞こえ、モノラル放送時は音が変化しません。

副音声は通常では二カ国語放送などで使われています。

### ✓チェック!!

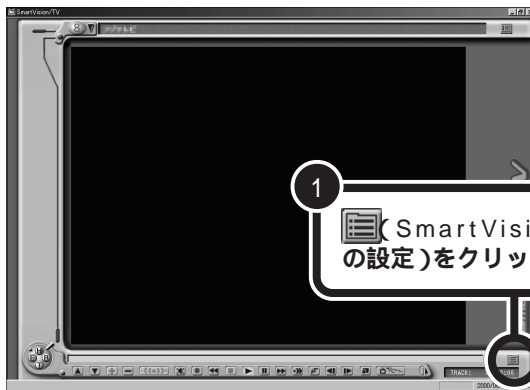
番組によっては副音声がなく、ボタンをクリックしても主音声しか出力されない場合があります。

左音声のみ / 右音声のみの場合、両方のスピーカに同じ音が出力されます。

## SmartVision/TV の設定について

「SmartVision/TVの設定」では、次のような設定ができます。

- ・ タイムシフトバッファフォルダ、録画データの保存先、録画データ空き容量の警告、タイムシフト可能時間、録画時の画質(標準画質 / 高画質)
- ・ 特殊再生(音声付き変速再生)の再生速度
- ・ SmartVision/TV 動作中の地上波データ放送受信
- ・ 音声多重放送時の音声、ボリュームコントロールの使用方法、画面のカラー調整



1  
SmartVision/TV  
の設定)をクリックする

設定の画面が  
表示される



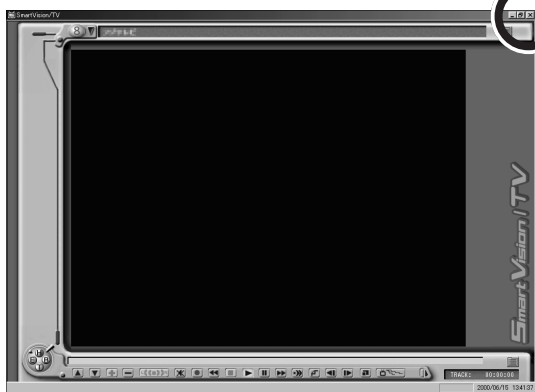
この画面で設定をします。設定方法について詳しくは、SmartVision/TVのオンラインヘルプをご覧ください。



## SmartVision/TV を終了する

1

×をクリックする



P A R T

# 3

## テレビ番組を録画しよう

テレビの番組表をパソコンに取り込んで、番組の録画予約や視聴予約ができます。SmartVision/TVなら、録画中の番組を録画の終了を待たずに再生することができます。

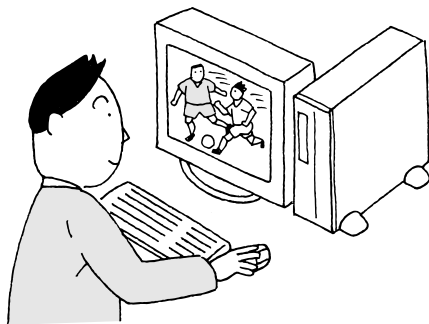
# テレビ番組を録画する

テレビ番組を動画のままパソコンに取り込みましょう。

## 録画について

一般のビデオ機器でテレビ番組を録画するのと同じように、パソコンにテレビ番組の動画を取り込めます。ビデオテープに録画する代わりにパソコンのハードディスクに記録します。

動画をハードディスクに記録するには、たいへん大きなハードディスク容量を必要とします。記録した動画でハードディスクがいっぱいになる前に、圧縮して保存したり、こまめに不要な動画ファイルを削除するようにしましょう。



### 録画(動画キャプチャ)の制限について

録画中に以下のような状態になると、録画は自動的に終了されます。

#### SmartVision/TV の場合

ハードディスクの残り容量が、「SmartVision/TV の設定」( p.43 )の「録画データ空き容量の警告」で設定している容量(ご購入時の状態では「300M バイト」)より少なくなったとき

#### ビットキャストブラウザの場合

- ・ 録画したテレビ番組のファイルサイズが 4G バイトを超えたとき
- ・ ハードディスクの残り容量が、40M バイトより少なくなったとき

### 編集目的で録画するときの注意

SmartVision/TV で録画したテレビ番組を、あとで VideoStudio で編集する場合は、「高画質」モードで録画することをおすすめします。

## チェック!!

あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

不要なファイルを捨てる方法は、『使っておぼえるパソコンの基本』後編の「ファイル」をご覧ください。

## 参照

ビットキャストブラウザについて PART6 の「ビットキャスト放送を見よう」(p.113)

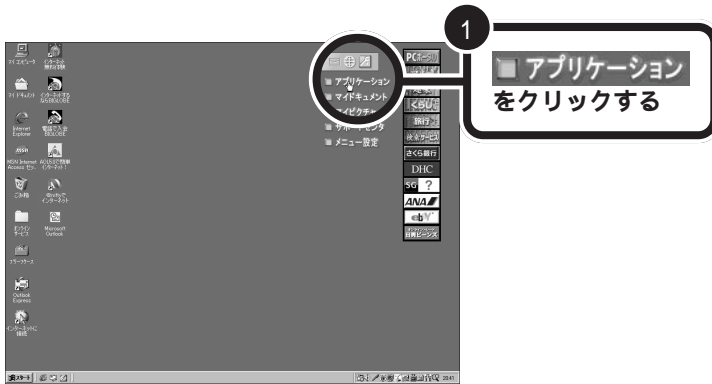
## 用語

キャプチャ、キャプチャする  
静止画や動画をパソコンに取り込むことを「キャプチャ」または「キャプチャする」といいます。キャプチャした内容(静止画や動画など)は、画像ファイルや動画ファイルとして記録しておくことができます。

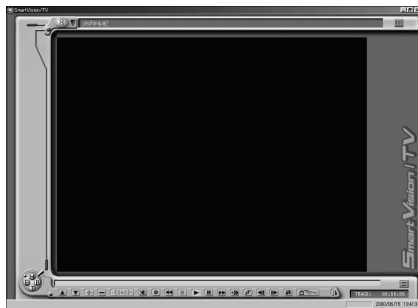
## 参照

高画質モードへの変更 PART2 の「SmartVision/TV の設定について」(p.43)

## SmartVision/TV を起動する



SmartVision/TV  
が表示される



SmartVision/TVは、キーボードの【テレビ】ボタンを押して起動することもできます。テレビ番組を録画中は、できるだけ他のアプリケーションを操作しないでください。

📖 参照


【テレビ】ボタンからの起動 PART3の「キーボードの【テレビ】ボタンを使う」(p.64)

✔ チェック!!

SmartVision/TVを起動中は、ビットキャストブラウザを起動できません。

SmartVision/TVを利用できる解像度と表示色は、「800 × 600 ピクセル、65,536 色 (High Color)」以上です。

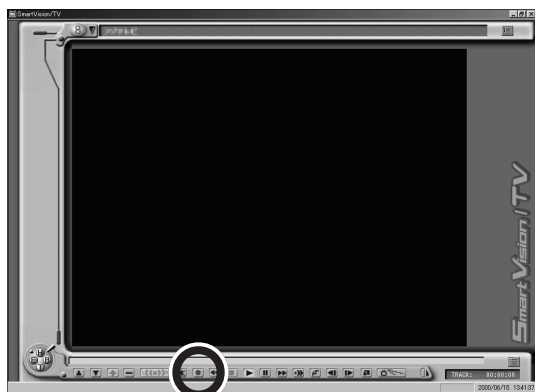
📖 参照

解像度と表示色の設定について   
「添付ソフトの使い方」「ディスプレイの設定」

## 番組を録画する

1

録画したいテレビ番組を表示する



2

(録画開始)をクリックする

録画が始まります。

3

録画を終了するときは (停止) をクリックする

録画したテレビ番組は、自動的にパソコンのハードディスクに保存されます。録画したテレビ番組を再生するときは、このPARTの「録画したテレビ番組を再生する」(p.60)をご覧ください。

また、録画終了を待たずに再生することもできます。詳しくは、このPARTの「録画終了を待たずに再生する」(p.63)をご覧ください。

録画したテレビ番組の名称は、次のルールで決定されます。

- ・ ADAMS-EPGのデータがある場合  
チャンネルバーに表示されている番組名称がそのまま使われます。
- ・ ADAMS-EPGのデータがない場合  
録画したときの年/月/日/時間が番組名称になります。

参照

テレビ番組のチャンネル切り替え  
PART2の「コントロールバーを使って操作する」(p.38)

チェック!

- ・ 録画する画質は、ご購入時の状態では「標準画質」に設定されています。録画する画質を「高画質」にしたい場合は、「SmartVision/TVの設定」で変更してください。ただし、「高画質」で録画すると、録画中にテレビを見ることはできません。
- ・ 1時間録画するのに必要なハードディスク容量は、次のとおりです。  
標準画質 : 約 2.8G バイト  
高画質 : 約 3.1G バイト
- ・ あらかじめテレビ番組表を受信しておく、録画したテレビ番組は、自動的にジャンル別に保存されます。テレビ番組表を受信した後に録画することをおすすめします。

参照

テレビ番組表を受信する PART1の「テレビ番組表の設定をする」(p.21)  
SmartVision/TVの設定 PART2の「SmartVision/TVの設定について」(p.43)

テレビ番組の録画は、ビットキャストブラウザでもできます。録画のしかたについては、ビットキャストブラウザのオンラインマニュアルをご覧ください。

SmartVision/TVを使って、外部入力(ビデオ)からの映像は録画できません。

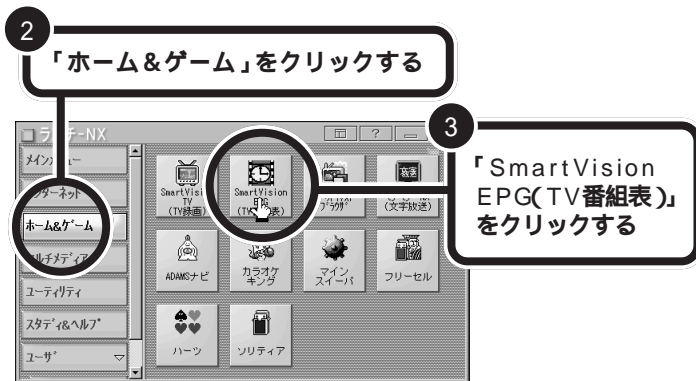
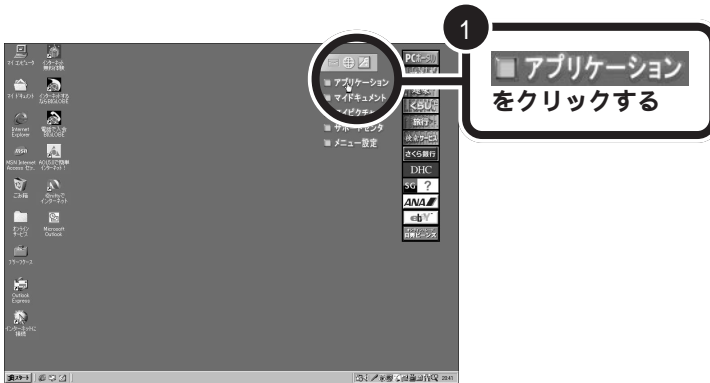
参照

ビットキャストブラウザについて  
PART6の「ビットキャスト放送を見よう」(p.113)

# 録画予約する

テレビ番組の録画予約をしてみましょう。予約した時刻になると、SmartVision/TVが起動して、自動的に録画が始まります。

## SmartVision/EPG を起動する



SmartVision/EPG (テレビ番組表)が表示される



### ✓チェック!!

あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

SmartVision/TV から起動する SmartVision/EPGは、SmartVision/TVの「モード切替ベゼル」( p.37 ) から起動することもできます。

SmartVision/TVで録画したテレビ番組を、あとでVideoStudioで編集する場合は、「高画質」モードで録画することをおすすめします。

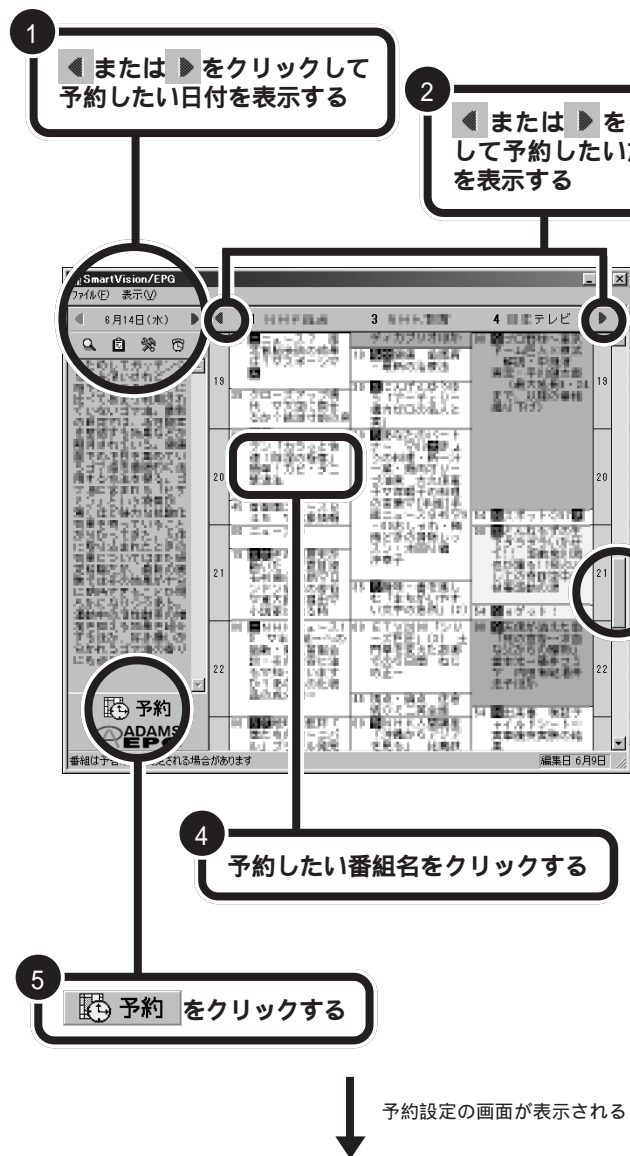
初回起動時など、データがないときは、番組表の受信設定画面が表示されます。この場合は、番組表の受信設定をしてください。

### 📖参照

番組表の受信設定 PART1の「テレビ番組表の設定をする」(p.21)

## 番組表から番組を選んで予約する

PART1の「テレビ番組表の設定をする」(p.21)で受信したテレビ番組表を使って、テレビ番組の録画を予約してみましょう。



番組を録画するために、パソコンの時計が正しく設定されていることを確認してください。

📖 参照

日付と時刻の設定のしかた 「サポートセンタ」- 「困ったときのQ&A」- 「トラブル解決Q&A」- 「よくある質問」

タイムアジャスト機能を使って、パソコンの時刻を設定することもできます。

📖 参照

タイムアジャストについて PART1の「パソコンの時計を合わせる」(p.29)

録画予約は、現在の時刻から3分以上あとの番組が対象です。

番組名をダブルクリックしても予約設定の画面が表示されます。

6 「番組名」「予約日」「開始時刻」「終了時刻」「チャンネル」「繰返し」を確認する



7 をクリックして「標準画質」または「高画質」を選択する



8 「OK」をクリックする

これで番組の予約ができました。

予約は最大128件まで行えます。

「繰返し」では、毎日、毎週の同じ時刻に予約を設定できます。連続ドラマなどを録画するときに利用できます。

「モード」で「視聴」に設定すると、視聴予約ができます。録画はしませんが、予約した時刻にビットキャストブラウザが起動します。番組を忘れずに見たいときに便利です。

「モード」で「高画質」や「標準画質」に設定すると、選んだ画質で録画予約できます。

録画するアプリケーション( p.28 )をSmartVision/TVに設定した場合、「高画質」で録画すると、録画中にテレビを見ることができなくなります。

「モード」で「データ放送」を選択した場合は、「番組表のチャンネルを設定する」( p.27 )で設定したアプリケーションが起動します。

「サイズ」には、録画に必要なおおよそのハードディスク容量が表示されます。1時間の録画に必要な空き容量は次のとおりです。

標準画質：約2.8Gバイト

高画質：約3.1Gバイト

なお、録画に必要な空き容量が残っていないときは、エラーメッセージが表示されます。

### 🔍チェック!!

- ・ 予約時刻が重なっている場合は、エラーダイアログが表示されて予約設定はできません。
- ・ 録画と録画など、複数の番組を同じモードで予約する場合は、間隔をあげずに予約できます。
- ・ 視聴と録画など、複数の番組をそれぞれ異なるモードで予約する場合は、すでに予約済の番組の開始2分前から終了1分後までの時間帯に重なる別の番組の予約はできません。
- ・ 実際の録画終了時刻は、予約設定した終了時刻よりも数秒早くなります。
- ・ 予約を行う場合は、システムスタンバイの設定を5分以上に設定してください。



## 手動で番組を予約する

録画予約したい時刻までに番組表が受信できないなど、番組表を使った予約ができないときは、手動で予約できます。

1

「手動」をクリックする



2

「番組名」「予約日」「開始時刻」「終了時刻」「チャンネル」「繰返し」を設定する



3

▼をクリックして「標準画質」または「高画質」を選択する



4

「OK」をクリックする

これで番組の予約ができました。

予約は最大128件まで行えます。

「繰返し」では、毎日、毎週の同じ時刻に予約を設定できます。連続ドラマなどを録画するときに利用できます。

「モード」で「視聴」に設定すると、視聴予約ができます。録画はしませんが、予約した時刻にビットキャストブラウザが起動します。番組を忘れずに見たいときに便利です。

「モード」で「高画質」や「標準画質」に設定すると、選んだ画質で録画予約できます。

録画するアプリケーション( p.28 )を SmartVision/TV に設定した場合、「高画質」で録画すると、録画中にテレビを見ることができなくなります。


「サイズ」には、録画に必要なおおよそのハードディスク容量が表示されます。1時間の録画に必要な空き容量は次のとおりです。

標準画質：約 2.8G バイト

高画質：約 3.1G バイト

なお、録画に必要な空き容量が残っていないときは、エラーメッセージが表示されます。


### ●チェック!!

- ・ 予約時刻が重なっている場合は、エラーダイアログが表示されて予約設定はできません。
- ・ 録画と録画など、複数の番組を同じモードで予約する場合は、間隔をあけて予約できます。
- ・ 視聴と録画など、複数の番組をそれぞれ異なるモードで予約する場合は、すでに予約済の番組の開始2分前から終了1分後までの時間帯に重なる別の番組の予約はできません。
- ・ 番組の手動予約は、タスクトレイのを右クリックして表示されるメニューから「手動予約」をクリックして行うこともできます。
- ・ 実際の録画終了時刻は、予約設定した終了時刻よりも数秒早くなります。

## ジャンルや出演者で番組を検索して予約する

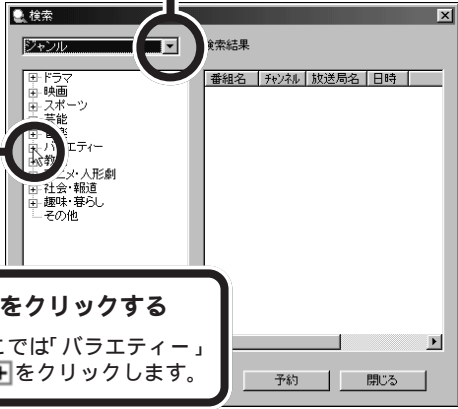
予約したい番組の放送局や放送時間がわからないときは、ジャンルや出演者名から番組名を検索して予約ができます。

1 (検索ボタン)をクリックする



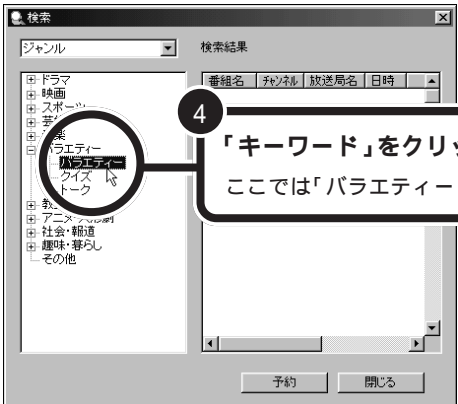
検索の画面が表示される

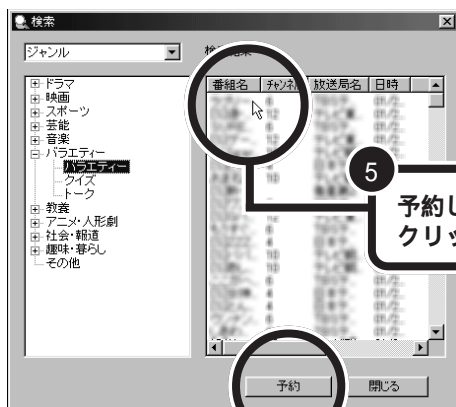
2 [▼]をクリックして「ジャンル」または「人名」を選択する



3 [+]をクリックする  
ここでは「バラエティー」の[+]をクリックします。

4 「キーワード」をクリックする  
ここでは「バラエティー」を選択します。





6 「予約」をクリックする

7 「番組名」「予約日」「開始時刻」「終了時刻」「チャンネル」「繰返し」を確認する



9 「OK」をクリックする

予約は最大128件まで行えます。

「繰返し」では、毎日、毎週の同じ時刻に予約を設定できます。連続ドラマなどを録画するときに利用できます。

「モード」で「視聴」に設定すると、視聴予約ができます。録画はしませんが、予約した時刻にビットキャストブラウザが起動します。番組を忘れて見たいときに便利です。

「モード」で「高画質」や「標準画質」に設定すると、選んだ画質で録画予約できます。

録画するアプリケーション( p.28 )を SmartVision/TV に設定した場合、「高画質」で録画すると、録画中にテレビを見ることができなくなります。

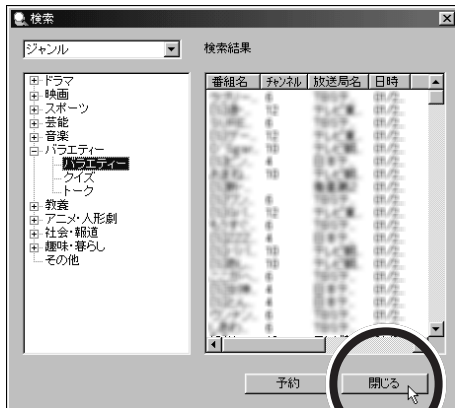
「サイズ」には、録画に必要なおおよそのハードディスク容量が表示されます。1時間の録画に必要な空き容量は次のとおりです。

標準画質 : 約 2.8G バイト  
高画質 : 約 3.1G バイト

なお、録画に必要な空き容量が残っていないときは、エラーメッセージが表示されます。

### ●チェック!!

- ・ 予約時刻が重なっている場合は、エラーダイアログが表示されて予約設定はできません。
- ・ 録画と録画など、複数の番組を同じモードで予約する場合は、間隔をあげずに予約できます。
- ・ 視聴と録画など、複数の番組をそれぞれ異なるモードで予約する場合は、すでに予約済の番組の開始2分前から終了1分後までの時間帯に重なる別の番組の予約はできません。
- ・ 実際の録画終了時刻は、予約設定した終了時刻よりも数秒早くなります。



10 「閉じる」をクリックする

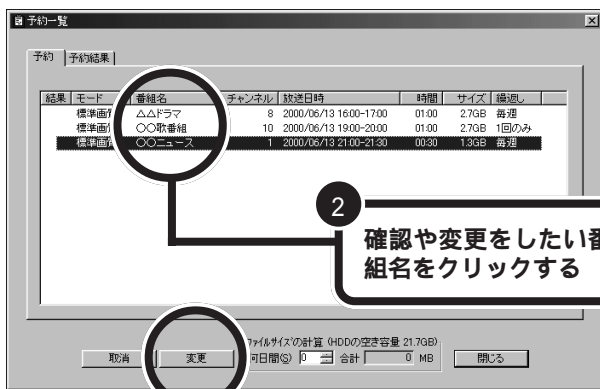
これで番組の予約ができました。

### 予約の確認や変更をする

1 目 (一覧ボタン) をクリックする




予約一覧の画面が表示される



2 確認や変更をしたい番組名をクリックする

3 「変更」をクリックする

予約結果の確認もできます。予約結果は、「予約結果」タブをクリックすると表示されます。

予約一覧は、タスクトレイのを右クリックして表示されるメニューから「予約一覧」をクリックして表示することもできます。

確認や変更をしたい番組名をダブルクリックしても予約設定の画面が表示されます。

予約を取り消したいときは、取り消したい予約の番組名を選択して「取消」をクリックします。



4  
変更したい項目を修正する

5  
「OK」をクリックする

6  
変更内容を確認する



7  
「閉じる」をクリックする

「何日間」に日数を設定すると、「合計」に録画に必要なハードディスク容量を表示します。「3」と設定すると、当日を含めて「3日」の間に録画予約している時間を合計して、必要なハードディスク容量を表示します。

これで予約の変更ができました。

## 番組を録画する

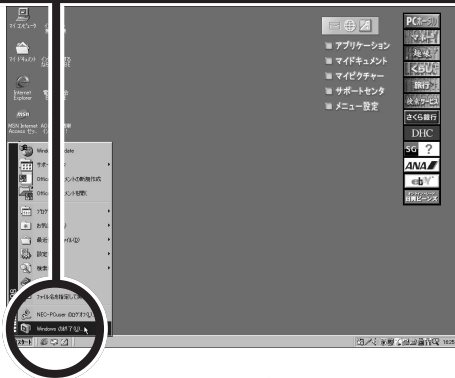
### スタンバイ状態にする

録画予約をした後、パソコンを使用しないときは、パソコンをスタンバイ状態にしておきます。予約した時間になると、パソコンは自動的にスタンバイ状態から復帰し、SmartVision/TV が起動して自動的に録画を始めます。

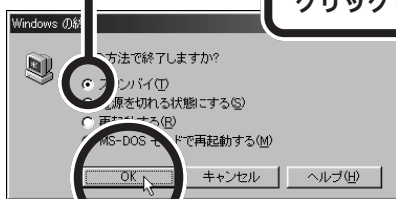
1 **X** をクリックする  
番組表の表示を終了します。



2 「スタート」をクリックし、「Windows の終了」をクリックする



3 「スタンバイ」の左の  をクリックして  にする



4 「OK」をクリックする

画面が暗くなり、パソコン本体の電源ランプがオレンジ色に点灯します。スタンバイ状態から復帰して予約を実行したときは、予約が終了すると自動的にスタンバイ状態に戻ります。

ひんぱんに録画する場合(週10時間以上)は、ハードディスクへの書き込みを効率的にするために週1回程度は、デフラグ(「スタート」「プログラム」「アクセサリ」「システムツール」「デフラグ」)を実行してデータを整理することをおすすめします。なお、大容量のハードディスクのデフラグには時間がかかります。十分な時間がとれるときに実施してください。


#### 参照

デフラグについて  添付ソフトの使い方-「デフラグ」

#### チェック!

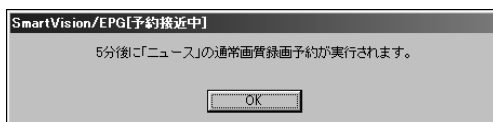
- ・ビットキャストローダーが起動しているときは、スタンバイ状態にできません。
- ・パソコンがスタンバイ状態になると、消費電力が低く抑えられます。

## 録画予約を実行する




録画予約の開始時刻が近づき、予約開始 5 分前になると、画面右下のタスクトレイの  の表示が変わり、もうすぐ録画が始まることを知らせてくれます。



また、予約モードや番組名を表示します。



パソコンを使用中の場合は、使用しているソフトを終了して録画できる状態にしてください。録画に使用するソフトが起動している場合は、終了する必要はありません。

録画が始まると、画面右下のタスクトレイの  が  に変わります。録画が終了すると、 の表示に戻ります。



## 視聴予約やデータ放送予約を実行する

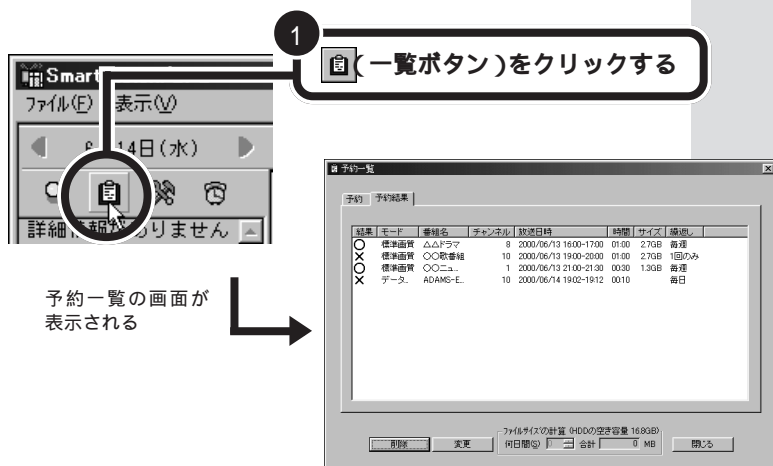
視聴予約やデータ放送予約(文字放送やADAMS放送、ビットキャスト放送の予約)の受信を実行するときは、SmartVision/TVを終了してください。SmartVision/TVが起動していると予約を実行できません。

視聴予約の場合、予約開始時刻の約 2 分前になると、ビットキャストブラウザが自動起動して番組を表示します。

データ放送予約で起動するアプリケーションの切り替えは、「設定」ウィンドウの「放送局(1)」タブで変更します( p.27 )。


## 予約実行結果を確認する

結果が  (白丸) の場合は録画に成功、 (バツ) の場合は失敗したことを意味します。



番組表を受信するために、パソコンの時刻を正しく設定してください。

### 参照

日付と時刻の設定のしかた  「サポートセンター」- 「困ったときのQ&A」- 「トラブル解決Q&A」- 「よくある質問」

タイムアジャストについて PART1 の「パソコンの時計を合わせる」(p.29)

SmartVision/TVが起動していない場合は、予約開始時刻約 2 分前になると、SmartVision/TVが自動起動します。


### チェック!!

ビットキャストブラウザやDVDプレーヤなど、SmartVision/TV以外の映像を表示するソフトが起動していると、SmartVision/TVは起動できません。

## SmartVision/EPG を終了する

1 Xをクリックする

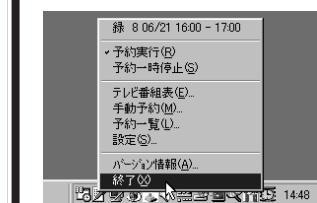


これで、番組表の表示を終了します。録画予約がないときや番組表の情報を受信しないときは、タスクトレイのから「SmartVision/EPG」を終了します。

1  (SmartVision/EPG) を右クリックする



2 「終了」をクリックする

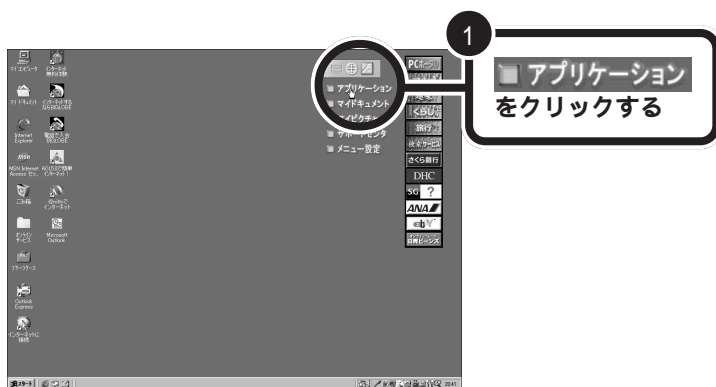




# 録画したテレビ番組を再生する

録画した番組を再生してみましょう。

## 録画した番組を再生する



SmartVision/TVは、キーボードの【テレビ】ボタンを押して起動することもできます。テレビを視聴中は、できるだけ他のアプリケーションを操作しないでください。

参照

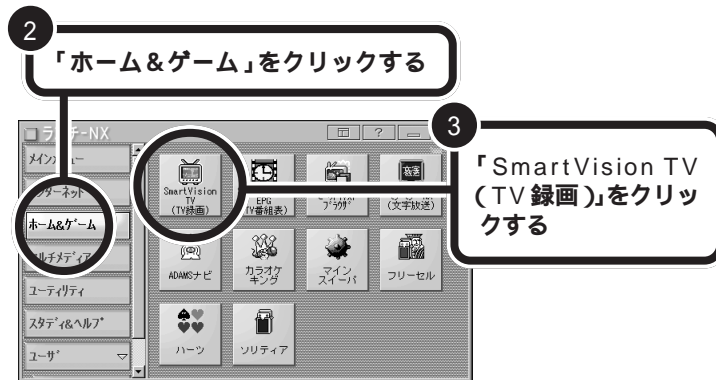
【テレビ】ボタンからの起動 このPARTの「キーボードの【テレビ】ボタンを使う」(p.64)

チェック!!

SmartVision/TVを起動中は、ビットキャストブラウザを起動できません。SmartVision/TVを利用できる解像度と表示色は、「800 × 600ピクセル、65,536色(High Color)」以上です。

参照

解像度と表示色の設定について 「添付ソフトの使い方」-「ディスプレイの設定」

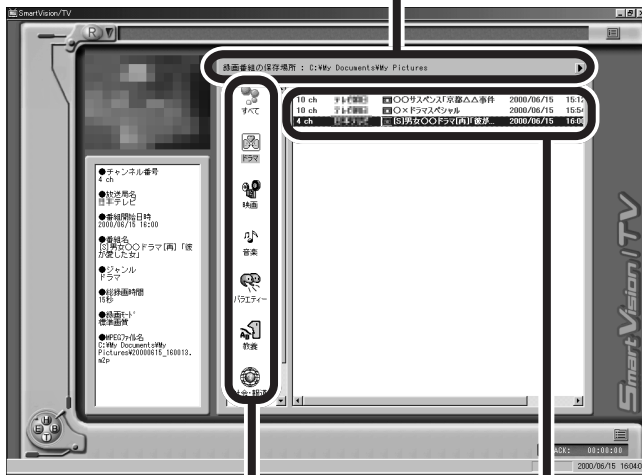


SmartVision/TV  
が表示される



↓  
バインダーモードに切り替わる

**5** 再生したい録画番組の保存先を指定する  
通常は、「SmartVision/TVの設定」( p.43 )で指定した保存先(ご購入時の状態では「C:\My Documents\My Pictures」)が表示されます。変更する場合は▶をクリックして、番組を保存したフォルダを指定してください。



**✓チェック!!**

「録画のタイトル」の一覧に見たい番組のタイトルがない場合は、「SmartVision/EPG」の「予約一覧」で「予約実行結果」( p.58 )を確認してください。

**参照**

録画できていないときは PART7 の「録画予約した番組が録画されていない」( p.145 )

**6** ジャンルを選択する  
テレビ番組表の情報を取得済みの場合は、録画した番組は自動的にジャンル別に分けられています。再生したい番組のジャンルをクリックしてください。

**7** 再生したい番組をダブルクリックする  
青字で表示されている番組は、まだ再生を行っていない状態を示します。

↓  
再生が始まる



## バインダーモードのウィンドウについて

### 情報表示エリア

「録画番組選択エリア」で選択した録画ファイルの詳細情報を表示します。

### 録画番組選択エリア

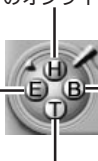
録画したテレビ番組をジャンル別に一覧表示します。録画ファイルを右クリックしたメニューから、再生、名称変更、ファイルの削除、即視聴 / 未視聴の設定、録画ファイルの表示モードの切り替えを行うことができます。



### モード切替ベゼル

SmartVision/TVのオンラインヘルプを起動する

SmartVision/EPG  
( p.49 )を起動する



バインダーモード  
に切り替える

テレビモードに切り替える

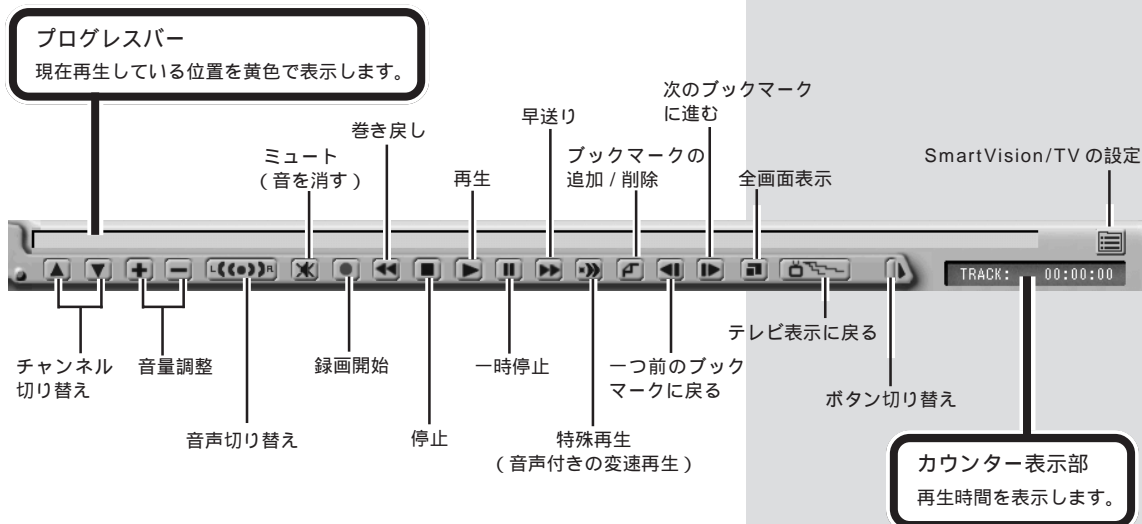
### チェック!

- ・ テレビ番組表 ( p.21 ) を受信した後に録画したファイルは、自動的にジャンル別に保存されています。
- ・ 録画した番組を、VideoStudioなどの映像編集用アプリケーションで活用する場合、「情報表示エリア」の「MPEGファイル名」に表示されているファイルを指定してください。なお、SmartGalleryを使用すると簡単に編集用アプリケーションにデータを渡すことができます。
- ・ あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

### 参照

SmartGallery について PART5 の「やりたいことはスマートにはじめよう ( p.98 )

## コントロールバーのボタンについて



## 録画終了を待たずに再生する

SmartVision/TVでは、録画中でも録画終了を待たずに番組の最初から見ることができます。早送りをしていけば、リアルタイムの放送に追いつくこともできます。

1 コントロールバーの **⏸** (一時停止) をクリックする

2 数分後、**▶** (再生) をクリックする

一時停止をしたところから再生が始まります。再生開始直後に、カウンター表示部にリアルタイムから、どのくらい遅れて表示しているのか時間を表示します。

3 リアルタイムに追いつきたいときは、**⏩** (早送り) または **▶** (次のブックマークに進む) をクリックする

**▶** をクリックするたびに追いつくスピードが速くなります。リアルタイムに追いつくと、早送りボタンが使用できなくなります。

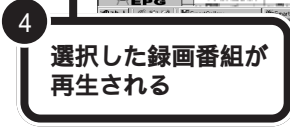
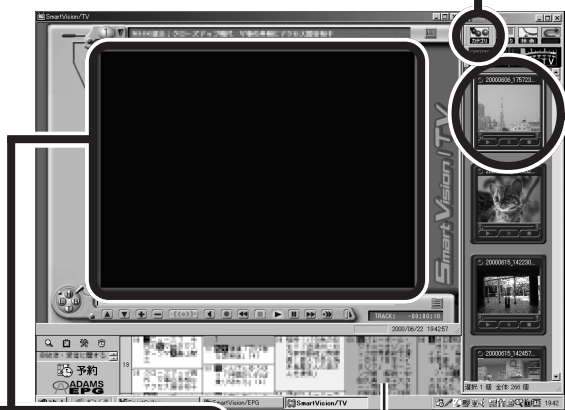
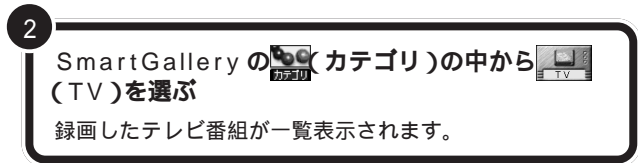
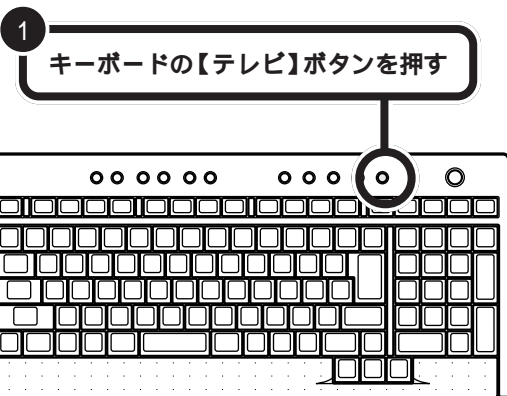
## ✓ チェック!!

「高画質」で録画中の場合は、テレビを見たり、再生することはできません。録画を終了してから、バインダーモードで再生して見ることになります。

# キーボードの【テレビ】ボタンを使う

キーボードの【テレビ】ボタンでこのパソコンを有効に使ってみましょう。

キーボードの【テレビ】ボタンを使うと、SmartVision/TV、SmartVision/EPG、SmartGalleryの3つのアプリケーションを同時に起動できます。



同時にテレビ番組もチェックできる

## 参照

SmartGalleryについて PART5の「やりたいことはスマートにはじめよう」(p.98)

テレビを視聴中は、できるだけ他のアプリケーションを操作しないでください。

## チェック!!

【テレビ】ボタンを押して表示される3つのアプリケーションのウィンドウサイズや位置を変えてしまった場合に、【テレビ】ボタンを押すことでご購入時のウィンドウサイズや位置に戻すことができます。詳しくは、「スタート」-「サポートセンタ」-「追加情報」-「2. アプリケーションを使っていたら...」の「テレビボタンを押して表示されるアプリケーションのウィンドウのサイズ・位置を元に戻したい」をご覧ください。

画像をダブルクリックしても、録画番組を再生できます。

P A R T

# 4

## 映像を編集してみよう

ビットキャストブラウザやVideoStudioを使って、テレビ放送の静止画やビデオの映像を、このパソコンに取り込んでみましょう。パソコンに取り込んだ静止画や動画は、オリジナルビデオを作成したり、電子メールに添付して送るなど、楽しい使い方ができます。

# テレビの映像を 静止画にして パソコンに取り込もう

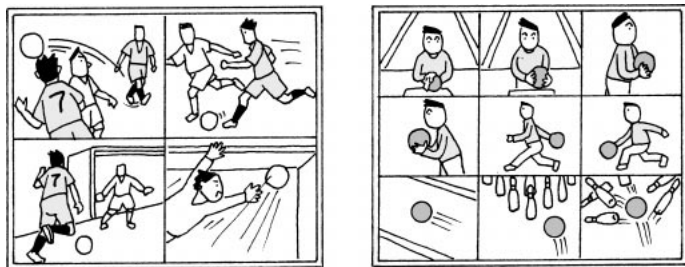
まるでテレビの画面を写真に撮るような感じで、一瞬の映像を切り取ってパソコンで利用することができます。

## 静止画の取り込みについて

テレビ番組を見ているときに、この場面を写真のように残しておきたいと思ったことはありませんか。もし、ビデオに録画していたのならば、ビデオの一時停止機能を使って、見たい場面をじっくり見られたはず。静止画を取り込むという作業は一瞬の画面を録画するのと同じで、テレビ番組を見ている最中に保存しておきたい画面をデータとして記録する機能です。取り込んだ画面は、壁紙にしたり、印刷してポスターのように飾ったりと、楽しむことができます。静止画を取り込むときは、ビットキャストブラウザを使います。

### マルチキャプチャ機能

静止画は、一場面だけを取り込むこともできますが、連続した複数の静止画として取り込むこともできます。取り込んだ複数の静止画は、ひとつの画像となって記録されます。この機能をマルチキャプチャ機能といいます。たとえば、サッカーのパスからシュートまでの連携プレーや、ボウリングのフォームなどを連続写真のように取り込むときに便利な機能です。



### チェック!

あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

### 用語

キャプチャ、キャプチャする  
静止画や動画をパソコンに取り込むことを「キャプチャ」または「キャプチャする」といいます。キャプチャした内容(静止画や動画など)は、画像ファイルや動画ファイルとして記録しておけます。

## ビットキャストブラウザを起動する

静止画をキャプチャするには、ビットキャストブラウザを使います。ここでは、詳細モードを例にして説明します。

1 アプリケーションをクリックする



2 「ホーム&ゲーム」をクリックする



3 「ビットキャストブラウザ」をクリックする



ビットキャストブラウザが表示される

### ✓チェック!!

ビットキャストブラウザを起動する前に、アンテナ線の接続、LINEケーブルの接続、チャンネルの設定が完了している必要があります。

### 📖参照

アンテナ線の接続 PART1の「アンテナ線を接続する」(p.2)  
LINEケーブルの接続 PART1の「LINEケーブルを接続する」(p.8)  
チャンネルの設定 PART1の「受信チャンネルの設定をする」(p.16)

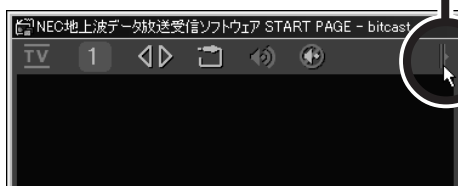
### 📖参照

ビットキャストブラウザの基本的な操作方法について PART6の「ビットキャスト放送を見よう」(p.113)



## 「キャプチャ設定」ウィンドウを表示させる

1 (切り替えボタン)をクリックする



コントロールバーのボタンの表示が変わる


2 (キャプチャオプションボタン)をクリックする



「キャプチャ設定」ウィンドウが表示される

3 「静止画」タブをクリックする



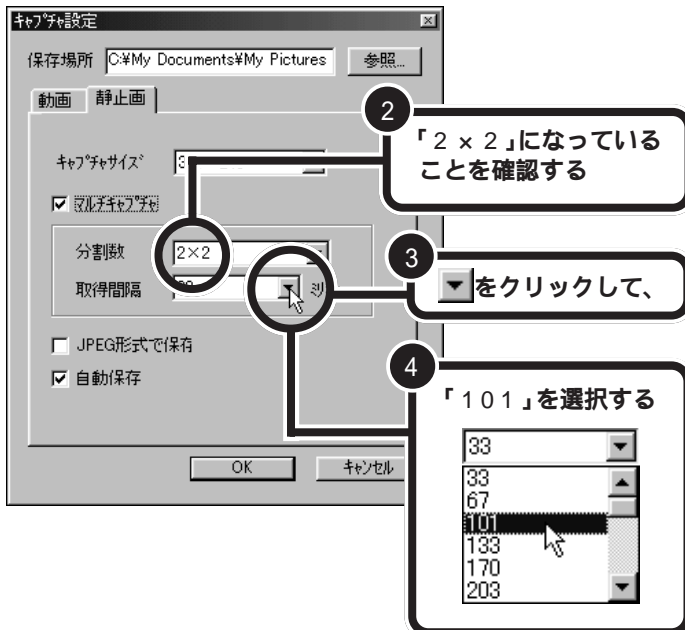
外部ビデオ機器から映像を取り込む外部ビデオ機器から映像を取り込むときは、外部ビデオ機器の接続 (p.72) をした後、 (入力切り替えボタン) をクリックして、チャンネル表示パネルを **VIDEO 1** にしてください。

ご購入時の静止画ファイルの保存場所は、「C:\My Documents\My Pictures」フォルダに設定されています。特に変更する必要がなければ、そのままの設定でお使いください。保存場所を変更する場合は、「参照」ボタンをクリックして、「フォルダの参照」ウィンドウで変更してください。

## 静止画の取り込み方を決める

静止画を取り込む方法には、テレビ映像の一場面だけを静止画として取り込む方法と、テレビ映像を連続した複数の静止画として取り込む方法(マルチキャプチャ)があります。

ここでは例として、「320×240」ドットの画像を、101ミリ秒間隔で4画面を取り込む設定で説明します。



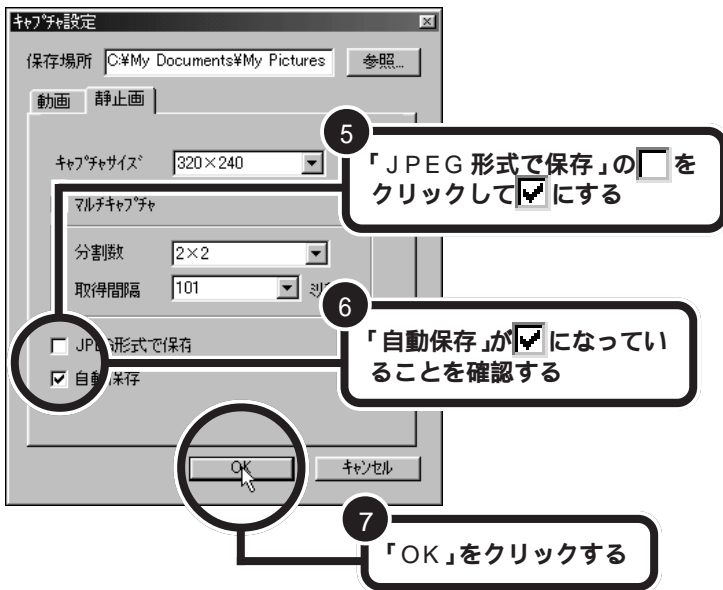
「マルチキャプチャ」を  のままにすると、録画ボタンが押されたときの映像のみを静止画として取り込みます。

静止画として取り込むことができる画像サイズは、「320×240」ドットのみです。

「分割数」の  をクリックすると、マルチキャプチャ機能で取り込む画像の枚数を、「5×5」「4×4」「3×3」「2×2」の中から設定できます。

「320×240」ドットの画像を、マルチキャプチャ機能を使って「2×2」で取り込むと、画像ファイル全体の大きさは「640×480」ドットになります。

「取得間隔」では、マルチキャプチャ機能を使って、複数の静止画を連続して取り込むときに、何秒間隔で取り込むかを指定します。



5 「JPEG形式で保存」の  をクリックして  にする

6 「自動保存」が  になっていることを確認する

7 「OK」をクリックする



### BMP、JPEG

パソコンで一般的に使われる、画像のファイル形式。BMPはWindowsで最も一般的な形式。JPEGはデジタルカメラやホームページなどで広く使われている。

「JPEG形式で保存」のチェックがない場合は、BMP形式のファイルとして保存されます。

「自動保存」を  にすると自動的にファイルが指定され、連続して画像を取り込むことができます。ファイル名はキャプチャを終了したときの年月日時分秒を表す名前になります。例:

2000年6月7日 17時35分23秒

2000\_0607\_1735\_23

## 静止画を取り込む

1 **Still** (静止画キャプチャボタン) をクリックする



設定したとおりに画面がキャプチャされる



静止画をキャプチャしている間、静止画キャプチャボタンは反転表示され、クリックできなくなります。キャプチャが完了すると、元に戻ります。

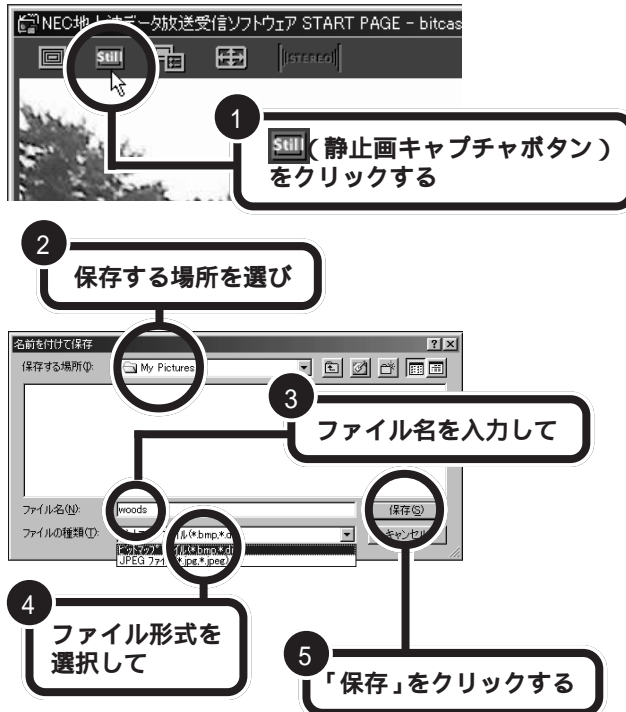
キーボードのワンタッチスタートボタンに「静止画キャプチャボタン」を割り当てることもできます。「ワンタッチスタートボタンの設定」の「ボタン設定」タブで、「コマンドリストから選択」をクリックして表示される機能リストの中から、「静止画 (bitcast).exe」をボタンに割り当ててください。

ボタンの割り当て方について詳しくは、「添付ソフトの使い方」-「ワンタッチスタートボタンの設定」、または「ワンタッチスタートボタンの設定」のヘルプをご覧ください。

「キャプチャ設定」ウィンドウで「自動保存」に  がついている場合は、保存先のフォルダ(ご購入時は「C:¥My Documents¥My Pictures」フォルダに指定されています)に自動保存されます。

## ファイル名を指定して静止画を取り込む

「キャプチャ設定」ウィンドウで「自動保存」に☑がついていない場合は、ファイル名を指定して保存します。



ファイル名は「Capture」以外の名前を入力してください。

取り込みをやめるときは、ビットキャストブラウザを終了してください。


📖 参照

ビットキャストブラウザの終了  
PART6の「ビットキャストブラウザを終了する」(p.130)

## 取り込んだ静止画を確認する

取り込んだ静止画を確認するには、SmartGalleryを使うと便利です。SmartGalleryでは、取り込んだ静止画のサムネイル(画像を一覧表示したもの)を見ることができます。

保存場所をご購入時の設定から変更していないときは、画像ファイルは、「My Documents」の「My Pictures」フォルダに保存されています。「SmartGallery」の「カテゴリ」から「イメージ」を選択すると、静止画を表示できます。

取り込んだ静止画が表示されていないときは、 (DATABSE)をクリックしてください。



📖 参照

SmartGalleryについて PART5の「やりたいことはスマートにはじめよう」(p.98)

# 外部ビデオ機器から 映像を取り込もう

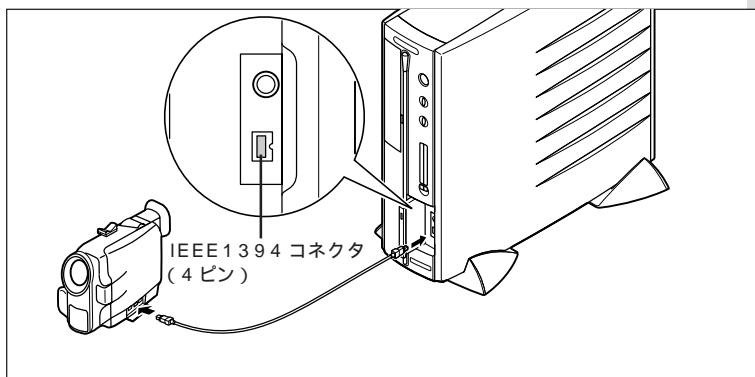
## VideoStudio

お手持ちのデジタルビデオカメラやビデオデッキ、ビデオカメラの映像を、このパソコンに取り込むことができます。添付ソフトの「VideoStudio」を使えば、映像の取り込みからビデオの編集まで、スムーズに行うことができます。

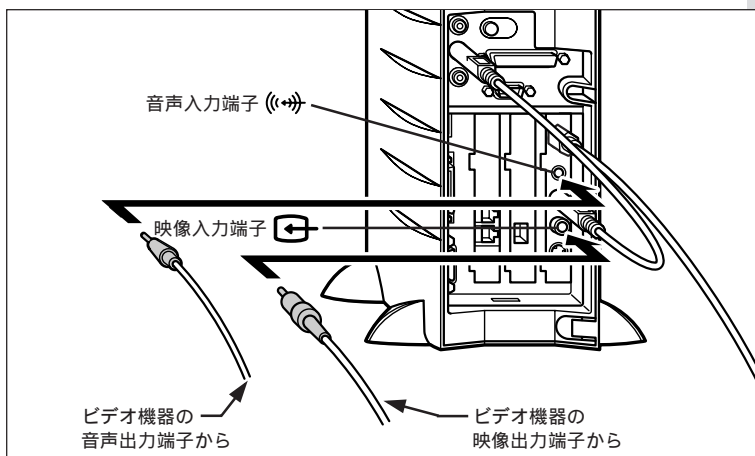
### 本体に外部ビデオ機器を接続する

このパソコンにデジタルビデオカメラやビデオデッキ、ビデオカメラなどを接続すると、テレビ放送と同じように、外部ビデオ機器からの映像を取り込むことができます。

#### IEEE1394 コネクタに接続する



#### アナログ入力端子に接続する



### ✓チェック!!

あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

### 📖参照

接続可能なデジタルビデオカメラについて『もっと知りたいパソコン』PART1の「周辺機器を取り付けるときのポイント」

機器によっては、IEEE1394に対応した端子のことをDV端子と呼びます。

ビデオケーブルは、電器店などで買い求めください。

### ✓チェック!!

音声入力端子にビデオ機器などを接続した場合に、ビットキャストローダーが起動していない状態では、スピーカから音声が出力されることがあります。この場合はビデオ機器などの電源を切るか、音声入力端子から外してください。

## Video Wizard を起動する

1 「スタート」をクリックする

2 「プログラム」をポイントして、

3 「Ulead VideoStudio 4.0 SE Basic」をポイントして、

4 「Ulead Video Wizard」をクリックする

Video Wizard が  
表示される

ここでは、Video Wizardを使って映像の取り込み(キャプチャ)する方法について説明しています。

**情報** をクリックすると、ヘルプが表示されます。

## 映像を取り込む

1

「プレビューウィンドウ」にカーソルを移動させ、右クリックする



2

機器に合わせてどちらかを選択する



IEEE1394 対応機器では、「Microsoft DV Camera and VCR」をクリックする。アナログ映像機器では、「Conexant Capture」をクリックする。



3

「プロジェクト名」を入力する

4

外部ビデオ機器で映像の再生を始める

キャプチャした映像は次のような形式で保存されます。

- ・ IEEE1394 コネクタに接続した機器からキャプチャする場合  
ファイル形式: AVI  
画像サイズ: 720 × 480 ピクセル  
フレームレート: 29.97fps  
圧縮形式: DV ビデオエンコーダ  
音声: PCM、32.000KHz、16ビット、ステレオ
- ・ 映像入力端子に接続した機器からキャプチャする場合  
ファイル形式: AVI  
画像サイズ: 320 × 240 ピクセル  
フレームレート: 29.97fps  
圧縮形式: 未圧縮  
音声: PCM、11.025KHz、8ビット、モノラル

「参照」をクリックして、保存したいフォルダを変更できます。通常は、「C:\¥My Documents¥My Pictures」フォルダに保存されます。

5  
ビデオ取り込み<sup>2</sup> (ビデオ取り込み) をクリックする



6  
「開始」をクリックする



7  
「中止」をクリックする

映像の取り込み(キャプチャ)が始まります。  
キャプチャ時間がカウントされ、映像画面の右下に表示されます。

キャプチャした映像は、後で短くできる(トリミング加工)ので、数秒長めにキャプチャするとよいでしょう。

映像の取り込みが終了します。

映像の取り込みは、何度も繰り返して行えるので、必要な部分だけを取り込むことができます。



# 取り込んだ映像を編集しよう

映像をパソコンに取り込んだら、編集して見やすい映像にしましょう。

1 「アレンジ」(アレンジ)をクリックする



2 「トリム」をクリックする

「ビデオをトリム」の画面が表示される

3 ビデオを開始したい位置に、[ ] を移動する

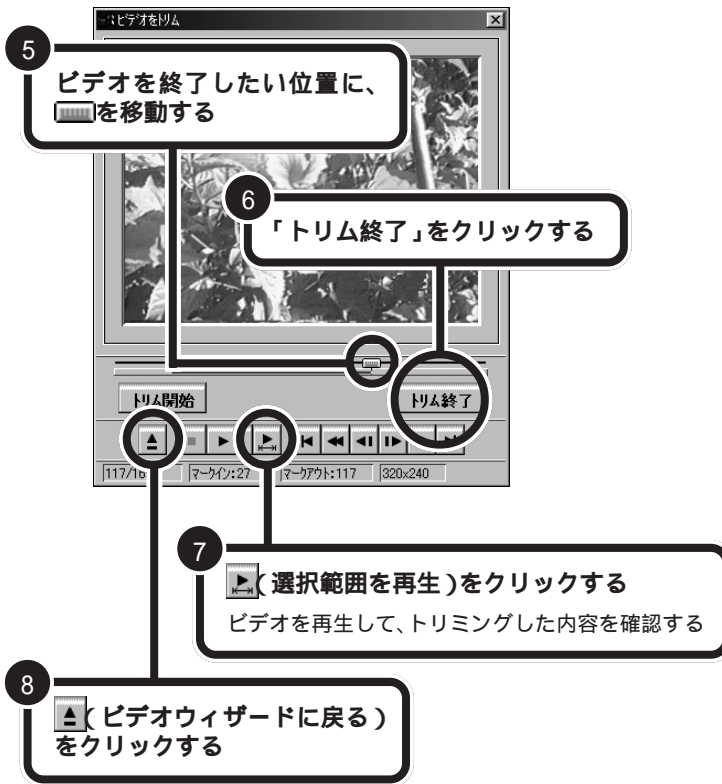
4 「トリム開始」をクリックする



「削除」をクリックすると、使用しない映像を削除できます。

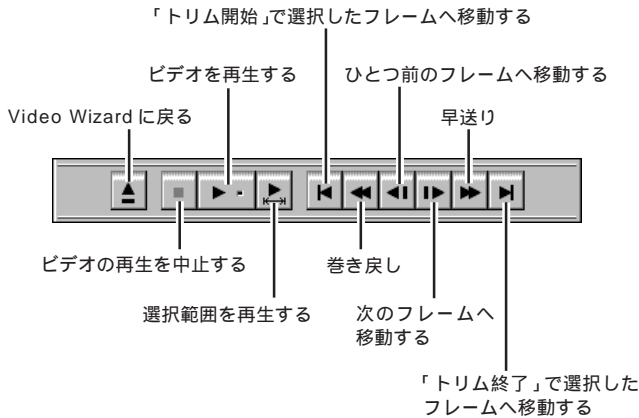
「ビデオを追加」をクリックすると、「ビデオファイルを開く」ウィンドウが表示され、パソコンに保存してある映像ファイルを追加できます。





トリミングを行います。使用したい映像の開始位置と終了位置を正確に設定し、不要な部分を削除できます。

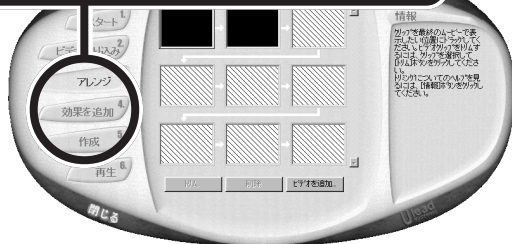
### 再生ボタンについて



## 映像にタイトルや効果を入れる

1

効果を追加 (効果を追加) をクリックする



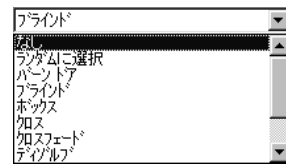
2

▼ をクリックして、



3

「トランジション効果」を選択する



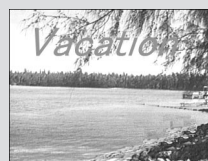
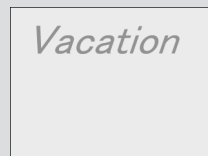
4

「タイトル」を入力する



「トランジション効果」では、映像と映像の間の場面転換をどのように見せるか設定できます。

「ブラインド」の例



参照

VideoStudioの「効果」についてこのPARTの「VideoStudioでできるいろいろな編集」(p.82)

タイトル文字のフォントや色、背景色を変更することもできます。

左の画面は設定例です。

## 編集した映像を再生する

1 作成 (作成) をクリックする



2 「ビデオファイルの作成」をクリックする

ファイル作成の進行状況が表示される



ファイル作成が終了すると、自動的に「再生」の画面が表示される



3 再生 (再生) をクリックする

AVI ファイルを自動生成します。映像のサイズによっては、しばらく時間がかかります。

再生してみて、さらに修正したいときは、「アレンジ」や「効果」のステップに戻って作り直すことができます。

保存形式を変更したり、さらに細かい編集をしたいときは、「作成」に戻って「VideoStudioで開く」をクリックします。

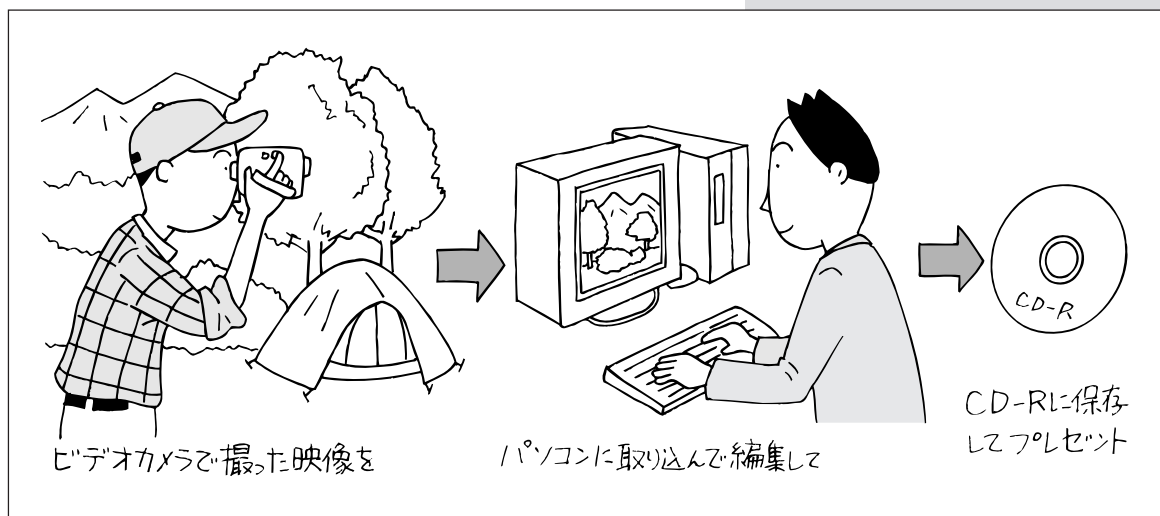
# DVD タイトルを作成する

作成した映像を、このパソコンに入っている「DVDit!」というソフトで、タイトルや目次を付けてDVDタイトルを作成しましょう。

このパソコンに入っている「DVDit!」というソフトを使えば、VideoStudioで編集した映像に、タイトルやメニュー(目次)をつけて見やすい映像を作れます。

また、作成した映像はハードディスクやCD-R/RWに保存して、このパソコンに入っているDVDプレーヤーで再生できます。

お気に入りの映像を、デジタル映像に仕上げてみましょう。



## VideoStudio で編集する

ここでは、先ほどデジタルビデオカメラから取り込んだデータを編集する方法を例にして説明します。SmartVision/TVで録画した映像でも、同様にこの手順で編集するとDVDタイトルを作成することができます。



## 📖 参照

SmartVision/TVでの録画について  
「PART3 テレビ番組を録画しよう」(p.45)

## ✔ チェック!!

あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

## ✔ チェック!!

「VideoStudio」を起動すると、「Video Wizard」には戻れません。以降の編集は、VideoStudioで行います。

## VideoStudio できるいろいろな編集

ここでは、「VideoStudio」の機能について紹介します。

画面上部に表示されているステップ(開始 キャプチャ ストーリーボード

効果 タイトル ボイス ミュージック 完了)の順に、作業を進めていきます。



VideoStudioでは、ステップごとにヘルプを表示します。作業内容をヘルプで確認しながら、作業を進めてください。

### 📖 参照

VideoStudioの詳しい使い方  
VideoStudioのオンラインヘルプ

Ⓜ(グローバルコマンドボタン)をクリックすると、次のようなメニュー画面を表示します。IEEE1394コネクタにビデオ機器を接続していないときは、「Microsoft DV Camera and VCR」は表示されません。

環境設定... F6
テンプレートマネージャ...
プレビューファイルマネージャ...
デバイスコントロールの選択...
キャプチャプラグインの切り換え...
Microsoft DV Camera and VCR
● Conexant Capture
Ulead VideoStudio 4.0のヘルプ... F1
Uleadのホームページ
VideoStudioのホームページ
テクニカルサポート
オンラインレジストレーション
Ulead VideoStudio 4.0について
終了

VideoStudioでテレビの映像をキャプチャすることもできます。詳しくはPART7の「VideoStudioでテレビの映像をキャプチャしたい」(p.149)をご覧ください。

## 効果

画像と画像の間の場面転換効果を設定します。ライブラリから、100種類以上の効果を確認しながら、選べます。

「効果」の種類は、ライブラリに表示されています。どのような場面転換をするか一目で確認できます。



## タイトル

画像に文字を入力します。タイトルだけでなく、画像のコメントを入れることもできます。プレビューウィンドウに直接文字を入力できます。

「タイトル」に使用する文字の書体、大きさ、位置、表示する時間などを設定します。

「タイトル」のサンプルが表示されています。



「タイトル」が映像のどこに配置されているのかを示します。

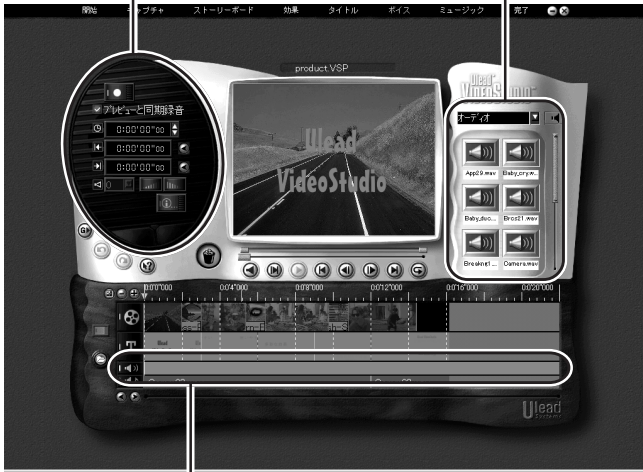


## ボイス

マイクを使って音声を入力します。編集したビデオファイルを再生しながらリアルタイムで録音できます。また、音声ファイルを取り込むこともできます。

音声の入力を行います。

音声ファイルを一覧できます。



音声が映像のどこに配置されているかを示します。

## ミュージック

BGMを録音します。音楽CDを自動的に認識して、オプションパネルに表示される一覧から録音できます。

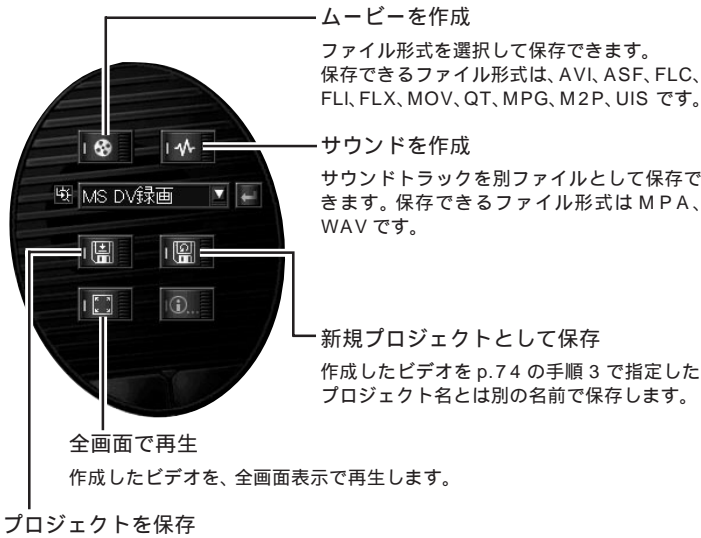
音楽CDの再生、録音を行います。

音声ファイルを一覧できます。



ミュージックが映像のどこに配置されているかを示します。

### 完了ステップのオプションパネルについて



### VideoStudio で編集するときの注意

VideoStudio で映像を編集するときは、次のことに注意してください。

- ・ VideoStudio で編集できる映像について詳しくは、「スタート」-「プログラム」-「Ulead VideoStudio 4.0 SE Basic」-「NEC MPEG2 プラグイン for Ulead VideoStudio 」をご覧ください。
- ・ MPEG2 形式で保存するときに、ビットレートを大きくすると高画質になりますが、ファイルサイズが大きくなります。また、再生環境によっては、スムーズに再生できなくなることがあります。通常、ビットレートは、4 ~ 6Mbps でご利用ください。
- ・ MPEG2 ファイルの保存には、再生時間の3倍 ~ 10倍程度の時間がかかります。



#### MPEG(エムペグ)

動画データのファイル形式のひとつ。データを圧縮できるのが特長。再生品質やデータ量などによって、MPEG1、MPEG2 などある。MPEG1 はビデオ CD で採用されている規格で、再生品質は家庭用ビデオ程度。MPEG2 はDVD-Videoで採用されている規格で、MPEG1 に比べデータ量は大きくなるがより高画質。

## DVDit!で編集できるデータにする

1 「完了」をクリックする

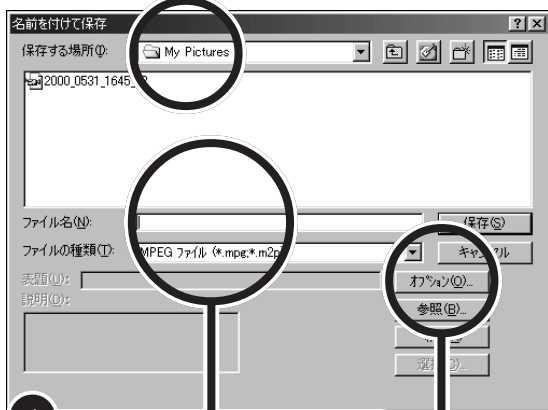


「完了」をクリックすると、「Ulead VideoStudio のガイド」が表示されます。**X** をクリックして、閉じてください。

2 (ムービーを作成)をクリックする



3 保存する場所を選び、



4 「ファイル名」を指定して、「ファイルの種類」で「MPEG ファイル」を選択し、

5 「オプション」をクリックする



6 「カスタム設定」タブをクリックする

映像を「デスクトップ」、「マイドキュメント」、「My Pictures」に保存すると、このパソコンに入っている「SmartGallery」というソフトでデータの管理や活用ができます。特別な理由がない限り、映像を「My Pictures」フォルダに保存することをおすすめします。

参考

SmartGallery について PART5 の「やりたいことはスマートにはじめよう」(p.98)

「表題」や「説明」の欄に、タイトルやコメントを入力できます。

でき上がったビデオをホームページで見られる形式にも保存できます。他に、E-mail やグリーティングカードなどもあります。

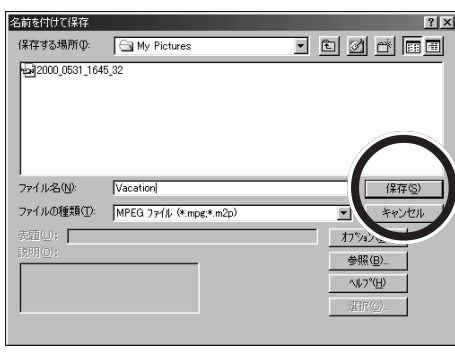


7 「DVDIt!」の左の  をクリックして  にして、



8 「OK」をクリックする

この画面に戻る



9 「保存」をクリックする

MPEG2 ファイルの保存がはじまります。保存が終わると、VideoStudio の画面に戻ります。

10  をクリックする



VideoStudio が終了する

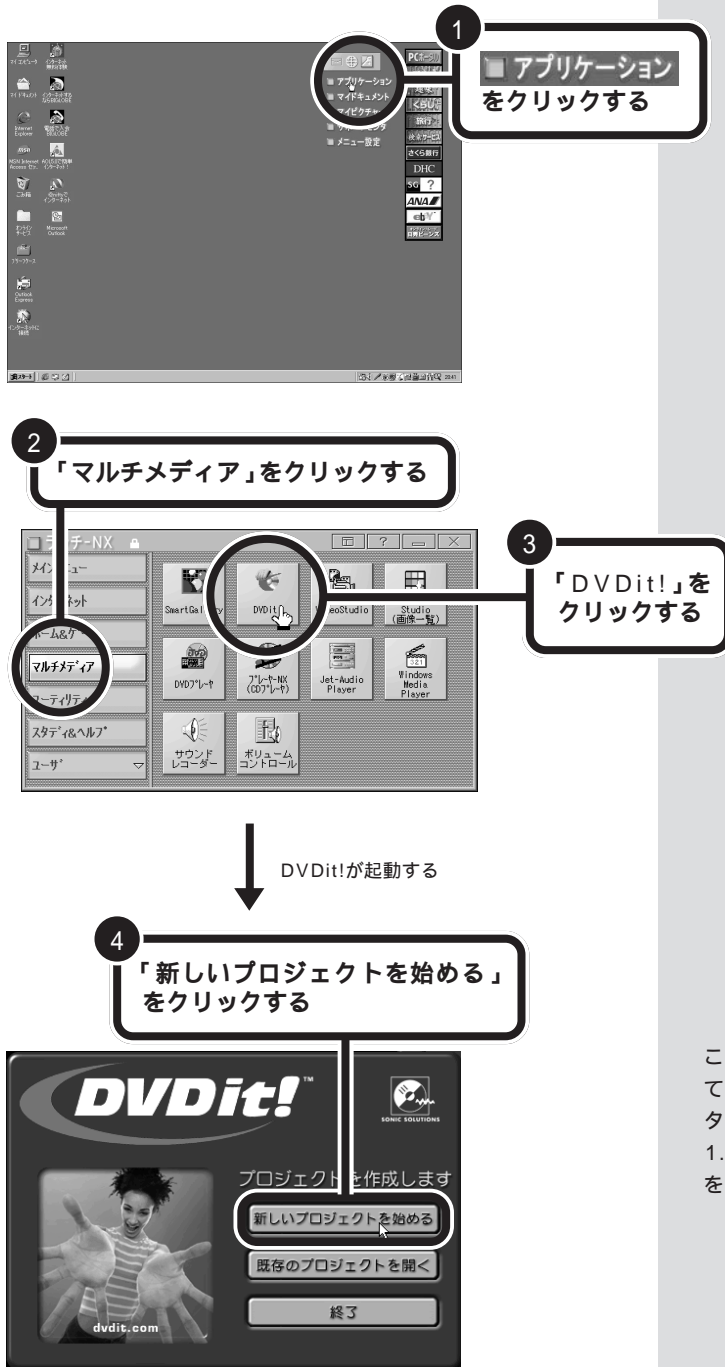
MPEG2 ファイルの編集について詳しくは「スタート」-「プログラム」-「Ulead VideoStudio 4.0 SE Basic」-「NEC MPEG2 プラグイン for Ulead VideoStudio」をご覧ください。  
DVDIt!で、SmartVision/TV で録画した映像を編集する場合も、同様の手順で操作してください。

MPEG2 ファイルの保存には、再生時間の 3 倍 ~ 10 倍程度の時間がかかる場合があります。

## DVDit!で仕上げる

DVDit!を使って、VideoStudio で作成した映像に、タイトルメニュー画面をつけてみましょう。

### DVDit!を起動する



ここでは簡単な使い方のみを説明しています。詳しい使用方法は、「スタート」-「プログラム」-「DVDit! LE 1.1.2」-「DVDit! LE User Manual」をご覧ください。

5 「NTSC」と、「MPEG2」が選択されていることを確認して、



6 「設定終了」をクリックする

DVDIt!のウィンドウが表示されます。

### DVDIt!のウィンドウについて

#### ビデオモニタ

背景やボタンを設置します。また、映像の再生をします。

#### パレットウィンドウ

背景やボタン、映像などの素材が表示されます。



#### 背景

タイトル画面の背景に使う画像が表示されます。

#### ボタン

タイトル画面に設置するボタンが表示されます。

#### テキスト

タイトル画面で使える文字のフォント(書体)が表示されます。

#### メディア

映像や音楽のデータが表示されます。

#### 再生

完成したプロジェクトを再生するための「Remote Control」ウィンドウが表示されます。

## DVDit!でできるいろいろな編集

ここでは、「DVDit!」の機能について説明します。「パレットウィンドウ」の下にあるボタンをクリックして、各機能を切り替えます。

画面右下にあるボタン(背景 ボタン テキスト メディア 再生)の順に、作業を進めていきます。

### 背景

タイトルメニュー画面の背景になる画像を設定します。「パレットウィンドウ」から背景にしたい画像を選んで、「メニュー 1」の上にドラッグ&ドロップします。



### ボタン

タイトルメニューにつけるボタンを設定します。「パレットウィンドウ」から貼り付けたいボタンを選んで、「ビデオモニター」にドラッグ&ドロップします。



### チェック!!

背景は、SmartGalleryの「イメージ」カテゴリから好きな画像をパレットウィンドウにドラッグ&ドロップして登録することもできます。

### 参照

SmartGalleryについて PART5の「やりたいことはスマートにはじめよう」(p.98)

## ① テキスト

タイトルメニューに書き込む文字の書体を設定します。「パレットウィンドウ」から使いたい書体を選んで、「ビデオモニタ」にドラッグ&ドロップします。ドラッグ&ドロップした文字をダブルクリックして反転表示にして、キーボードから書き込みたい内容(ボタン名やタイトルなど)を入力します。



## ② メディア

DVDタイトルにする映像などを設定します。「パレットウィンドウ」内を右クリックして、「テーマにファイルを追加」をクリックし、画面の説明を見ながらVideoStudioで作成した映像を「パレットウィンドウ」に追加します。その後、映像を選択して、「パレットウィンドウ」から「ビデオモニタ」に作成したボタンにドラッグ&ドロップします。



## ✓ チェック!!


- DVDIt!で利用できる動画ファイルは、VideoStudioでDVDIt!用に保存したMPEG2形式のファイルだけです。
- 静止画をメディアに設定することもできます。静止画のサイズは、720 × 480ドットです。

## 📖 参照

DVDIt!用のファイル このPARTの「DVDIt!で編集できるデータにする」(p.85)



## 再生

作成した映像を再生できる「Remote Control」ウィンドウが表示されます。ビデオモニタに作成したボタンをクリックすると、再生が始まります。作成した映像の確認ができたなら、をクリックして「Remote Control」を閉じてください。



DVD タイトルの詳しい作成のしかたについては、「スタート」-「DVDIt! LE 1.1.2」『DVDIt! LE User Manual』をご覧ください。

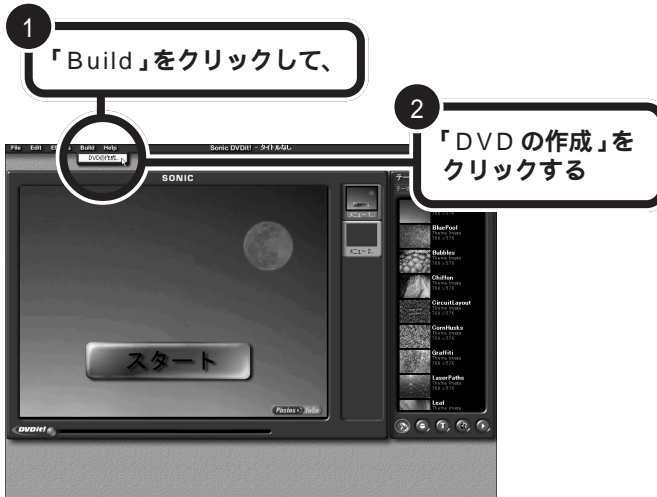
## DVD タイトルを保存する

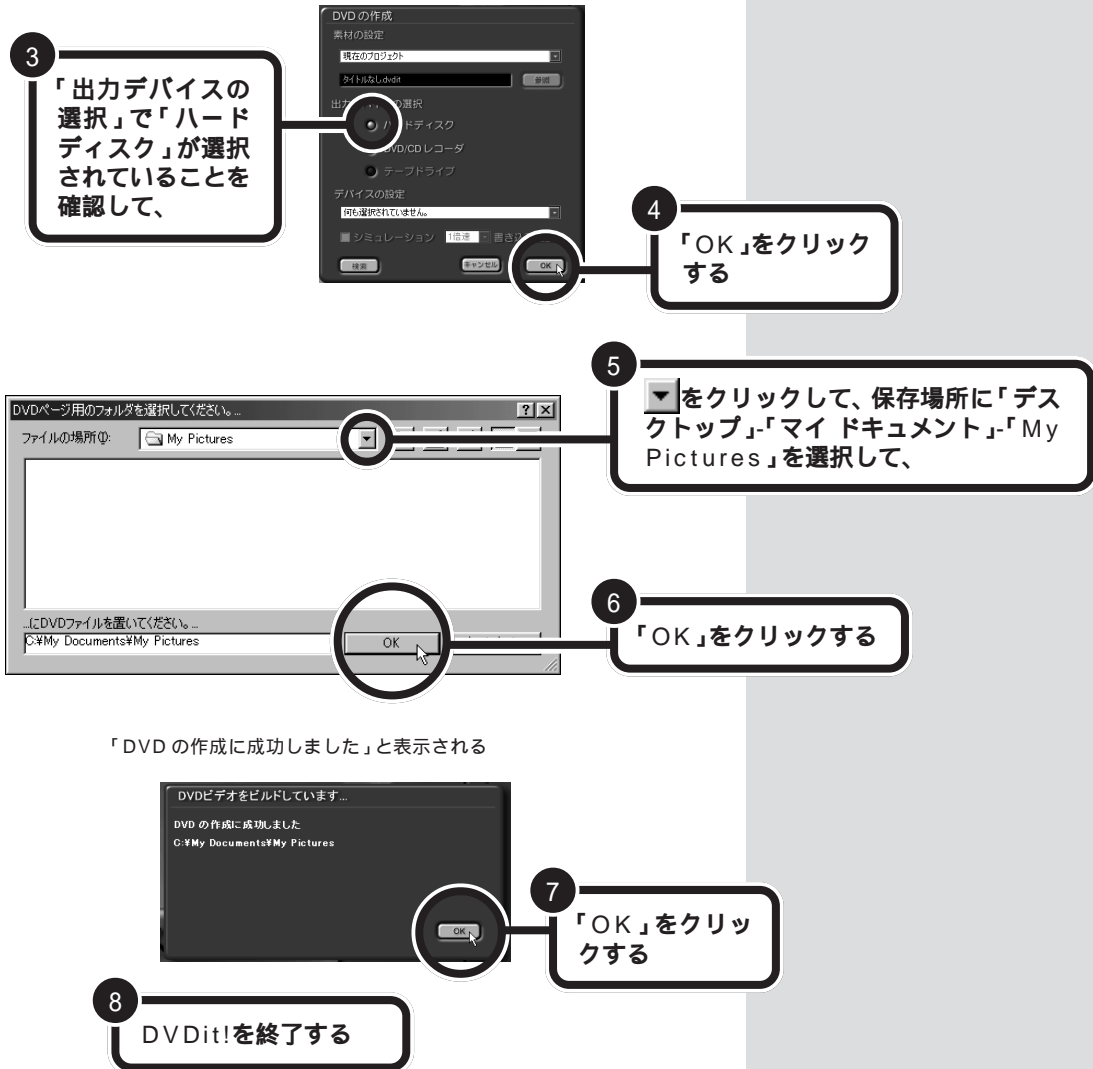
作成した DVD タイトルを保存しましょう。保存する方法には、次の 2 つがあります。

- ・ハードディスクに保存する
- ・CD-R/RW メディアに保存する

### ハードディスクに保存する

作成した映像をハードディスクに DVD タイトルとして保存します。





「DVDの作成に成功しました」と表示される

これで、映像がDVDタイトルとして保存されました。

### CD-R/RW メディアに保存する

作成した映像は、CD-R/RWにも保存できます。  
CD-R/RWへのDVDタイトルの保存のしかたは、「スタート」-「プログラム」-「DVDit! LE 1.1.2」-「DVDit! LE User Manual」、DVDit!のヘルプをご覧ください。

### ✓チェック!!

- ・ CD-R/RW (650Mバイト)に保存できる映像は20分程度までです。
- ・ CD-Rメディアへは、1度保存したら、たとえ空き容量があっても、そのメディアへは保存できなくなります。
- ・ DVDタイトルをCD-R/RWメディアに保存する場合は、プロジェクト名を半角英数字で入力してください。

# DVD タイトルを再生する

作成した DVD タイトルを再生してみましょう。

作成した DVD タイトルを再生します。ハードディスクに保存した場合は「SmartGallery」から再生します。CD-R/RW メディアに保存した場合は、市販の DVD-Video ディスクのように、自動的に再生できます。

## ハードディスクに保存した DVD タイトルを再生する

保存した DVD タイトルは、このパソコンの DVD プレーヤで再生できます。

1 SmartGallery を起動する

2 (DATABASE) をクリックして、表示された画面で「はい」をクリックする



3 (カテゴリ) をクリックして、

4 (ムービー) をクリックする



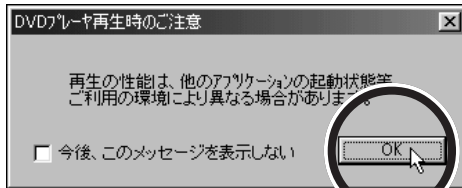
ハードディスクに保存した DVD タイトルは、DVD プレーヤからファイルを指定しても再生できます。詳しくは DVD プレーヤのヘルプの「DVD の設定」、「ドライブの設定」をご覧ください。

SmartGallery について詳しくは、PART5 の「やりたいことはスマートにはじめよう」(p.98) をご覧ください。

5  
作成したDVDタイトルのサムネイルを  
右クリックして「開く」「DVDPlayer」  
をクリックする



この画面が表示される



6  
「OK」をクリックする

DVD プレーヤが起動して、タイトル画面が表示される



サムネイルをダブルクリックしても、  
DVD プレーヤを起動できます。

**チェック!**

- SmartVision/TVやビットキャストブラウザなど、DVDプレーヤ以外の映像を表示するソフトが起動していると、DVDプレーヤは起動できません。
- DVDit!で作成したDVDタイトルの再生中は、DVDプレーヤのカウンタは動きません。

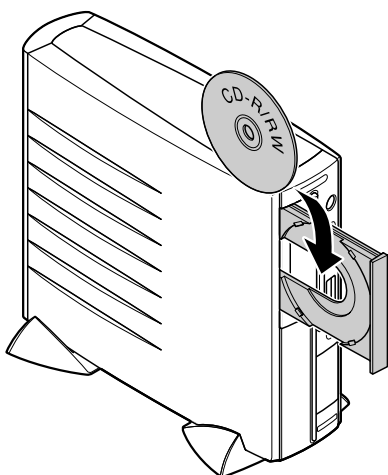
DVDプレーヤについて詳しくは、サポートセンタまたはDVDプレーヤのヘルプをご覧ください。

## CD-R/RW に保存した DVD タイトルを再生する

CD-R/RW メディアに保存した DVD タイトルは、一般の DVD-Video ディスクのように、メディアを CD-R/RW with DVD-ROM ドライブにセットすると自動的に DVD プレーヤが起動して DVD タイトルのタイトル画面を表示します。

1

DVD タイトルを保存した CD-R/RW メディアを CD-R/RW with DVD-ROM ドライブにセットする



DVD プレーヤが起動して、タイトル画面が表示される



### ✓チェック!!

- ・ SmartVision/TV やビットキャストブラウザなど、DVDプレーヤ以外の映像を表示するソフトが起動していると、DVDプレーヤは起動できません。
- ・ DVDit!で作成したDVDタイトルの再生中は、DVDプレーヤのカウンタは動きません。

DVDプレーヤについて詳しくは、サポートセンタまたはDVDプレーヤのヘルプをご覧ください。

### 📖参照

CD-R/RWのセットのしかた 『はじめにお読みください』付録の「CD-ROMの入れ方と出し方」

PART

# 5

## 取り込んだ映像を活用しよう

パソコンに取り込んだ静止画や動画、音声を活用してみましょう。電子メールに添付して送ったり、MDに録音したりといった、デジタルならではの楽しみ方ができます。

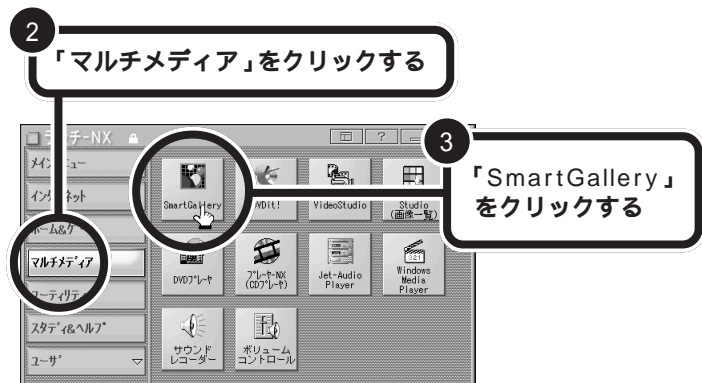
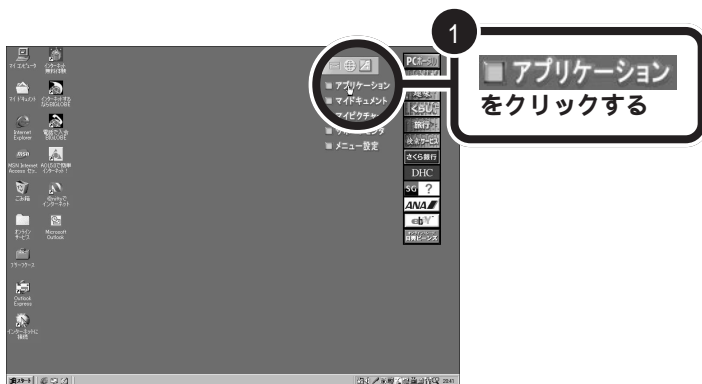
# やりたいことは スマートにはじめよう

このパソコンには、取り込んだ映像などを活用するためのいろいろなソフトが入っています。このパソコンに入っている「SmartGallery」を使えば、映像などのファイルをまとめて管理でき、スマートに始められます。

「SmartGallery」は、録画したテレビ番組やデジタルビデオカメラの映像といった動画や写真などの静止画、音楽データ、インターネットのホームページなど、マルチメディアファイルをまとめて管理できるソフトです。ファイルをカテゴリ(分類)に分けて表示したり、「SmartGallery」のサムネイル(画像を一覧表示したもの)から直接いろいろなアプリケーションを起動して、ファイルを開いたりできます。ファイルの数が増えてもすぐに目的のファイルを使えます。

SmartGallery について詳しくは、SmartGallery のヘルプをご覧ください。

## SmartGallery を起動する



SmartGallery が起動します。

## SmartGallery のウィンドウについて



このアイコンをクリックすると、以下のメニューが表示されます。

**ファイル**

メディアを登録したり、ファイルを開いたりできます。

**編集**

ファイルやメディアの検索や、削除などができます。

**表示**

ファイルやメディアの表示方法をかえたり、並べ方をかえたりできます。

**オプション**

その他さまざまな設定ができます。

**ヘルプ**

SmartGallery のヘルプを表示します。バージョンも表示できます。

**カテゴリ**

表示するファイルのカテゴリ(分類)を次の中から選びます。

**全て**

すべてのカテゴリを表示します。

**TV**

「SmartVision/TV」で録画した番組を表示します。サムネイル表示された動画は、簡易再生できます。

**ムービー**

動画ファイルを表示します。

**音楽**

音楽ファイルを表示します。

**イメージ**

静止画ファイルを表示します。

**ストリーム**

インターネットに接続して再生するファイルを表示します。

**ホームページ**

インターネットのホームページを表示します。

**フィルタ**

表示しているカテゴリの中から、条件(コンテンツ、拡張子、ジャンルなど)を選んで表示します。

**検索**

表示しているコンテンツの中からキーワードで検索します。検索結果に合ったものだけを表示します。

**全表示**

設定したフィルタと検索結果を解除して、カテゴリのすべての内容を表示します。

**ファイル**

「マイドキュメント」に保存されているマルチメディアファイルがサムネイル表示されます。ファイルは、アイコンで表示される場合もあります。

**メディア**

SmartGallery に登録されているメディア( p.101 )がサムネイル表示されます。アイコンで表示される場合もあります。



SmartGallery について詳しくは、SmartGallery のヘルプをご覧ください。




## 基本的な使い方

ここでは SmartGallery の基本的な使い方を説明します。

### 最新の情報を表示する

動画や音楽などのファイルを保存した後は、SmartGalleryの表示を最新にする必要があります。

 (DATABASE) をクリックして、表示されるウィンドウで「はい」をクリックして最新の表示にしてください。

ご購入時の設定では、「マイドキュメント」フォルダ内に保存したファイルが SmartGallery で表示されます。表示するファイルの保存先を変更することもできます。詳しくは Smart Gallery のヘルプをご覧ください。

自動的に SmartGallery の表示が最新になるように設定することもできます。詳しくは SmartGallery のヘルプをご覧ください。

1

 (DATABASE) をクリックする



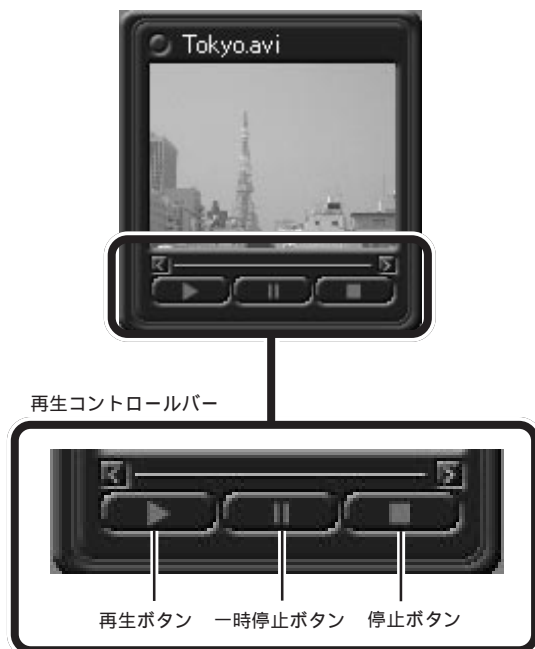
「データベースの更新を行いますか」と表示されたら、「はい」をクリックする



未登録だったファイルが登録される

## 動画ファイルを再生する


動画ファイルで、サムネイル表示に再生コントロールバーがあるものは、SmartGalleryで簡易再生ができます。



## メディアを登録する

持っているCDやビデオなどを、メディアとしてSmartGalleryに登録して管理できます。

### ・新規にメディアを登録する

をクリックして表示されたメニューから、「ファイル」-「メディアの新規登録」をクリックし、表示されたメニューから、登録したいメディアの種類を選んで、「OK」をクリックします。



この画面で、メディアの情報を入力する

音楽ファイルも、SmartGalleryで再生できます。

・ファイルからメディアを登録する

すでにファイルとして登録されているものを、さらにメディアに登録することもできます。

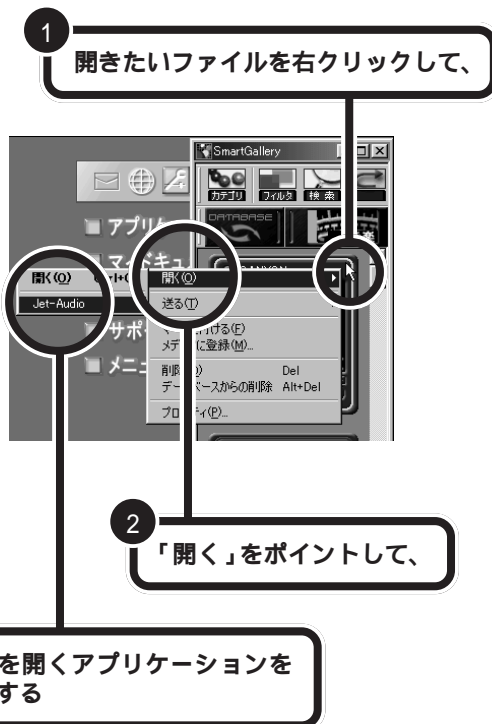
メディアに登録したいファイルを右クリックして、「メディアに登録」をクリックします。



この画面で、メディアの情報を入力する

## ファイルを開く

SmartGallery から、動画や音声を再生したり、静止画を表示したりすることができます。



アプリケーションが起動し、ファイルが開きます。

### ✓チェック!!

- ・ SmartGallery から起動できないアプリケーションもあります。
- ・ テレビ番組などの動画を再生中は、SmartGallery で動画の簡易再生をしないでください。

ファイルのサムネイルをダブルクリックしても、ファイルを開けません。

# SmartGalleryを活用しよう

SmartGalleryを中心に、いろいろな機能を組み合わせて使ってみましょう。

## 情報を入力する

SmartGalleryで管理するファイルやメディアに、コメントやジャンルを入力できます。入力した内容でキーワード検索ができます。

1

情報を入力したいサムネイルを右クリックして、



2

「プロパティ」をクリックする

この画面が表示される



3

「コメント」の欄に、  
情報を入力して、

4

「OK」をクリックする



参照

キーワード検索 SmartGalleryのヘルプ

「共通項目」タブの右側にある、各カテゴリ名がついたタブ(左の画面では「イメージ」タブ)をクリックすると、さらに細かい情報が入力できます。入力できる情報は、カテゴリによって異なります。

「コメント」欄に入力する情報は、キーワード検索をするときにわかりやすいものが入りやすいでしょう(日付、制作者名など)。

## 表示する画像を変える

ご購入時の状態では、音楽ファイルのサムネイルは、ギターのイラストで表示されています。これをお気に入りの画像に変えてみましょう。

動画のサムネイルを好きな場面の画像にすることもできます。動画のサムネイルを変更する方法について詳しくは、SmartGallery のヘルプをご覧ください。

1 サムネイルを変えたいファイルを右クリックして、



2 「プロパティ」をクリックする

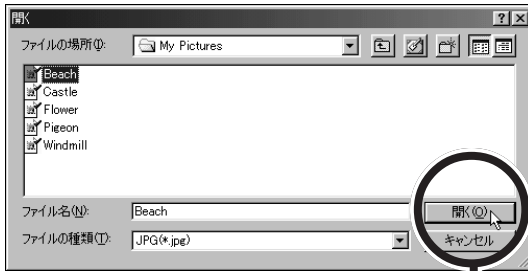
3 「ファイルを指定する」の左の  をクリックして  にする

この画面が表示される



4 「参照」をクリックする

この画面が表示される



5 表示したい画像ファイルを選択して、「開く」をクリックする

6 選んだ画像が表示されていることを確認して、



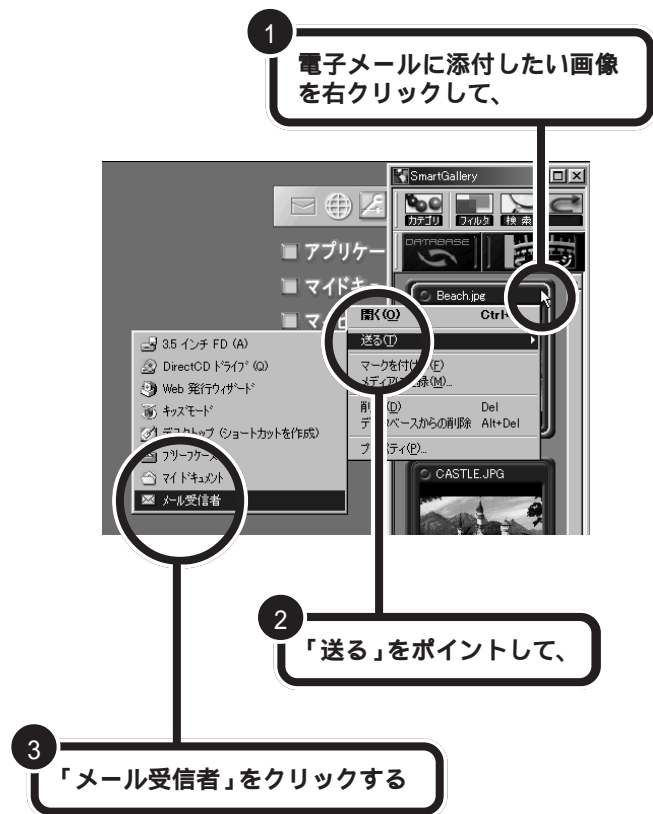
7 「OK」をクリックする



サムネイル表示の画像が変わります。

## お気に入りの画像を電子メールに添付する

例えば、デジタルカメラで撮った旅行の写真を、一緒に旅行に行った人に電子メールで送りたい。そんなときは、SmartGalleryを使えば、簡単に画像を電子メールに添付して送れます。



「Outlook Express」が起動し、メールに画像が添付されます。あとは送信先を入力し、メッセージを書いて送信しましょう。

画像が SmartGallery で表示されないときは、表示を最新にしてください。

📖 参照

最新の情報を表示する このPARTの「基本的な使い方」(p.100)

✔ チェック!!

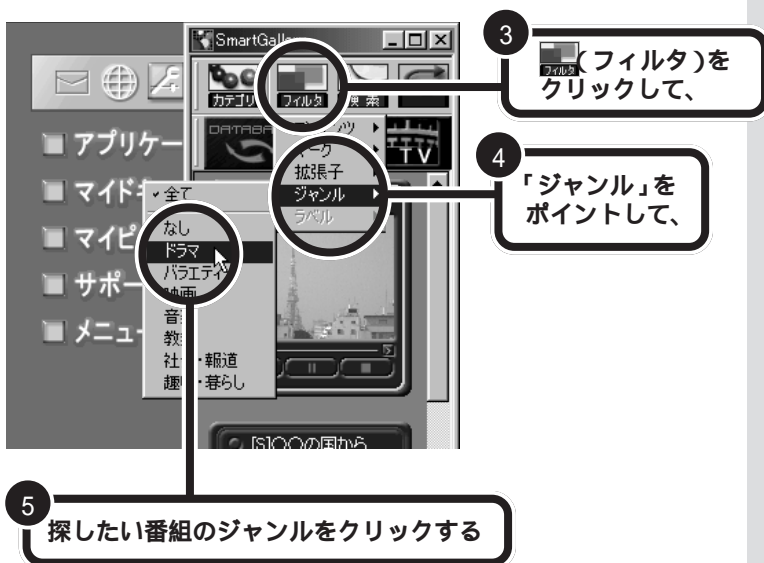
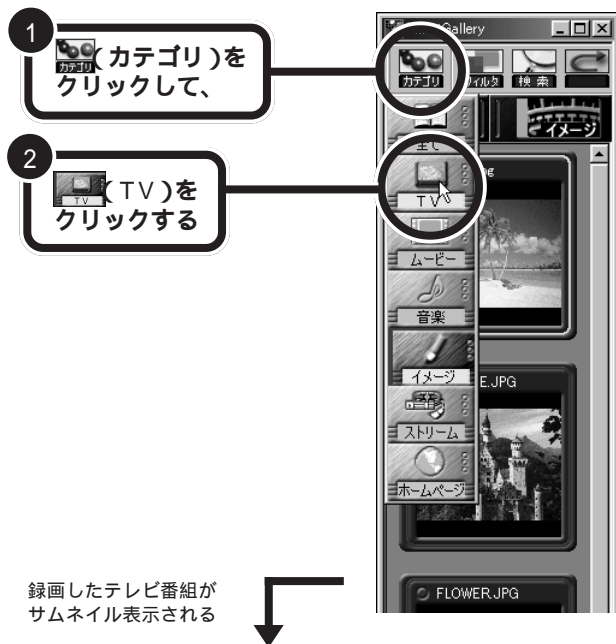
添付ファイルのサイズの上限は、約500Kバイトを目安にするとよいでしょう。

📖 参照

電子メールの使い方 『使っておぼえるパソコンの基本』前編の「PART3 電子メールをはじめよう」

## 録画したテレビ番組を探す

SmartGalleryを使って、SmartVision/TVで録画したテレビ番組を番組のジャンルから簡単に探せます。



選んだジャンルの番組だけが表示されます。

番組を選んで、サムネイルをダブルクリックすると、録画した番組が再生されます。

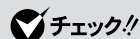


参照  
テレビ番組の録画 「PART3 テレビ番組を録画しよう」(p.45)

あらかじめ、SmartGallery の表示を最新の状態にしておいてください。



参照  
最新の情報を表示する このPARTの「基本的な使い方」(p.100)



チェック!!

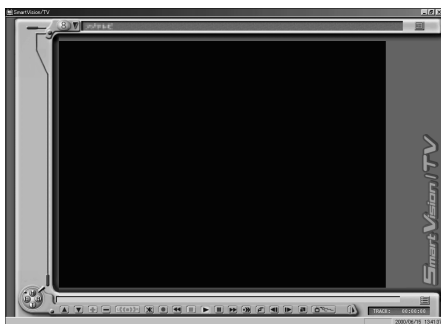
テレビ番組などの動画を再生中は、SmartGalleryで動画の簡易再生をしないでください。



## 録画したテレビ番組を MD に録音する

例えば、英会話のテレビ番組などから、音声だけを録音して持ち歩きたい。そんなときは、このパソコンの機能を使えば、テレビ番組の中から欲しい部分だけを取り出して MD などに録音できます。

テレビ番組を録画する



「SmartGallery」を使って、録画した映像を「VideoStudio」で開く



「VideoStudio」で、録画した映像を編集し、音声だけを保存する



### チェック!!

あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

### 参照

テレビ番組の録画 「PART3 テレビ番組を録画しよう」(p.45)

### 参照

ファイルを開く このPARTの「ファイルを開く」(p.102)

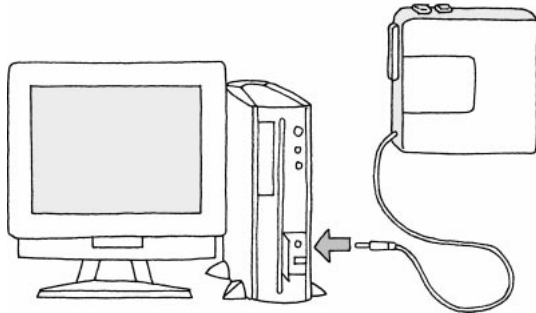
### チェック!!

音声は、WAVファイルとして保存します。

### 参照

VideoStudioについて PART4の「外部ビデオ機器から映像を取り込もう」(p.72) \ VideoStudioのオンラインヘルプ

録音機能付き MD プレーヤを、このパソコンの光デジタルオーディオ (S/PDIF) 出力端子に接続する



「SmartGallery」を使って、保存した音声ファイルを「Jet-Audio Player」で再生する



保存した音声ファイルを「Jet-Audio Player」で再生しながら、MD プレーヤで MD に録音する



これで、テレビの音声を MD プレーヤで楽しめます。

接続について詳しくは、MD プレーヤに添付のマニュアルをご覧ください。

**✓チェック!**

- ・接続するときは、市販の光デジタルケーブルを使用してください。
- ・このパソコンの光デジタルオーディオ出力端子は、光ミニ端子 (ミニ型) です。ただし、プラグの形状によっては使用できないものがありますので、ケーブルは、よくお確かめの上、ご購入ください。

**📖参照**

SmartGallery からの再生 この PARTの「ファイルを開く」(p.102)

**📖参照**

Jet-Audio Player の使い方 「スタート」-「プログラム」-「Jet-Audio Player」-「Jet-Audio Manual」

録音について詳しくは、MD プレーヤに添付のマニュアルをご覧ください。



P A R T

# 6

## 地上波データ放送を見よう

このパソコンを使うと、通常のテレビ番組(地上波)だけでなく、地上波データ放送を受信して、映像と情報の両方を楽しめます。

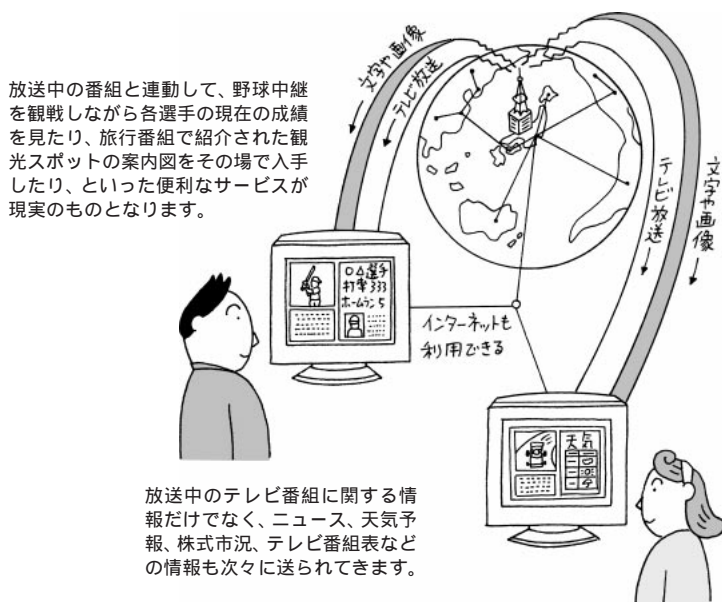
# 地上波データ放送とは

地上波データ放送は、通常のテレビ放送と一緒に文字や画像などのデータを多重で送信する新しい情報サービスです。

ふだん見慣れているテレビ放送は、テレビ放送局が電波を利用して映像と音声を送信していますが、この電波には、まだいくらかの情報をのせられる電波のすきまのようなものが残っています。そのすきまに文字や画像の情報をのせて、テレビ放送と一緒に電波で送信するのが「地上波データ放送」です。この文字や画像などのデータは、このパソコンで、それぞれ専用の受信ソフトを使って表示できます。

また、このパソコンでインターネットが利用できる状況であれば、受信した地上波データ放送から、そのままインターネット上の関連ホームページを表示させることもできます。

このパソコンで利用できる地上波データ放送には、「ビットキャスト放送」「ADAMS放送」「文字放送」があります。



## 参照

ビットキャスト放送について 次ページの「ビットキャスト放送を見よう」

ADAMS放送について このPARTの「ADAMS放送を見よう」(p.131) 文字放送について このPARTの「文字放送を見よう」(p.136)

## チェック!

- ・「地上波テレビ放送以外のテレビ放送(ケーブルテレビ会社のテレビ放送中継サービス)」では、地上波データ放送の対応を行っていない場合があります。受信できないことや、ソフトが正常に動作しなくなることがあります。ケーブルテレビをご利用の場合は、ビットキャスト放送、ADAMS放送、文字放送を受信できるかどうか、ご利用のケーブルテレビ会社にご確認ください。
- ・同時に受信できる放送局は1局のみです。

放送内容は、テレビ局によって異なります。放送される番組などについては、各テレビ局にお問い合わせください。

# ビットキャスト放送を見よう

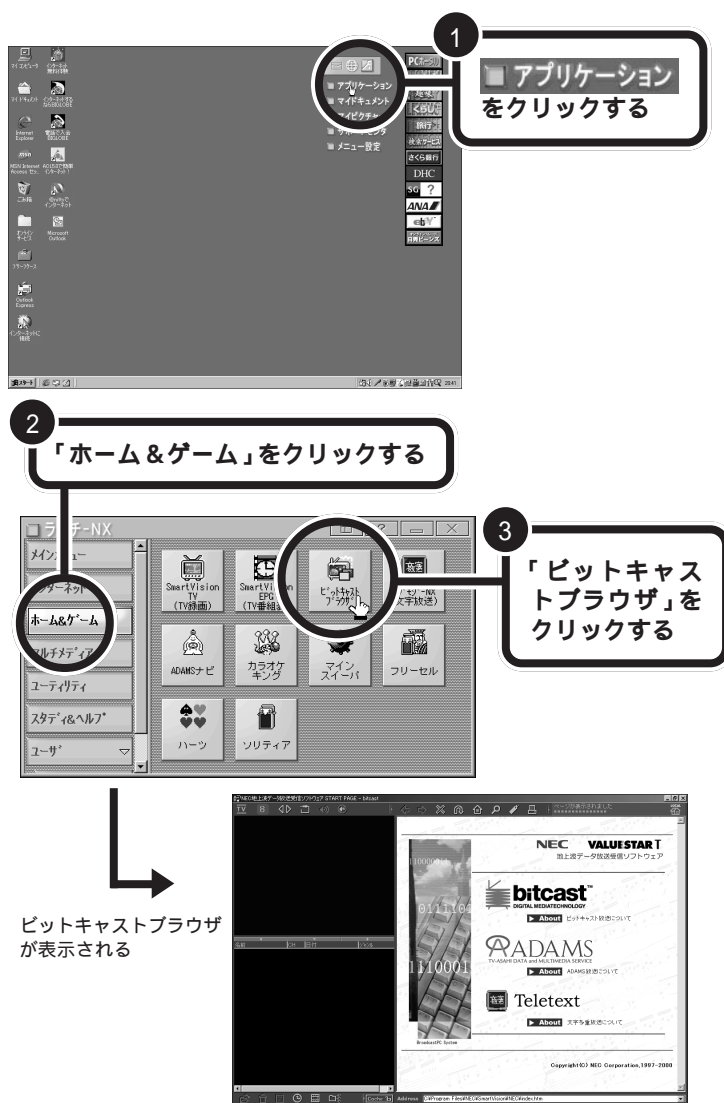
ビットキャストブラウザは、通常のテレビ放送を見るだけでなく地上波データ放送も見られるアプリケーションです。また、インターネットに接続すると、ホームページを見られます。

ビットキャストブラウザでテレビを見る場合、音声は光デジタル出力されません。VT667J/3FD4の場合、外付けのサラウンドスピーカシステム(5.1チャンネル対応)でテレビの音を聞くときは、デコーダの「Input3」(アナログ入力)ボタンを押して、デコーダの設定を切り替えてご使用ください。

📖 参照

デコーダの「Input3」ボタン  
PART1の「スピーカの電源を入れる  
(VT667J/3FD4の場合)」(p.13)

## ビットキャストブラウザを起動する



ビットキャストブラウザを使う前にユーザー登録をしてください。ユーザー登録がされていないと、ビットキャストブラウザに関するテクニカルサポート、バージョンアップなどの重要なお知らせをお届けできないことがあります。

✔ チェック!!

ビットキャストブラウザと Smart Vision/TV は同時に使用できません。Smart Vision/TV が起動している場合は、Smart Vision/TV を終了してからビットキャストブラウザを起動してください。

✔ チェック!!

高解像度表示になっていると、テレビ画面が表示されない場合があります。その場合は解像度を下げるか、表示色数を減らしてください。


📖 参照

解像度と表示色の変更 📖 「添付ソフトの使い方」-「ディスプレイの設定」

ビットキャストブラウザの使い方は、ビットキャストブラウザのオンラインマニュアルの説明も合わせてご覧ください。オンラインマニュアルは、「ヘルプ」ボタン( p.120 )をクリックすると表示されます。

## ビットキャストブラウザのウィンドウ(詳細モード)について

ビットキャスト放送を見るときは、表示モードを詳細モードまたは独立ウィンドウモードに切り替えます。ここでは、詳細モードについて説明します。

表示モードを詳細モードにするには、画面右下にあるビットキャストバーのをクリックします。

 参照

表示モードについて このPARTの「表示モードを切り替える」(p.126)



## チャンネルを合わせる

テレビのチャンネルをビットキャスト放送を行っている放送局に合わせ、ビットキャスト放送を見てみましょう。

1

◀または▶を何回かクリックして、



2  
ビットキャスト放送を行っている  
放送局にチャンネルを合わせる

ビットキャスト放送の受信が  
始まる



ブラウザ  
コントロール

ビットキャスト  
バー

ビットキャスト  
インジケータ

ビットマーク

### ✓チェック!!

ビットキャスト放送を行っている放送局にチャンネルを合わせないと、ビットキャスト放送は受信できません。ビットキャスト放送を行っている放送局については、次のページをご覧ください。

### 📖参照

チャンネルの設定 PART1の「受信チャンネルの設定をする」(p.16)


### ✓チェック!!

ビットキャスト放送を行っている放送局が受信できない地域にお住まいの場合は、ビットキャスト放送を受信することはできません。

### ✓チェック!!

ビットキャスト放送を行っている放送局にチャンネルを合わせても、すぐに受信できるとはかぎりません。しばらくお待ちいただくこともあります。



テレビのチャンネルを合わせると、自動的にビットキャスト放送の受信を開始します。受信が始まると、画面左下のビットキャストバーにある  (ビットキャストインジケータ) の表示が変化します。



しばらくすると、受信が完了した情報のタイトル(ビットマーク)が画面下のビットキャストバーに表示され、その内容が画面の右側部分(ブラウザコントロール)に表示されます。

### ビットキャスト放送を受信できる放送局について

ビットキャスト放送をご覧になれる放送局は、以下の通りです(2000年7月現在)。


放送局	
東京放送(TBS)	毎日放送(MBS)
フジテレビジョン	新潟放送(BSN)
北海道放送(HBC)	静岡放送(SBS)
中部日本放送(CBC)	

## コントロールバーを使ってテレビを見る

詳細モードのときに、テレビコントロールの上に表示されているバーがコントロールバーです。テレビを見るときは、コントロールバーを使って、チャンネルを変えたり、音声を切り替えたりします。



### チェック!!

ビットキャスト放送を行っている放送局にチャンネルを合わせても、時間帯や受信状態によってビットキャストの情報がうまく受信できない場合があります。このとき、画面左下の  は変化しません。

### 参照

ビットキャスト放送の受信について  
ビットキャストブラウザのオンラインマニュアル

放送内容などについては、各放送局  
にお問い合わせください。

標準モード(テレビがディスプレイいっぱいに表示されている)のときは、右端にコントロールバーが表示されます。





### 入力切り替え

このパソコンに接続した外部ビデオ機器(市販のビデオ機器など)からの映像を表示することもできます。

外部ビデオ機器からの映像の表示中には、チャンネル表示パネルが **TV 1** から **VIDEO 1** になります。

### ミュート

テレビの音声を一時的に消す(ミュート)ことができます。もう一度クリックすると、元に戻ります。

### 切り替え

クリックすると、コントロールバーに表示されるボタンが替わります。



### 全画面表示

クリックすると、テレビ映像をディスプレイいっぱいに表示することができます。マウスの左ボタンを押すと、元の大きさに戻ります。

### 音声切り替え

音声多重放送の場合、音声を切り替えることができます。標準では主音声を選択されています。クリックするごとに、**MAIN** **SUB** **MAIN** の順に切り替わります。

音声多重放送でない場合は、現在の放送に合わせて **STEREO** または **MONO** の表示になります。この場合は、ボタンはグレーで表示され、クリックできません。

ボタンの詳しい説明は、「ヘルプ」ボタン( p.120 )をクリックして表示されるオンラインマニュアルをご覧ください。

### 参考

外部ビデオ機器の接続について PART4 の「本体に外部ビデオ機器を接続する」(p.72)

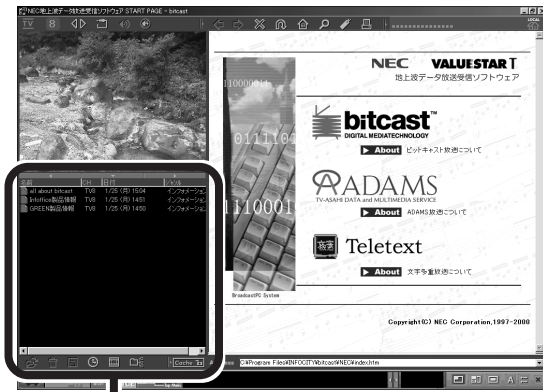
副音声は、通常では二カ国語放送などで使われています。

### チェック!

番組によっては副音声がなく、ボタンをクリックしても主音声しか出力されない場合があります。

## 受信した情報を見る

ビットキャスト放送を行っているチャンネルに合わせておくだけで、放送局から次々に送られてきた情報がパソコンにたまっていきます。たまった情報は、画面の左下部分(キャッシュコントロール)に一覧表示されるので、ここを見れば、いつ、どんな情報を受信したかがわかります。



キャッシュコントロール

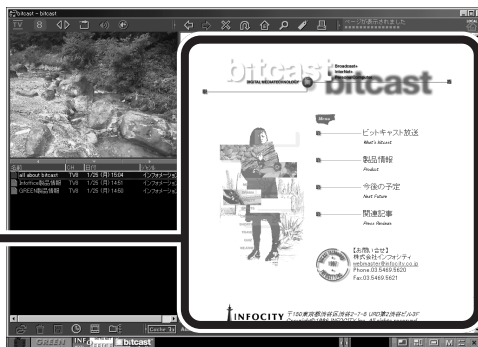
## 見たい情報を選んで表示する

1 一覧から見たい項目をひとつ選んでクリックする



2 (開くボタン)をクリックする

選んだ情報の内容がブラウザコントロール画面に表示される



## チェック!!

受信した情報がたまってくると、自動的に古いものから順に削除されます。削除された情報はこの一覧に表示されなくなります。

気に入った情報が自動的に削除されないようにするには、アーカイブに情報をコピーしておきます。アーカイブではフォルダを作成して、情報を細かく整理して保存できます。詳しくは、ビットキャストブラウザのオンラインマニュアルをご覧ください。

クリックした項目は色が青に変わります(反転表示)。

項目をダブルクリックして、受信内容を表示させることもできます。

画面下のビットキャストバーに見たい情報のタイトル(ビットマーク)が表示されている場合は、そのビットマークをクリックして情報を表示することもできます。



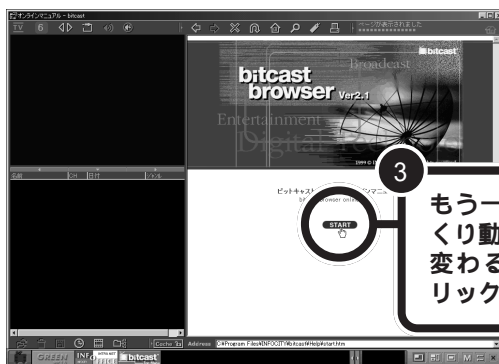
## 表示した情報の内容を見る

ビットキャストブラウザの右側部分(ブラウザコントロール)には、インターネットのホームページと同じような画面(ページ)が表示されます。ブラウザコントロールの上で、マウスポインタを自由に動かしてみてください。よく見ると、マウスポインタを置いた位置によって、矢印(矢印)が手の形(手の形)に変わることがわかります。手の形に変わるところをクリックすると、別のページが表示されます。

1 矢印をゆっくり動かして、手の形に変わるところに合わせ、



別のページが表示される



3 もう一度矢印をゆっくり動かして、手の形に変わるところでクリックする

ビットキャスト放送で受信した情報は、多くの場合いくつかのページに分割されており、ホームページを見るとときと同じような操作で、次々に内容を見ていくことができます。

## 参照

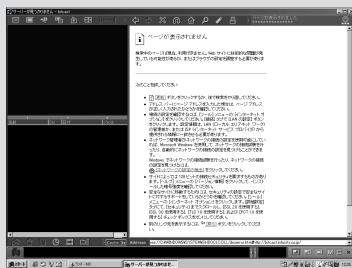
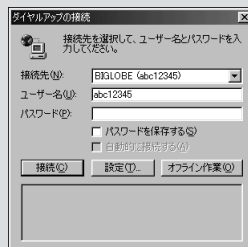
インターネットのホームページを見る操作 『使っておぼえるパソコンの基本』前編の「PART1 まずはインターネットを体験」、後編の「インターネット」

矢印が手の形になるところは、他のページにつながる入り口のようなものです。これを「リンク」と呼びます。

## 参照

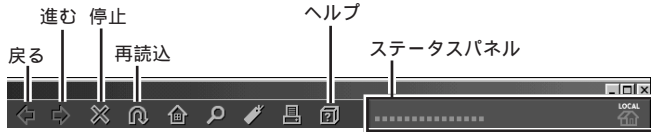
リンクについて 『使っておぼえるパソコンの基本』前編の「PART1 まずはインターネットを体験」

ここで下のような画面が表示された場合は、「こんなときは」(p.121)をご覧ください。



## ブラウザコントロールのボタン

ブラウザコントロール画面の上部にある次のようなボタンを使って、すでに表示したページ間を移動したり、ページの表示を中断、再表示することができます。また、画面の右上には、情報の読み込み状態を表示するステータスパネルがあります。



### 戻る

「戻る」ボタンを一回クリックするごとに、ひとつ前の段階に表示していたページに戻ります。何回かクリックすると、一番最初に表示したページまで戻れます。

### 進む

「戻る」ボタンで以前のページに戻ったあとで、「進む」ボタンをクリックすると、戻る前のページを再び表示します。

「戻る」ボタンを一度もクリックしていない場合は、「進む」ボタンをクリックしても何も起こりません。

### 停止

そのページの表示を途中で中断します。

### 再読込

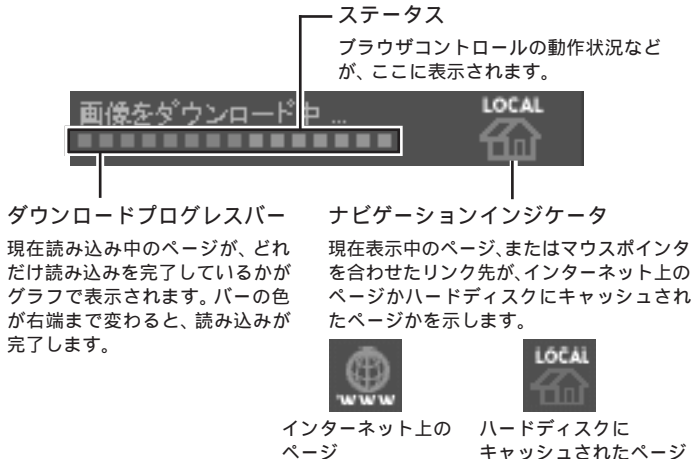
「停止」ボタンをクリックして表示を中断したあとで「再読込」ボタンをクリックすると、そのページをもう一度表示し直します。

### ヘルプ

クリックすると、ブラウザコントロールにビットキャストブラウザのオンラインマニュアルが表示されます。

### ステータスパネル

ステータスパネルと各ボタンの境界をドラッグすると、ステータスパネルの幅を調整できます。



## チェック!!

ブラウザコントロールに表示されていないボタンがある場合は、(切り替えボタン)をクリックして、ボタンを表示してください。



リンク先がLOCALで示される場合は、インターネットに接続していなくても、リンク先が表示できます。

## こんなときは

クリックして表示しようとしたページの内容が、すでにビットキャスト放送で受信しているものであればすぐに表示されますが、インターネット上のホームページの場合にはこの時点でインターネットへの接続が開始されます。そのため、すでにインターネットに接続するための設定が行われているかどうかによって表示される内容が異なります。この場合には、次のように対処してください。

### 「ダイヤルアップの接続」画面が表示された

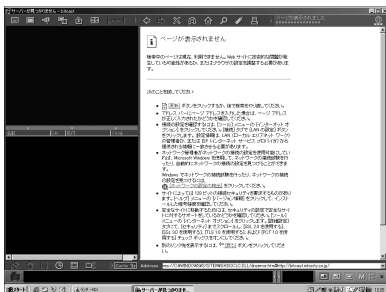
インターネットに接続するための設定が行われている場合は、「ダイヤルアップの接続」画面が表示されます。パスワードを入力して「接続」ボタンをクリックすると、インターネットへ接続します。詳しくは、このあとの「インターネットのホームページを見る (p.122)」をご覧ください。



### 「ページが表示されません」というメッセージが表示された

このようなメッセージが表示されたときは、インターネットに接続するための設定が行われていません。インターネット上のホームページを見るためには、このパソコンでインターネットができるようになる必要があります。

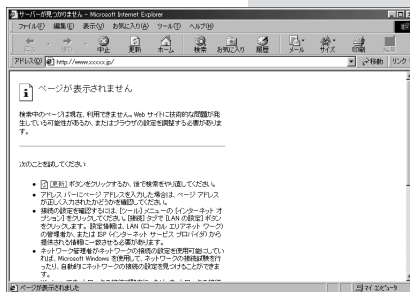
『使っておぼえるパソコンの基本』前編の「PART2 本格的にインターネット」にしたがってプロバイダへの入会申し込みを行うか、「添付ソフトの使い方」「インターネット接続ウィザード」にしたがってプロバイダから指定された情報を設定し、このパソコンでインターネットに接続できるようにしてください。なお、このメッセージはビットキャスト放送の一部が受信できなかった場合にも表示されます。



パスワードが保存されているときは、パスワードを入力する必要はありません。

### 参照


インターネットへの接続 『使っておぼえるパソコンの基本』前編の「PART2 本格的にインターネット」



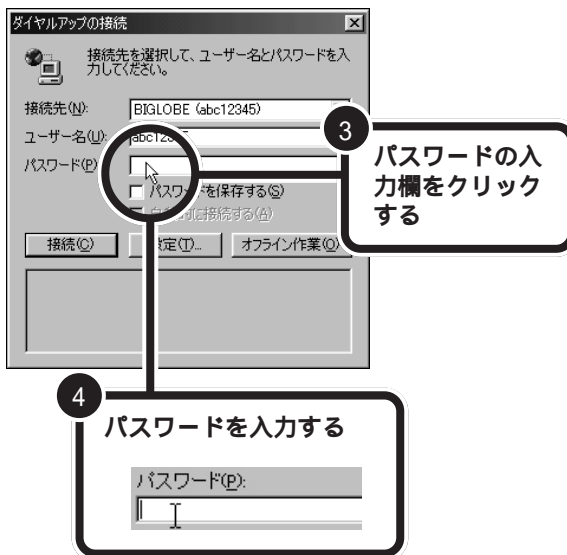
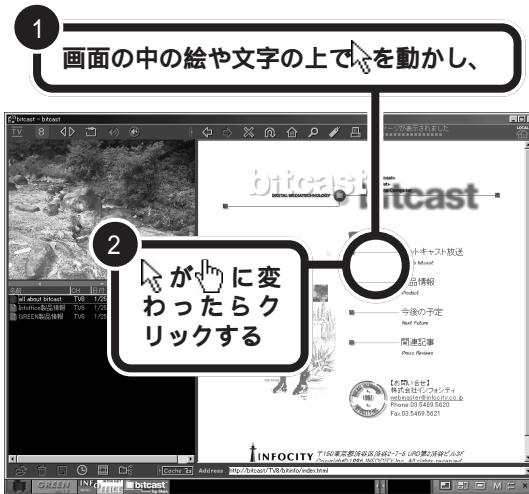
## インターネットのホームページを見る

ビットキャスト放送で受信した情報の中には、インターネット上のホームページへのリンクが設定されていることがあります。

そのリンクをクリックしてインターネットへ接続し、そのままビットキャストブラウザでインターネットのホームページを見ていくことができます。

インターネット上のリンク先にマウスポインタを合わせると、ブラウザコントロールの右上にあるナビゲーションインジケータがに変わります。

### インターネットに接続する



インターネット上のホームページを見るためには、このパソコンでインターネットに接続ができるようにする必要があります。

### 参照

インターネットへの接続 『使っておぼえるパソコンの基本』前編の「PART2 本格的にインターネット」

インターネット上のホームページへのリンクが設定されている場合、インターネットへの接続が開始されず。

クリックして表示しようとしたページの情報が、すでにビットキャスト放送で受信しているものならばすぐに表示されますが、インターネット上のホームページの場合には、この時点でインターネットへの接続が開始されます。

### チェック!!

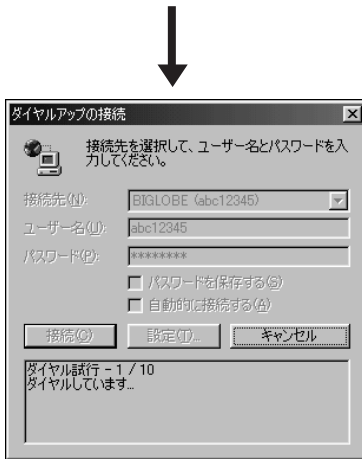
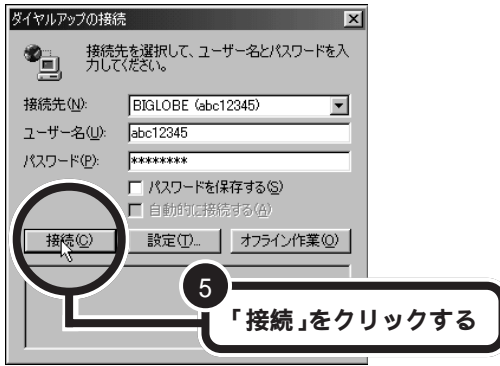
パスワードを保存する設定になっていてパスワード欄がすでに入力済みの状態になっているときは、手順3、4は不要です。次ページの手順5へ進んでください。

入力したパスワードはすべて「\*」で表示されます。

パスワードは全角/半角/大文字/小文字の区別があります。正確に入力してください。

### 参照

パスワードの入力 『使っておぼえるパソコンの基本』前編の「PART2 本格的にインターネット」



しばらくすると、ブラウザコントロールに別のページが表示される



リンク先のインターネット上のホームページが表示されました。

ここから電話料金とプロバイダのインターネット接続サービス料金がかかります。インターネットに接続している必要がなくなったら、この後の「インターネットから切断する」の操作を行って、電話回線への接続を切断しましょう。

左のような画面が表示され、パソコンがプロバイダのアクセスポイントに自動的に電話をかけます。画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。

#### 参考

プロバイダ、アクセスポイントについて 『使っておぼえるパソコンの基本』前編の「PART2 本格的にインターネット」

表示内容を見ただけでは、リンクしている先がインターネットなのかはわかりませんが、ブラウザコントロールの右上にある「ナビゲーションインジケータ」が次のように変化します。

LOCAL ビットキャスト放送から受信中

INTERNET インターネットから受信中

ホームページを見るときは、ビットキャスト放送で受信した情報のページを見るときは操作と同じです。「表示した情報の内容を見る」(p.119)をご覧ください。



## インターネットから切断する

インターネットに接続している必要がなくなったら、インターネットから切断しましょう。



## チェック!!

インターネットから切断する操作をしないと、電話料金とインターネット接続料金がかかりつづけてしまいます。

インターネットから切断しても、ビットキャスト放送で受信したページは見るすることができます。

これでインターネットから切断されました。

ここからは、プロバイダのインターネット接続料金と電話料金はかかりません。

## ビットキャストローダーで情報を受信する

ビットキャストブラウザが起動すると、画面右下のタスクトレイにビットキャストローダーのアイコンが表示されます。通常、ビットキャストブラウザの起動/終了に連動してビットキャストローダーも起動/終了します。



ビットキャストローダーのアイコン

オプション設定で、パソコンの起動と同時にビットキャストローダーを起動するようにすれば、ビットキャストブラウザの起動/終了にかかわらず、地上波データ放送を受信し、情報を保存します。


パソコンの起動と同時にビットキャストローダーを起動させるには、ビットキャストブラウザが起動している状態で、次の手順を行ってください。



他のソフトを利用するためにビットキャストブラウザを終了しなければならないときでも受信を続けることができます。また、普段はビットキャストローダーだけを起動しておいて、好きなときにビットキャストブラウザを起動して送られてきた情報を見ることがもできます。



これで、「ビットキャストブラウザ」「ADAMS ナビ」「モジモジ-NX」「SmartVision/EPG」「SmartVision/TV」を終了しても、ビットキャストローダは終了しません。

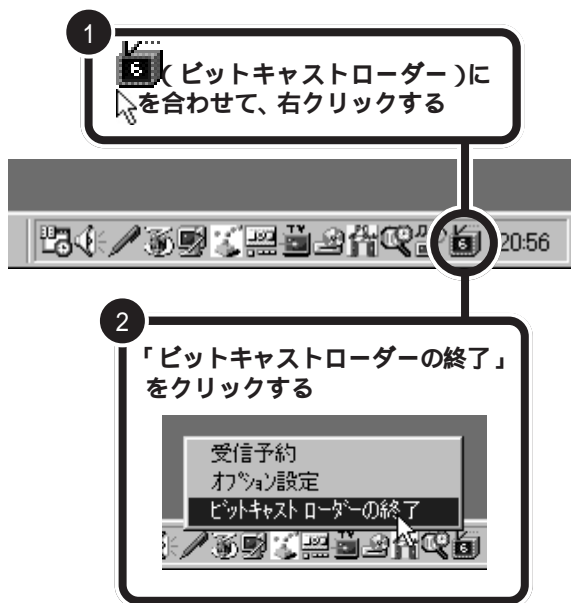
また、次回起動時からパソコンを起動すると同時に、ビットキャストローダが起動して、画面右下のタスクトレイに  が表示されます。

✓チェック!!

- ・ビットキャストローダが起動している間は、データ放送を受信するため、「スタート」「Windowsの終了」「スタンバイ」を選択してもスタンバイ状態になりません。スタンバイ状態にする場合は、ビットキャストローダを終了してください。
- ・ビットキャストローダが起動している間は、データ放送を受信するため、CPUの負荷が大きくなり、他のアプリケーションの動作が遅くなることがあります。その場合は、ビットキャストローダを終了してください。
- ・ビットキャストローダが起動している間は、共有ファイル(DLL)が動作しているため、一部のアプリケーションでは、アプリケーションの追加や削除が行えないことがあります。この場合はビットキャストローダを終了してください。

## ビットキャストローダーを終了する

ビットキャストローダーを終了するには、以下の手順を行ってください。



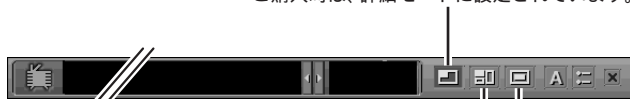
ビットキャストブラウザが起動している間だけ、ビットキャストローダーが起動するようにするには、左の画面で「オプション設定」を選び、「キャッシュ」タブで、「終了時に bitcast Loader を終了する」を  にしてください。

## 表示モードを切り替える

テレビのウィンドウの表示は、3つのモードに切り替えることができます。表示モードを切り替えるときは、ビットキャストバーにあるツールバーの、それぞれのボタンをクリックします。

### 詳細モード

詳細モードは、テレビ画面を見ながら関連するビットキャスト放送の情報を参照したり、インターネットに接続したりするためのモードです。ご購入時は、詳細モードに設定されています。



### 独立ウィンドウモード

独立ウィンドウモードでは、テレビやブラウザなどのウィンドウのサイズを自由に変更できるようになります。

### 標準モード

標準モードでは、テレビがディスプレイいっぱいに表示され、画面の右端にコントロールバーが表示されます。

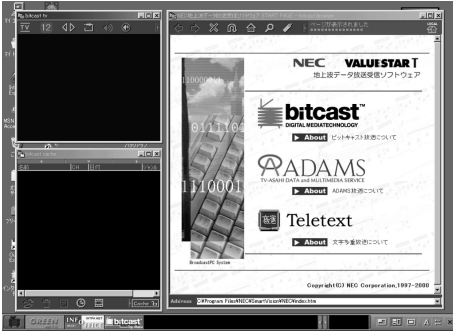
キーボードのワンタッチスタートボタンで表示モードを切り替えることもできます。「ワンタッチスタートボタンの設定」の「ボタン設定」タブで、「コマンドリストから選択」をクリックして表示される機能リストの中から、「画面 ( bitcast ).exe」をボタンに割り当ててください。ボタンの割り当て方について詳しくは、「ワンタッチスタートボタンの設定」のヘルプをご覧ください。

### ✓チェック!!

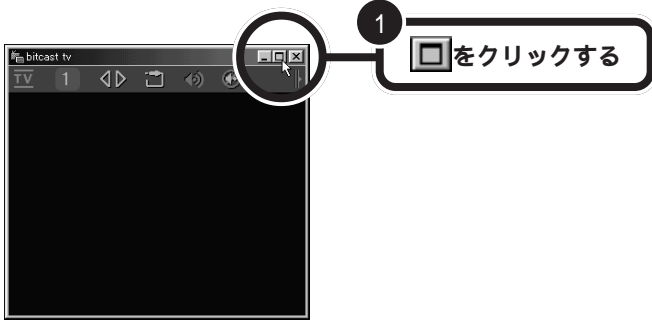
表示モードは、ビットキャストブラウザを終了するときに記録されます。次回に起動したときは、前回ビットキャストブラウザを終了したときのモードで起動されます。

## ウィンドウサイズを変更する

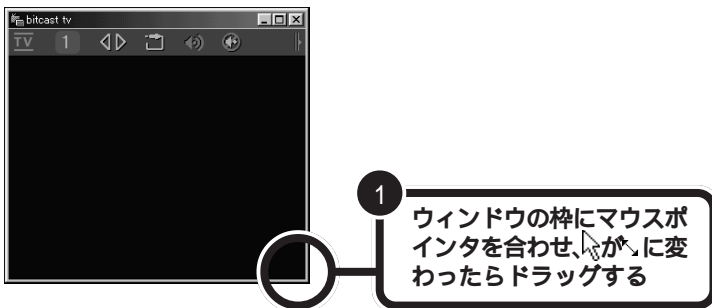
独立ウィンドウモードでは、テレビのウィンドウサイズを変更できます。テレビのウィンドウサイズを変えるときは、ウィンドウの右上にあるボタンをクリックするか、ウィンドウの枠にマウスポインタを合わせてドラッグします。



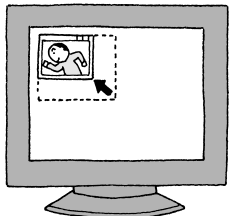
### 最大サイズ(全画面表示)にする



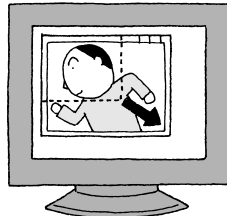
### 好きなサイズに変更する



左斜め上にドラッグすると



右斜め下にドラッグすると



### チェック!!

標準モードのときは、ウィンドウのサイズ変更はできません。詳細モードでは、テレビコントロールと他のコントロールとの境目をドラッグすれば、ウィンドウのサイズを変更できます。

☐をクリックするとディスプレイ全体にテレビが映ります。マウスの左ボタンを押すと、元のサイズに戻ります。

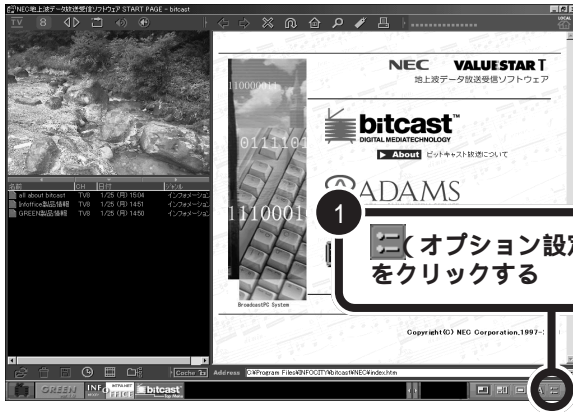
テレビのウィンドウサイズを大きくするか、テレビコントロールの|| (切り替えボタン) をクリックしていくと表示される☐ (全画面表示ボタン) をクリックしても、ディスプレイ全体にテレビが映ります。

ディスプレイ前面のV-MODEボタンを押して、V-MODE にすることをおすすめします。V-MODE にすると、画面が明るく、鮮やかになります。テレビを見るときなどに活用してください。

## カラー調整をする

テレビの映像が暗すぎたり明るすぎたりして見づらいつきなどは、カラー調整を試みましょう。

V-MODE をご使用になる場合には、V-MODEをオンにした状態でカラー調整を行ってください。



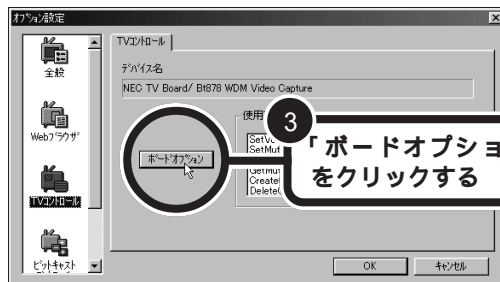
1 「オプション設定ボタン」をクリックする

オプション設定  
ウィンドウが表示  
される



2 「TVコントロール」アイコンをクリックする

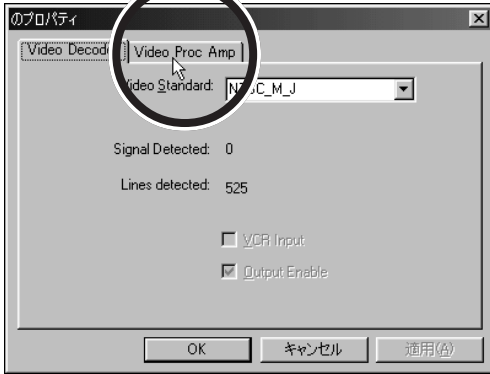
↓ 「TVコントロール」の画面が表示される



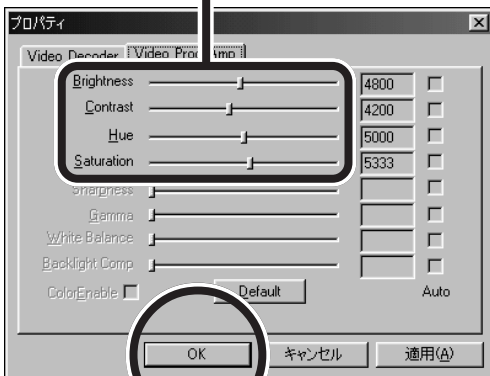
3 「ボードオプション」をクリックする

↓ 「プロパティ」の画面が表示される

4 「Video Proc Amp」タブをクリックする



5 各項目の「つまみ」を左右にドラッグして調整する



6 「OK」をクリックする



7 「OK」をクリックする

- Brightness  
映像の明るさを調整します。
- Contrast  
映像のコントラストを調整します。
- Hue  
映像の色合いを調整します。
- Saturation  
映像の色の濃さを調整します。

「Default」ボタンをクリックすると、設定がご購入時の状態に戻ります。

☑ **チェック!!**

カラー調整ウィンドウでは、設定を変更した後で「キャンセル」ボタンまたは **X** をクリックしてウィンドウを閉じた場合でも、閉じたときの設定内容が適用されます。

## ビットキャストブラウザを終了する

### 詳細モードの場合




詳細モードのウィンドウの右上にある **X** (閉じるボタン) をクリックしても、終了できます。

### 独立ウィンドウモード / 標準モードの場合



#### ✓チェック!!

独立ウィンドウモードで、各コントロールウィンドウの右上にある **X** をクリックした場合、そのコントロールウィンドウが非表示になります。再び表示するには、ビットキャストバーの  (独立ウィンドウモードボタン) をクリックしてください。

#### ✓チェック!!

全画面表示を行っているときは、マウスの左ボタンを押して、元のモードに戻してから終了してください。

# ADAMS放送を見よう

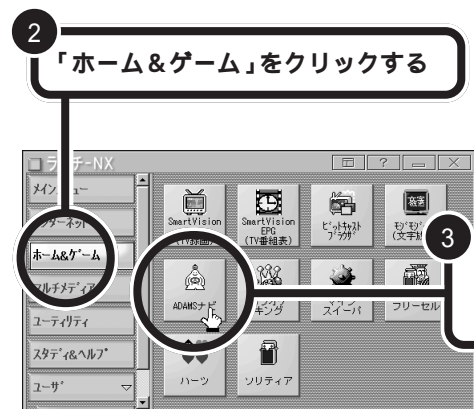
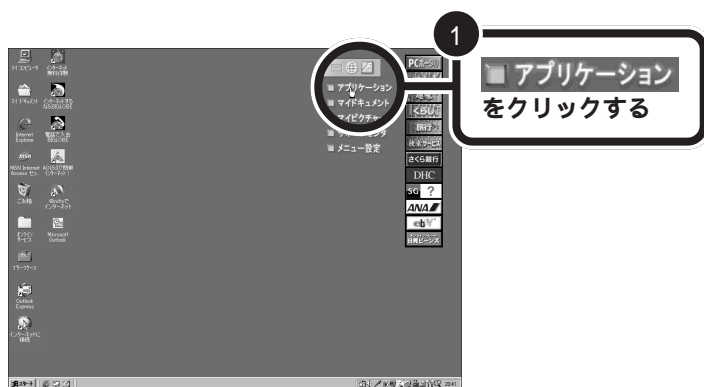
今度は ADAMS 放送を見てみましょう。ADAMS 放送を受信すると、ニュースや天気予報からテレビ番組に関連した内容までさまざまな情報が、インターネットのホームページと同じ形式で次々に送られてきます。

インターネットを利用する場合は、インターネットに接続できる環境を整えておく必要があります。

📖 参照

インターネットへの接続 『使っておぼえるパソコンの基本』前編の「PART2 本格的にインターネット」

## ADAMS ナビを起動する



ADAMS ナビの画面が表示される

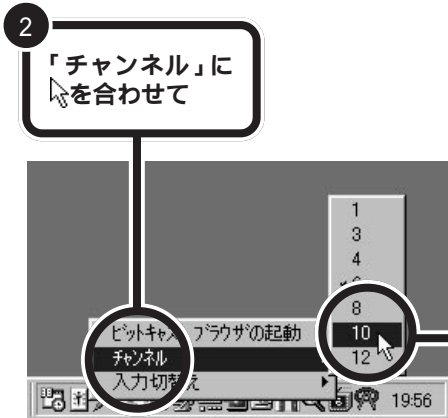


ここでは簡単な使い方のみを説明しています。詳しい使用方法は、「ヘルプ」「NEC ADAMSナビ オンラインマニュアル」をご覧ください。



## チャンネルを合わせる

タスクバーにある「ビットキャストローダー」を使って、現在の受信チャンネルを ADAMS 放送を行っている放送局に合わせます。



ADAMS 放送を行っている放送局にチャンネルを合わせると、自動的に ADAMS 放送の受信が始まり、パソコンに情報が送られてきます。起動時に、自動的にチャンネルを合わせるように設定することもできます。詳しくは、「ヘルプ」「NEC ADAMS ナビ オンラインマニュアル」をご覧ください。

### ✓チェック!!

ADAMS 放送を行っていない放送局にチャンネルを合わせても、ADAMS 放送は受信されません。

### 📖参照

チャンネルの設定 PART1の「受信チャンネルの設定をする」(p.16)

### ADAMS 放送を受信できる放送局について

各地域の ADAMS 放送をご覧になれる放送局は、以下の通りです(2000年4月現在)。

放送局	
北海道テレビ放送	朝日放送
青森朝日放送	広島ホームテレビ
岩手朝日テレビ	山口朝日放送
東日本放送	瀬戸内海放送
秋田朝日放送	愛媛朝日テレビ
山形テレビ	九州朝日放送
福島放送	長崎文化放送
新潟テレビ21	熊本朝日放送
長野朝日放送	大分朝日放送
静岡朝日テレビ	鹿児島放送
北陸朝日放送	琉球朝日放送
名古屋テレビ放送	テレビ朝日

ADAMS 放送についての詳細は、テレビ朝日データ株式会社(03-3586-6611)へお問い合わせいただくか、URL(<http://www.tv-asahidata.com>)をご覧ください。

## ADAMS 放送を見る

1

ADAMS (ADAMS ボタン)をクリックする



インターネットエクスプローラが起動し、ADAMSの画面が表示される



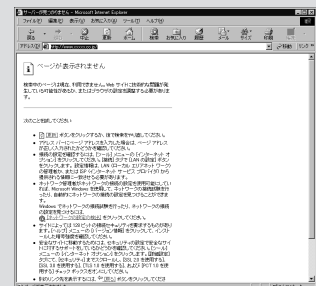
ADAMS放送で受信した情報はインターネット上のホームページと同じ形式で、インターネットエクスプローラの画面に表示されます。このため、インターネットでホームページを次々に見ていくのと同じ感覚で操作できます。

データがそろった段階でインターネットエクスプローラの更新ボタンをクリックすると、最新情報が画面に表示されます。購入後、初めてADAMS放送を受信したときは、データがそろうまで、約1時間かかります。

### 参考

インターネットエクスプローラの操作方法「パソコンのいろは」『使っておぼえるパソコンの基本』前編の「PART1 まずはインターネットを体験」、後編の「インターネット」

ここで次のような画面が表示された場合は、このPARTの「こんなときは」(p.121)をご覧ください。



## ADAMS ナビのウィンドウについて

### ADAMS ナビツールバー

#### ADAMS ボタン

ADAMS ボタンをクリックすると、インターネットエクスプローラが起動し、ADAMS 放送が表示されます。

#### 設定ボタン

設定ボタンをクリックすると、「ADAMSナビの設定」ウィンドウが表示されます。詳しくは、ADAMSナビのヘルプをご覧ください。



#### TV ボタン

TVボタンをクリックすると、ビットキャストブラウザが起動し、独立ウィンドウモードのテレビウィンドウが表示されます。

#### ADAMS インジケータ

ADAMS放送を受信している間は、インジケータがアニメーションで表示されます。また、ADAMS インジケータをクリックすると、ADAMS ボタンと同じ働きをします。



#### インフォメーション

コンテンツやデータが更新されたときに、その最新情報が表示されます。

他のアプリケーションソフトが、データ放送の受信を中止している場合やADAMS放送を利用できない場合などのメッセージも表示されます。

#### 更新情報一覧

ADAMS放送で現在受信できるコンテンツの一覧が表示されます。初めてADAMS放送を受信する場合、一覧が表示されるまで時間がかかることがあります。ADAMS-EPGの更新情報も表示されます。

SmartVision/EPG がデータの更新情報を表示するタイミングとは異なる場合があります。

ADAMS ナビを終了する

1  
インターネットエクスプローラの  
X をクリックする



2  
ADAMS ナビの X をクリックする

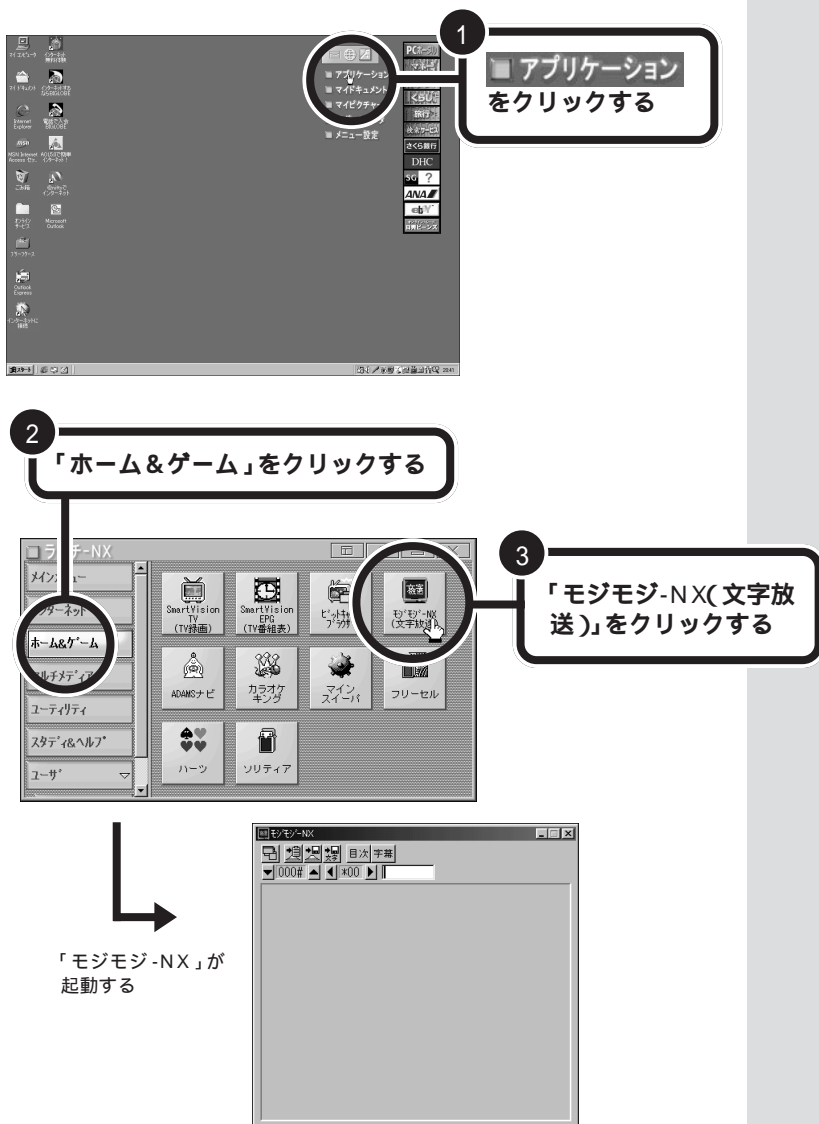


# 文字放送を見よう

文字放送はテレビ放送局ごとにおよそ10種類以上の番組が用意され、ニュースや生活情報などが繰り返し放送されています。

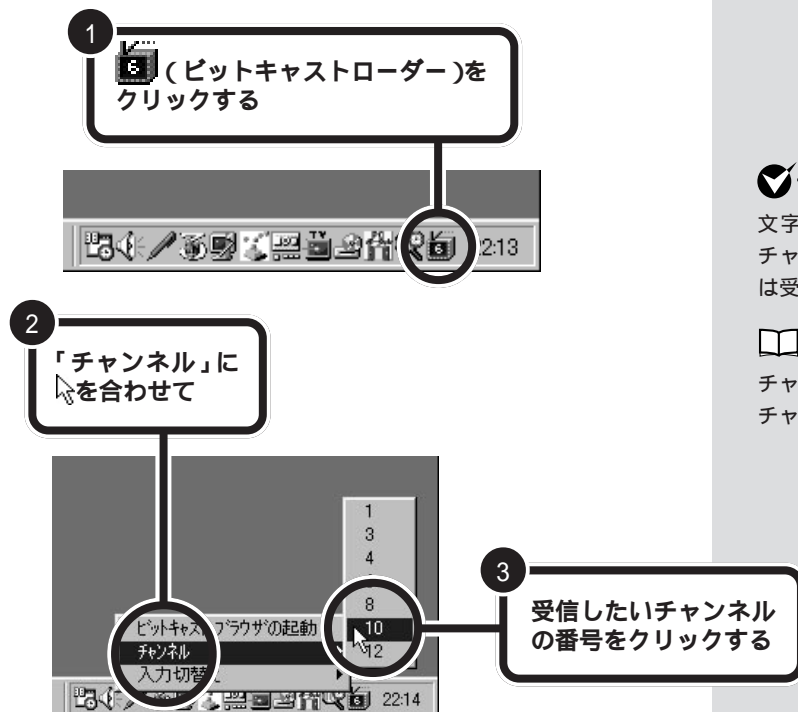
## モジモジ-NX を起動する

「モジモジ-NX」を起動すると、自動的に現在の受信チャンネルで放送されている文字放送の受信が始まります。



## チャンネルを合わせる

受信するチャンネルを変えるときは、タスクバーにある「ビットキャストローダー」を使って、現在の受信チャンネルを受信したい文字放送を行っている放送局に合わせます。



### ✓チェック!

文字放送を行っていない放送局にチャンネルを合わせても、文字放送は受信されません。

### 📖参照

チャンネルの設定 PART1の「受信チャンネルの設定をする」(p.16)

文字放送の受信が始まり、パソコンに次々に情報が送られてきます。データがある程度そろると、順次画面に表示されます。



(文字放送サンプルの画面)

## 文字放送を受信できる放送局について

各地域で文字放送をご覧になれる放送局は、以下の通りです(1999年3月31日現在)。

各テレビ放送局の番組の内容については、目次ボタンや市販のテレビ情報誌などをご覧ください。

都道府県名	放送局		都道府県名	放送局	
	NHK総合	民放		NHK総合	民放
北海道	日本 文字放送	北海道テレビ放送	京都	西日本 文字放送	朝日放送
青森		青森朝日放送	滋賀		関西テレビ放送
秋田		秋田朝日放送	兵庫		毎日放送
岩手		岩手朝日テレビ	奈良		読売テレビ放送
福島		福島放送	和歌山		
山形		山形テレビ	大阪		朝日放送
宮城		東日本放送			関西テレビ放送
茨城		日本テレビ放送網(アクセス・フォア)			毎日放送
神奈川		東京放送(東京データビジョン)			読売テレビ放送
群馬		フジテレビジョン			テレビ大坂
埼玉		テレビ朝日(朝日レタービジョン)			(日経テレプレス大阪)
千葉		テレビ東京(日経テレプレス)	岡山		
栃木			山根		
東京		日本テレビ放送網(アクセス・フォア)	広島		
	東京放送(東京データビジョン)	鳥取			
	フジテレビジョン	山口			
	テレビ朝日(朝日レタービジョン)	愛媛			
	テレビ東京(日経テレプレス)	香川			
	東京メトロポリタンテレビジョン	高知			
長野	中部 文字放送	徳島			
新潟		長野朝日放送	福岡	九州朝日放送	
山梨		新潟テレビ21		福岡放送	
愛知		中部日本放送	大分	大分朝日放送	
岐阜		(中部日本データビジョン)	鹿児島	鹿児島放送	
三重			熊本	熊本朝日放送	
石川			佐賀		
福井			長崎	長崎文化放送	
静岡		静岡放送	宮崎	テレビ宮崎	
富山		北日本放送	沖縄		

## 文字放送を見る

文字放送では、各放送局のチャンネルごとにいくつかの番組が用意されていて、それぞれの番組はさらにいくつかのページで構成されています。モジモジ-NXでは、画面上部の次のようなボタンを使って、それらの番組間やページ間を移動して次々に見ていくことができます。

### 「最前面」ボタン

「最前面」ボタンをクリックすると、モジモジ-NXのウィンドウが常に他のウィンドウより手前に表示されます。もう一度「再前面」ボタンをクリックすると、元に戻ります。モジモジ-NXを手前に表示しているときは、がに変わります。字幕ページ表示中にSmartVision/TVやbitcast browserと同時に使うと便利です。

### 「目次」ボタン

「目次」ボタンをクリックすると、そのチャンネルで現在放送中の番組名と番組コードの一覧が表示されます。

### 「字幕」ボタン

「字幕」ボタンをクリックすると、そのチャンネルで字幕放送がされていれば、字幕ページに切り替わります。



### ページ番号表示欄

表示している番組のページ番号を表示します。同じ番組内の次のページを見るときは、をクリックします。をクリックすると、ひとつ前のページに戻ります。

### 番組コード表示欄

現在表示している番組の番組コードが表示します。をクリックすると、ひとつ数字の小さいコードの番組が表示されます。をクリックすると、ひとつ数字の大きいコードの番組が表示されます。

### チェック!!

「字幕」ボタンで表示されるページは、ページ番号が999#のものです。放送局によっては、字幕放送を行っていない時間帯に、通常の文字放送を行っていることがあります。

## モジモジ-NXを終了する

1 をクリックする





# 字幕放送を見よう

字幕が放送されている番組を受信すると、自動的に字幕が表示されます。

## 字幕放送を見る

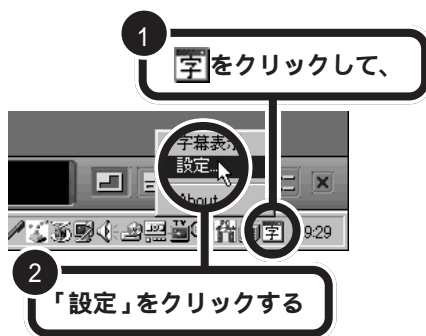
字幕放送は、文字放送のひとつとして放送されます。

字幕放送は、ビットキャストブラウザで見ます。ビットキャストブラウザでテレビ番組を視聴しているときに、字幕放送が始まると、自動的に字幕が表示されます。

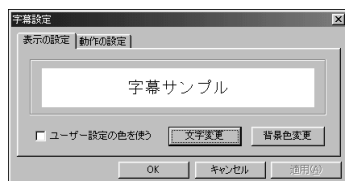


字幕放送が終わると、自動的に字幕も終了します。

## 字幕表示の設定をする



「字幕設定」ウィンドウが表示される



このウィンドウで、フォントや背景色などの字幕表示の設定ができます。字幕の文字の色は放送に含まれていますが、独自の色に設定することもできます。

SmartVision/TVで字幕放送を見る  
ときは、モジモジ-NX を使用してく  
ださい。ただし、SmartVision/TV  
で字幕放送を見ると、映像が文字放  
送から数秒遅れて表示されます。

画面右下の字幕が表示されないよ  
うにするには、**字**をクリックして、「字  
幕表示」のチェックを外してくださ  
い。

PART

7


## TV モデル Q&A

テレビがうまく見られないときや添付ソフトがうまく動かないときは、このPARTをご覧ください。

# テレビがうまく見られないときには

テレビを見ようとして問題が起きたときは、ここをご覧ください。

## テレビが映らない

- ☹️ ➡️ 😊 アンテナは接続されていますか？  
アンテナを接続してください。接続についてはPART1の「アンテナ線を接続する」(p.2)をご覧ください。
- ☹️ ➡️ 😊 チャンネルは設定されていますか？  
チャンネルを設定してください。設定についてはPART1の「受信チャンネルの設定をする」(p.16)をご覧ください。
- ☹️ ➡️ 😊 本体とディスプレイは正しく接続されていますか？  
本体とディスプレイを正しく接続してください。接続については『はじめにお読みください』の「PART2 パソコンの接続をする」またはディスプレイのマニュアルをご覧ください。
- ☹️ ➡️ 😊 ケーブルテレビの番組を見ようとしていませんか？  
このパソコンでは、テレビ放送中継サービス以外の、ケーブルテレビの番組は見ることはできません。
- ☹️ ➡️ 😊 DVDプレーヤーで再生していませんか？  
DVDプレーヤーで再生中は、テレビを正常に表示できません。
- ☹️ ➡️ 😊 他のソフトが起動していませんか？  
「SmartVision/TV」,「ビットキャストブラウザ」,「VideoStudio」,「DVDプレーヤー」など、映像を表示するソフトを同時に動作させることはできません。起動しているソフトをいったん終了させた後、使用したいソフトを起動してください。
- ☹️ ➡️ 😊 ビデオ入力になっていませんか？  
(ビットキャストブラウザの場合)  
テレビコントロールの  (外部入力切り替えボタン) でテレビにしてください。

テレビ放送に関する注意事項をビットキャストブラウザのオンラインマニュアルにも記載しています。オンラインマニュアルの「ご注意」もあわせてご覧ください。  
オンラインマニュアルは、ブラウザコントロールの「ヘルプ」ボタン(p.120)をクリックすると表示されます。



### ✔️ チェック!!

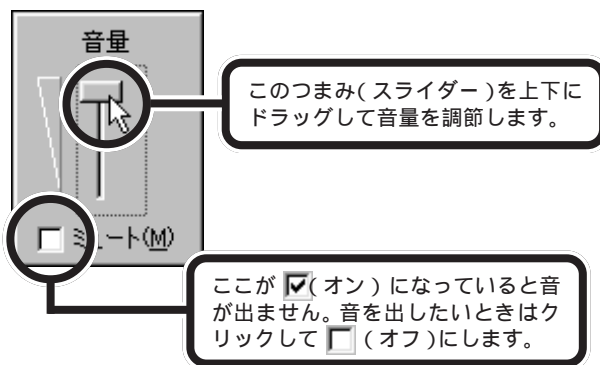
「ビットキャストブラウザ」でテレビを見ているときに、地上波データ放送を受信し、そのデータをハードディスクに保存している場合や、OSによるディスクスワップが発生した場合などに、テレビ表示が一瞬止まる場合がありますが、故障ではありません。

## テレビの音が出ない

- ☹️➡️😊 LINEケーブルは正しく接続されていますか？  
LINEケーブルを正しく接続し直してください。

## 音が出ない、音が大きすぎる

- ☹️➡️😊 スピーカの音量を調整してください。  
外付けスピーカの音は、デコーダのボリュームつまみ(VT667J/3FD3の場合)または外付けスピーカのボリュームつまみ(VT667J/3FD3の場合)で調整してください。ディスプレイに内蔵されているスピーカの音は、ディスプレイのボリュームつまみで調整してください。
- ☹️➡️😊 音量インジケータをクリックして、ミュート(消音)の確認と音量の調節をしてください。  
画面右下の  (音量インジケータ)をクリックし、表示された画面で「ミュート」が  (オン)になっているときは、クリックして  (オフ)にしてください。さらにスライダー(  )を上下にドラッグして、音量を調節してください。調節したら、デスクトップのアイコンやウィンドウなどがないところをクリックして、画面を閉じてください。




### 📖 参照

LINEケーブルの接続 PART1の「LINEケーブルを接続する」(p.8)




### 📖 参照

音量の調節のしかた 『はじめにお読みください』付録の「音量を調節する」PART1の「スピーカの電源を入れる(VT667J/3FD4の場合)」(p.13)または「スピーカの電源を入れる(VT667J/3FD3の場合)」(p.15)

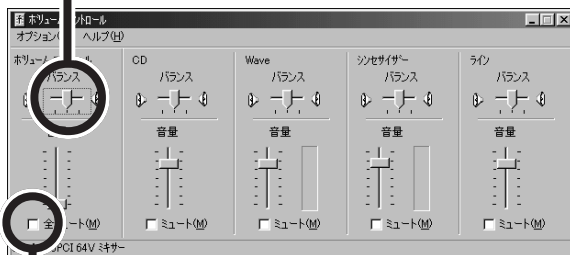
### 🔍 チェック!

画面右下の音量インジケータが  になっているときはミュート(消音)状態で、音は出ません。

☹️ ➡️ 😊 「ボリュームコントロール」ウィンドウでミュート(消音)の確認と音量の調節をしてください。

画面右下の  (音量インジケータ)をダブルクリックし、「ボリュームコントロール」の「全ミュート」が  (オン)になっているときはクリックして  (オフ)にしてください。さらにスライダー(  )を上下にドラッグして、音量を調節してください。調節したら、右上の  ボタンをクリックして、ウィンドウを閉じてください。

このつまみ(スライダー)を上下にドラッグして音量を調節します。



ここが  (オン)になっていると音が出ません。音を出したいときはクリックして  (オフ)にします。

## テレビの画面が白っぽい

☹️ ➡️ 😊 テレビを見るときに、このパソコンに添付のディスプレイ前面にある「V-MODE ボタン」を押すと、色補正が行われ、メリハリのついた見やすい表示にできます。

スタートメニューから起動する  
「スタート」メニューから「プログラム」-「アクセサリ」-「エンターテイメント」-「ボリュームコントロール」をクリックして、「ボリュームコントロール」ウィンドウを開くこともできます。

 参照

V-MODEボタン ディスプレイのマニュアル

# 視聴予約 / 録画予約が できないときには

テレビ番組表を受信するときや番組予約をしたときに問題が起きたときは、ここをご覧ください。

## 番組表が受信できない

☹️ ⇒ 😊 ADAMS 放送を受信できますか？

番組表はADAMS放送の1コンテンツとして受信されます。  
ADAMS 放送が受信できることを確認してください。

📖 参照

このPARTの「ADAMS」の内容が更新されない」(p.156)

## 録画予約した番組が録画されていない

☹️ ⇒ 😊 「SmartVision/EPG」の「予約一覧」で予約実行結果を確認してください。

「予約一覧」の「結果」の欄に実行結果が表示されます。予約録画が失敗すると「結果」の欄に **X** (バツ) が表示されます。  
**X** にマウスを合わせるとエラー情報が表示されます(例: パソコンの電源が入っていませんでした、HDDの容量が足りませんでした)。

# 動画や静止画をうまく取り込めないときには


動画や静止画をキャプチャしようとして問題が起きたときは、ここをご覧ください。

## キャプチャできない

☹️ ➡️ 😊 ハードディスクの空き容量が不足していませんか？  
ハードディスクの空き容量を確認してください。  
ハードディスクに、キャプチャした画像を記録するのに十分な空き容量がないと、キャプチャできないことがあります。  
ハードディスクの空き容量を増やす方法については、『サポートセンタ』の「困ったときのQ&A」をご覧ください。

☹️ ➡️ 😊 本体と外部ビデオ機器は正しく接続されていますか？  
外部ビデオ機器からの映像をキャプチャしたい場合は、本体と外部ビデオ機器を正しく接続してください。

☹️ ➡️ 😊 ビデオクロスバーの設定が違っていませんか？  
(VideoStudio、Video Wizard の場合)  
VideoStudio のビデオクロスバーの設定は、以下のようになっています。  
・テレビから入力したいとき ..... Video Tuner In  
・外部ビデオ機器から入力したいとき ... Video Composite In

☹️ ➡️ 😊 キャプチャする映像が画面に表示されていますか？  
(ビットキャストブラウザの場合)  
外部ビデオ機器からの映像をキャプチャしたい場合は、「ビットキャストブラウザ」の  (外部入力切替ボタン) でビデオ入力にしてください。外部ビデオ機器が接続されていても、画面にテレビ映像が表示されているとテレビ映像がキャプチャされてしまいます。

 参照

動画キャプチャの制限 PART3 の「録画(動画キャプチャ)の制限について」(p.46)

 参照

PART4 の「本体に外部ビデオ機器を接続する」(p.72)

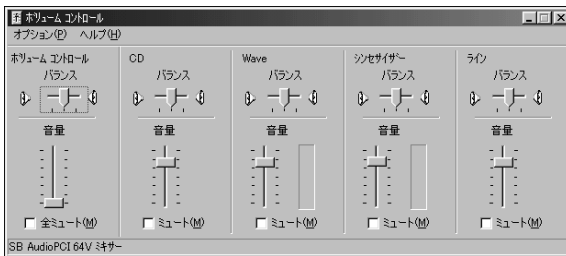
 参照

このPARTの「VideoStudioでテレビの映像をキャプチャしたい」(p.149)

## 動画キャプチャでテレビやVTRの音声がかプチャされない、SmartVision/TVで音が出ない

動画を取り込むときに音声が一緒に取り込めなかったときや、「SmartVision/TV」で音が出ないときには、次の手順に従って「ボリュームコントロール」の設定を行ってください。

- 1 Windowsの「スタート」メニューから「プログラム」「アクセサリ」「エンターテインメント」「ボリュームコントロール」の順にクリックする。  
「ボリュームコントロール」ウィンドウが表示されます。



- 2 「オプション」メニューの「プロパティ」をクリックする。  
「プロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 3 「プロパティ」ウィンドウの「音量の調整」欄の「録音」の左の  をクリックして  にし、「表示するコントロール」から「ライン」に  を付け、「OK」ボタンをクリックする。



### チェック!!

音声を取り込むためには、LINE ケーブルで、本体背面のLINE IN 端子と、地上波TV&データボードの音声出力端子を接続しておく必要があります。

### 参照

LINE ケーブルの接続 PART1 の「LINE ケーブルを接続する」( p.8 )

### チェック!!

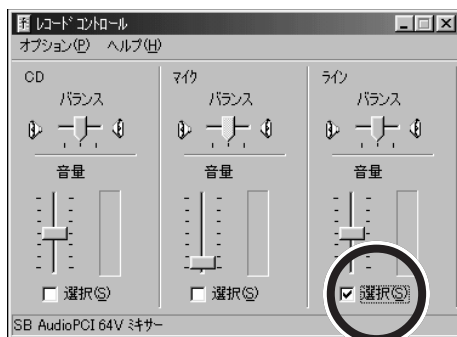
アナログ入力端子に接続した外部ビデオ機器などから音声を取り込むためには、外部ビデオ機器の音声出力端子から出ているビデオケーブルが地上波TV&データボードの音声入力端子に接続されている必要があります。

### 参照

外部ビデオ機器の接続 PART4 の「本体に外部ビデオ機器を接続する」( p.72 )



- 4 「レコードコントロール」ウィンドウが表示されたら、「ライン」の「選択」のをクリックし、にする。



- 5 「ライン」の欄の「音量」のつまみを上下にドラッグして録音レベルを調整する。
- 6 設定が終了したら、をクリックして「レコードコントロール」ウィンドウを閉じる。

## 取り込んだ動画の画質が悪い

☹️ ➡️ 😊 キャプチャするときの設定を変更してください。

- ・「SmartVision/TV」の場合  
「画質設定」を「高画質」にしてください。  
ご購入時の画質設定は、「標準画質」になっています。
- ・「ビットキャストブラウザ」の場合  
「キャプチャ設定」ウィンドウで、「画質設定」を「高画質モード」にしてください。ご購入時の画質設定は、「標準画質モード」になっています。
- ・「VideoStudio」の場合  
ビデオ保存オプションの「圧縮」を「なし」にしてください。  
「ビデオ保存オプション」ウィンドウは、完了ステップで「ムービーを作成」ボタン( p.85 )をクリックした後、ファイルを保存する前に「オプション」ボタンをクリックすると表示されます。「圧縮」が「なし」以外に設定されていると、画質が劣化する場合があります。画質の劣化の度合いは圧縮方式によって異なります。

## ✓ チェック!!

通常はビットキャストローダー起動時に、自動的に「ライン」に設定されます。音声を取り込めない場合は「ライン」のボリュームが最小になっている可能性があります。

## 📖 参照

ビットキャストブラウザでの圧縮方式の選択 ビットキャストブラウザのオンラインマニュアル

## VideoStudioでテレビの映像をキャプチャしたい

VideoStudioでテレビの映像をキャプチャする場合は、次の手順で設定を変更してください。

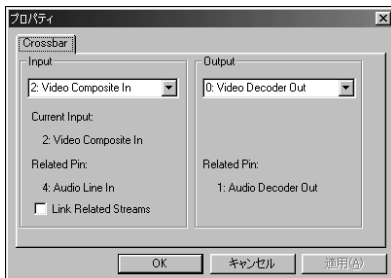
- 1 「VideoStudio」を起動する。  
（「アクティブメニュー-NX」の「アプリケーション」「マルチメディア」「VideoStudio」または「スタート」「プログラム」「Ulead VideoStudio 4.0 SE Basic」「Ulead VideoStudio 4.0 SE Basic」）
- 2 既存のプロジェクトを開くか、新しいプロジェクトを作成する。
- 3 「キャプチャ」をクリックする。
- 4 ビデオメニューボタンをクリックする。  
メニューが表示されます。



- 5 「ビデオのプロパティ」をクリックする。  
「キャプチャのプロパティ」ウィンドウが表示されます。



- 6 「プロパティのタイプ」から「ビデオクロスバー」を選択する。
- 7 「プロパティ」をクリックする。  
「Crossbar」が表示されます。



- 8 「Input」から「1.Video Tuner In」を選択する。
- 9 「OK」をクリックする。  
「キャプチャのプロパティ」ウィンドウに戻ります。

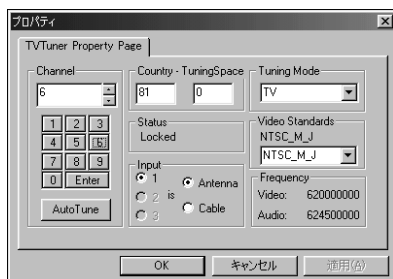
左の手順で設定を変えた後、デジタルビデオカメラの映像をキャプチャする設定に戻りたいときは、このページの手順1～手順7を行った後、手順8で「Input」から「2.Video Composite In」を選択して、「OK」をクリックしてください。その後、「キャプチャのプロパティ」ウィンドウで、「OK」をクリックすると、「VideoStudio」のウィンドウに戻ります。

外部ビデオ機器からキャプチャするときは、「Input」の設定を「2.Video Composite In」に戻します。

10 「キャプチャのプロパティ」ウィンドウで、「プロパティのタイプ」から「TVチューナー」を選択する。

11 「プロパティ」をクリックする。

「TVTuner Property Page」が表示されます。「Channel」には、現在、設定されているチャンネル番号が表示されています。



12 「Channel」でキャプチャするチャンネル番号を選択する。

13 「OK」をクリックする。

14 「キャプチャのプロパティ」ウィンドウで、「OK」をクリックする。  
「VideoStudio」のウィンドウに戻ります。

「Video Wizard」でキャプチャするときは、次の手順で設定を変更してください。

1 「Video Wizard」を起動する。

(「スタート」 「プログラム」 「Ulead VideoStudio 4.0 SE Basic」 「Ulead Video Wizard」)

2 プレビューウィンドウにマウスカーソルを移動させ、右クリックする。  
メニューが表示されます。



3 「Conexant Capture」の左に がついていることを確認します。 がついていないときは、「Conexant Capture」をクリックします。

4 「プロパティ」をクリックする。

「VideoStudioでテレビの映像をキャプチャしたい」(p.149)の手順5と同じ画面が表示されます。以降は、「VideoStudioでテレビの映像をキャプチャしたい」の手順5以降と同じ操作をしてください。

### ✓ チェック!!

IEEE1394コネクタにビデオ機器を接続していないときには、「Microsoft DV Camera and VCR」は表示されません。

# SmartGalleryが うまく動かないときには

SmartGalleryを使っていて問題が起きたときは、ここをご覧ください。

## 動画の簡易再生ができない

☹️ ➡️ 😊 他のソフトが起動していませんか？

「SmartVision/TV」、「ビットキャストブラウザ」、「VideoStudio」、「DVDプレーヤ」など、映像を表示するソフトを同時に動作させることはできません。起動しているソフトをいったん終了させた後、簡易再生をしてください。

## 保存したマルチメディアデータがSmartGalleryの一覧に見あたらない、SmartVision/TVで録画したはずのデータがSmartGalleryの一覧に見あたらない


☹️ ➡️ 😊 カテゴリはありますか？

表示したいデータのカテゴリ、または「全て」のカテゴリを選択してください。


☹️ ➡️ 😊 フィルタや検索がかかっていますか？

フィルタや検索がかかっているときは、全表示ボタンをクリックしてフィルタや検索を解除してください。

☹️ ➡️ 😊 表示は最新になっていますか？

 (DATABASE) をクリックして表示される画面で「はい」をクリックして、表示を最新にしてください。

☹️ ➡️ 😊 データの保存場所は正しいですか？

ご購入時の状態では、「マイドキュメント」フォルダ内に保存したデータがSmartGalleryに登録されます。設定を変更した場合は、 をクリックして表示されるメニューから「オプション」「自動登録フォルダの設定」をクリックして、自動登録フォルダを確認してください。

 参照

カテゴリについて PART5の「Smart Galleryのウィンドウについて」(p.99)

 参照

全表示について PART5の「Smart Galleryのウィンドウについて」(p.99)

 参照

最新の情報を表示にする PART5の「基本的な使い方」(p.100)

# 地上波データ放送が うまく見られない ときには

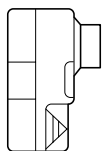
地上波データ放送(ビットキャスト放送、ADAMS放送、文字放送)を見ようとして問題が起きたときには、ここをご覧ください。

地上波データ放送に関する注意事項をビットキャストブラウザのオンラインマニュアルにも記載しています。オンラインマニュアルの「ご注意」もあわせてご覧ください。オンラインマニュアルは、ブラウザコントロールの「ヘルプ」ボタン(p.120)をクリックすると表示されます。

## 地上波データ放送が受信できない、または、データの取りこぼし起きる

- ☹️ ➡️ 😊 アンテナは正しく接続されていますか？  
アンテナの接続を確認してください。接続についてはPART1の「アンテナ線を接続する」(p.2)をご覧ください。
- ☹️ ➡️ 😊 アンテナの向きが悪い、またはアンテナとの接続が長くありませんか？  
アンテナの向きを変えたり、アンテナとの接続を短くするなどの対策を行うと、受信状態が改善され、データの取りこぼしの頻度が低くなる場合があります。
- ☹️ ➡️ 😊 ビットキャストブラウザは正しく設定されていますか？  
設定を確認してください。設定方法についてはPART1の「受信チャンネルの設定をする」(p.16)およびビットキャストブラウザのオンラインマニュアルをご覧ください。
- ☹️ ➡️ 😊 アンテナ線の接続に使用しているのはネジタイプのF型コネクタプラグですか？  
アンテナケーブルとパソコン本体の接続には、ネジタイプのF型コネクタプラグを使用してください。他のものでは、正しく受信できない場合があります。

F型コネクタプラグ



☹️ ➡️ 😊 ケーブルとF型コネクタプラグの接触が悪くありませんか？

PART 1 の「ケーブルに F 型コネクタプラグを取り付ける」(p.5)をご覧ください、F型コネクタプラグを正しく取り付けてください。

☹️ ➡️ 😊 地上波データ放送を行っているチャンネルになっていますか？

放送局によっては、同じ系列の放送局であっても、地上波データ放送を行っていない局もあります。この場合は、地上波データ放送を受信できません。

地上波データ放送を行っているかどうかについては、地元局に確認してください。

- ・ビットキャスト放送を行っている放送局については、PART6の「ビットキャスト放送を受信できる放送局について」(p.116)をご覧ください。
- ・ADAMS放送を行っている放送局については、PART6の「ADAMS放送を受信できる放送局について」(p.132)をご覧ください。
- ・文字放送を行っている放送局については、PART6の「文字放送を受信できる放送局について」(p.138)をご覧ください。

☹️ ➡️ 😊 テレビ電波の状態の悪い場所ではありませんか？

地上波データ放送のサービスを受けられる場所であっても、以下のような場所では受信できないことがあります。

- ・ゴースト(二重映り)が多い場所
- ・電波が弱い場所
- ・極端に電波が強い場所

☹️ ➡️ 😊 地上波テレビ放送以外のテレビ放送を利用していませんか？

「地上波テレビ放送以外のテレビ放送(ケーブルテレビ会社のテレビ放送中継サービス)」では、地上波データ放送の対応を行っていない場合があり、地上波データ放送が受信できなかったり、アプリケーションが正常に動作しなかったりすることがあります。

☹️ ➡️ 😊 ビットキャストブラウザ以外に、他のアプリケーションが動作していませんか？

ビットキャストブラウザ以外に他のアプリケーションが動作していると、パソコンの処理量が大きくなり、地上波データ放送を正常に受信できなくなることがあります。ビットキャストブラウザを使用するときは、できるだけ他のアプリケーションを使用しないようにしてください。

### ✔️ チェック!!

同時に受信できる放送局は1局のみです。データ放送の種別ごとに別々の放送局を受信することはできません。

### ✔️ チェック!!

電波が弱い場所で使用する場合は、ブースターを使用してください。また、ゴーストが多い場所で使用する場合は、ゴーストキャンセラーが必要です。ブースター、ゴーストキャンセラーの取り付けについては、お近くの電器店などにご相談ください。

### ✔️ チェック!!

ケーブルテレビをご利用の場合は、ビットキャスト放送、ADAMS放送および文字放送等のデータ放送が受信可能かどうか、ご利用のケーブルテレビ会社へお問い合わせください。

### ✔️ チェック!!

パソコンの起動時にウイルススキャンを常駐させてシステムスキャンを行うように設定していると、ビットキャストブラウザが正しく起動しない場合があります。この場合は、システムスキャンを行わないように設定してください。また、他のアプリケーションの動作中には、ビットキャストブラウザを起動しないようにしてください。

## 「キャッシュコントロール」の内容が更新されない。画面下の「ビットマークウィンドウ」に出てくるはずの「ビットマーク」がいくら待っても表示されない

「地上波データ放送が受信できない、または、データの取りこぼしが生じる（p.152）と同様の原因が考えられます。詳しくはそちらをご覧ください。

## テレビは表示されるが、ビットキャスト放送が受信できない

☹️➡️😊 動画キャプチャを行っていませんか？

動画キャプチャ実行中は、ビットキャスト放送を受信できません。ビットキャスト放送を受信するときは、動画キャプチャの使用を避けるようにしてください。

動画キャプチャを行ってなくても、ビットキャスト放送が受信できない場合は、「地上波データ放送が受信できない、または、データの取りこぼしが生じる（p.152）と同様の原因が考えられます。詳しくはそちらをご覧ください。

## 受信したビットキャスト放送（Webページ）が自動的に表示されない

☹️➡️😊 受信モードは「AUTO」になっていますか？

ビットキャストバーのオートモード切り替えボタンをクリックし、オートモードにしてください。マニュアルモードでは自動的に表示されません。詳しくは、ビットキャストブラウザのオンラインマニュアルをご覧ください。

## 「ビットキャストブラウザ」に表示されているリンクから、インターネット上のWebページにアクセスできない

☹️➡️😊 ダイアルアップ接続の設定は正しく行われていますか？

インターネットエクスプローラを起動し、正しくインターネットのWebページへアクセスできることを確認してください。できない場合は、📞「サポートセンタ」「困ったときのQ&A」「インターネットトラブルシューティング」をご覧ください。

## キャッシュやアーカイブを他のドライブやフォルダに移動したい

ビットキャストブラウザは、購入時にはキャッシュを「C:¥Windows¥Bitcache」というフォルダに、アーカイブを「C:¥Windows¥Archive」というフォルダに格納するように設定されています。

これらのフォルダを別のフォルダに変更したい場合は、ビットキャストローダーを終了させた後、「スタート」「プログラム」「地上波データ放送」「bitcast ビットキャッシュユーティリティ」をクリックしてビットキャッシュユーティリティを起動し、それぞれのデータを移動してください。詳しくは、ビットキャストブラウザのオンラインマニュアルの「ビットキャッシュユーティリティ」をご覧ください。



また、アーカイブを格納するフォルダは、「オプション設定」「ビットキャストローダの設定」の「キャッシュ」タブで指定して変更することもできますが、この場合は変更前のフォルダに格納されているアーカイブが、新しいフォルダへ移動されず、参照できなくなります。



## キャッシュやアーカイブのデータベースが大きくなってしまった



キャッシュやアーカイブの情報が記憶されているデータベースは、追加や削除を繰り返していると徐々に大きくなります。その場合は、ビットキャストローダーを終了させた後、「スタート」「プログラム」「地上波データ放送」「bitcast ビットキャッシュユーティリティ」をクリックしてビットキャッシュユーティリティを起動し、最適化を行ってください。詳しくは、ビットキャストブラウザのオンラインマニュアルの「ビットキャッシュユーティリティ」をご覧ください。



## 「ADAMS」の内容が更新されない

 ➔  プリインストールコンテンツが表示されていませんか？  
インターネットエクスプローラのアドレスに「...¥ADAMS-P¥preinst¥INDEX.HTM」と表示されている場合は、出荷時にハードディスク内に収められたサンプルページが表示されています。インターネットエクスプローラを終了させ、しばらく時間をおいてADAMSナビの更新状況を確認してから、ADAMSナビの「ADAMS」ボタンをクリックしてください。

 ➔  ADAMSナビの更新情報が新しくなっていますか？  
ADAMS放送を受信すると、ADAMSナビの更新状況が表示されます。すべてのコンテンツの更新状況が100%になった時点でADAMSボタンをクリックすると、インターネットエクスプローラが起動し、受信した最新情報が表示されます。

 ➔  ADAMS放送を行っている放送局にチャンネルが合っていますか？  
ADAMS放送を行っている放送局にチャンネルが合っていないと、ADAMS放送は受信されません。ADAMS放送を行っている放送局にチャンネルを合わせてください。  
ADAMSナビを起動し、ADAMSインジケータがアニメーションで表示されている場合、正しくADAMS放送を受信しています。

**スタンバイ状態にしようとする、「デバイスドライバかプログラムが原因で、待機モードに入れません。すべてのプログラムを終了してから、もう一度やり直してください。」と表示された**

次の場合はスタンバイ状態にはできません。

- ・ SmartVision/TV、ビットキャストブラウザ、ADAMSナビ、モジモジ-NXを起動中。
- ・ ビットキャストローダーが起動していて、テレビ番組表を受信しているときなど。

上記のメッセージが表示されたら「OK」をクリックして操作を継続してください。

 参照

更新情報 ADAMSナビのオンラインヘルプ「更新情報一覧」

 参照

ADAMS放送を受信できる放送局PART6の「ADAMS放送を受信できる放送局について」(p.132)  
ADAMS放送を行っている放送局にチャンネルを合わせるには PART6の「チャンネルを合わせる」(p.132)  
チャンネルの設定 PART1の「受信チャンネルの設定をする」(p.16)

# 付 録

本体の各部の名称

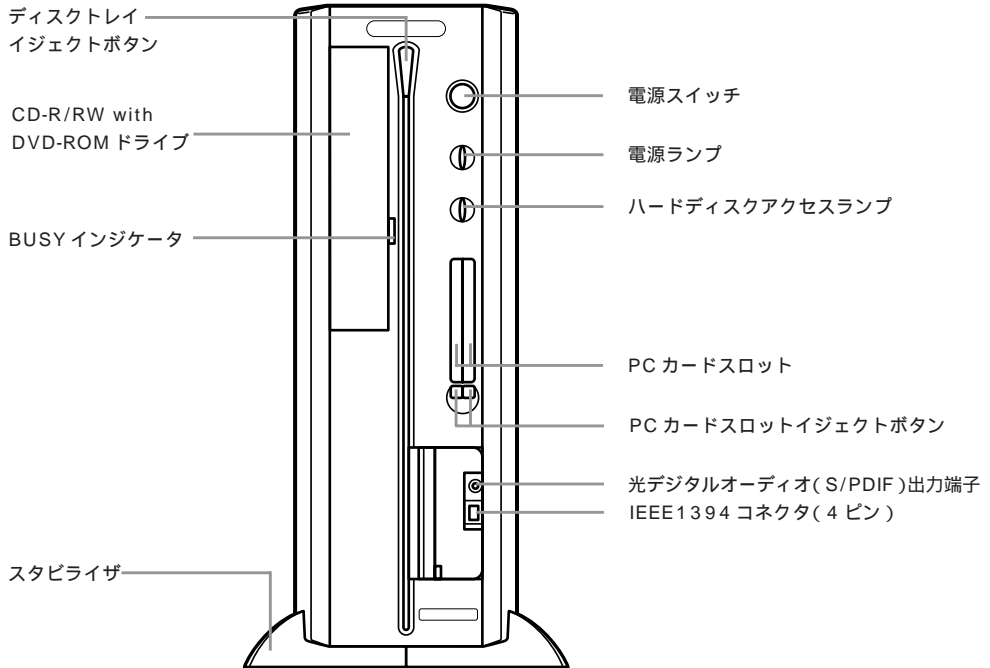
機能仕様

このパソコンが使用しているリソース

# 本体の各部の名称

本体の各部の名称とその役割について説明しています。

## 本体前面



### 電源スイッチ(🔌)

電源を入れるスイッチ。電源を切るときは、Windows 98 の「スタート」メニューで「Windows の終了」をクリックして「電源を切れる状態にする」を選んで「OK」をクリックします。電源を切る / 入れる操作はコンピュータに負担をかけるので、少なくとも5秒以上の間隔をあけてください。

### ✔️チェック!!

ソフトウェアが明らかに停止している状態になった場合は、電源スイッチを約4秒以上押し続けることで、強制的に電源を切ることができます。なお、この場合、作成中のデータなどは消えてしまいますので、正しい方法で操作してください。

停電や、電源ケーブルを抜いているために本体に電源が供給されていないときは、電源スイッチを押しても電源を入れることはできません。

### 電源ランプ(🟢)

電源の入/切状態を表示するランプ。電源を入れると緑色に、スタンバイ状態ではオレンジ色に点灯します。

### ハードディスクアクセスランプ(🟡)

ハードディスクの動作中に点灯するランプ。

### ✔️チェック!!


点灯中は電源スイッチを押さないでください。ハードディスクの内容が壊れることがあります。


### PC カードスロット(📀)

PC カードを取り付けるスロット。2 スロットあります。あらかじめ、PC カードスロットを保護するためにダミーカードがセットされています。PC カードには、メモ리카ードやモデムカード、SCSI インターフェイス対応機器とつなげるための SCSI カードなどいろいろな種類があります。

**PC カードスロットイジェクトボタン**

PC カードを PC カードスロットから取り出すときに使うボタン。

光デジタルオーディオ (S/PDIF) 出力端子 (  )  
MD デッキや AV アンプなどデジタル入力機能を持ったオーディオ機器を接続する端子。ただし、プラグ形状によっては使用できないものがありますので、ケーブルは、よくお確かめの上、ご購入ください。

**IEEE1394 コネクタ (4 ピン) (  )**

IEEE1394 対応機器 (4 ピン) を接続するためのコネクタ。

**ディスクトレイイジェクトボタン (  )**


ディスクをセットするディスクトレイを出し入れするためのボタン。

**CD-R/RW with DVD-ROM ドライブ**

DVD-ROM や CD-ROM、音楽 CD を入れるところ。また CD-R、CD-RW メディアにデータを記録するところ。

**BUSY インジケータ**


CD-R/RW with DVD-ROM ドライブからデータを読み出しているときに点灯します。

** チェック!!**

点灯中は電源を切ったり、CD-ROM などを取り出したりしないでください。故障の原因となります。

**スタビライザ**

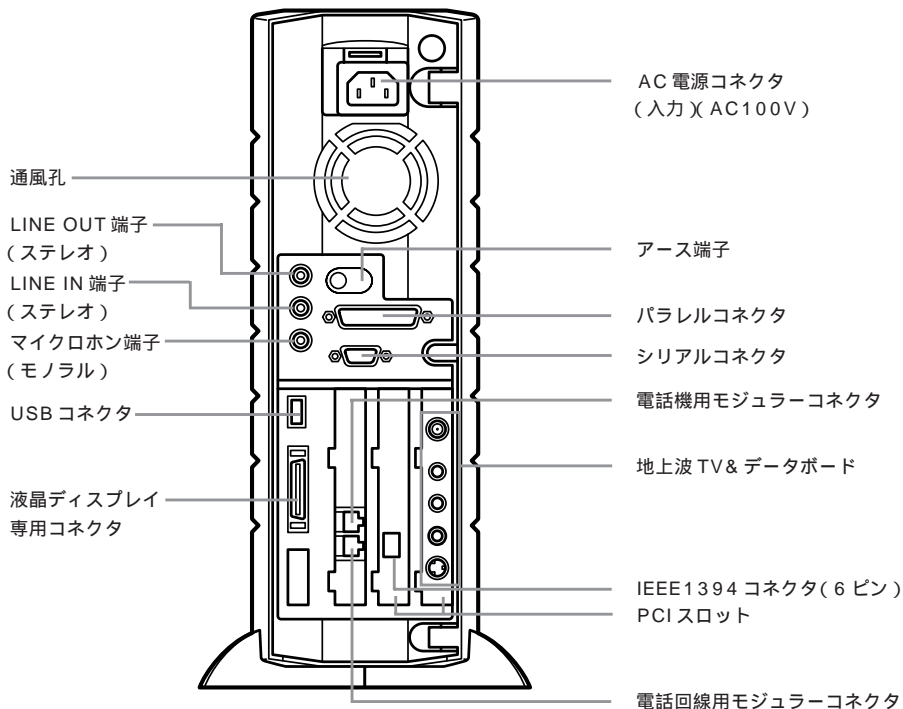
本体を安定して設置するための脚。

** チェック!!**

スタビライザは必ず付属のネジで本体に固定してください。また、本体を横置きにする場合は、ネジとスタビライザをなくさないよう大切に保管してください。

## 本体背面

各アイコンの向きは、下の説明と異なることがあります。



AC 電源コネクタ (入力) (AC100V)  
ACコンセントから本体に電源を供給するためのコネクタ。添付の電源ケーブルを接続します。  
本体添付の電源ケーブルは、ACコンセント側が普通の2ピン、本体側が特殊な3ピンになっています。

アース端子 (⏚)  
アース線を接続するための端子。

パラレルコネクタ (☰)  
プリンタなどを接続するためのコネクタ。

### ✓チェック!!

PC-9800シリーズ用のプリンタケーブルを接続する場合は、別売のプリンタインタフェース変換アダプタ (PK-CA101) が必要です。PK-CA101は、別売のRS-232C変換アダプタ (PK-CA102) と同時に取り付けることはできません。

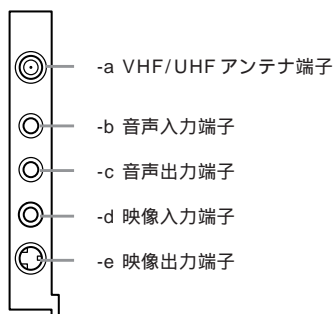
シリアルコネクタ (Ⓜ)  
周辺機器を接続するためのコネクタ。  
通信を行うときに必要な通信機器や、イメージスキャナなどの周辺機器を接続します。

### ✓チェック!!

- ・PC-9800シリーズ用の機器を接続する場合は、別売のRS-232C変換アダプタ (PK-CA102) が必要です。PK-CA102は別売のプリンタインタフェース変換アダプタ (PK-CA101) と同時に取り付けることはできません。
- ・周辺機器によっては、変換アダプタを使用すると動作しないことがあります。

電話機用モジュラーコネクタ (☎)  
電話機を接続するためのコネクタ。

地上波 TV & データボード



-a VHF/UHF アンテナ端子( Y VHF/UHF )  
テレビ放送を受信するためのアンテナ端子。VHF  
と UHF の共用端子です。

-b 音声入力端子( ( ( ) ) )  
テレビやビデオの音声を入力するための端子。

### ✓チェック!!

・音声入力端子にビデオなどを接続した場合に、ピットキャストローダー - が起動していない状態では、スピーカから音声が出力されることがあります。この場合は、ビデオなどの電源を切るか、音声入力端子から外してください。

・ピットキャストローダー( p.124 )が起動していない場合は、地上波 TV & データボードの音声入力端子は、本体の音声入力端子として扱えます。外部機器から本機に音声を入力する必要がある場合は、地上波 TV & データボードの音声入力端子に接続してください。

-c 音声出力端子( ( ( ) ) )  
VHF/UHF アンテナ端子、または音声入力端子に入力された音声を出力する端子。LINE ケーブルで、本体の LINE IN 端子と接続します。

-d 映像入力端子( ( ) )  
テレビやビデオの映像を入力するための端子。

-e 映像出力端子( ( ) )  
このパソコンからテレビに映像を出力するための端子。

### ✓チェック!!

S 映像入力端子のある AV 機器に接続してください。また、添付の「VIDEO 変換ケーブル」を使えば、RCA 端子のある AV 機器にも接続できます。詳しくは、『もっと知りたいパソコン』PART1 の「AV 機器を接続する」をご覧ください。

IEEE1394 コネクタ( 6 ピン )  
IEEE1394 対応機器( 6 ピン )を接続するためのコネクタ。

PCI スロット  
本機の機能を強化したり拡張したりするための各種ボードを、挿入するためのスロット。高速なデータ転送ができる PCI バスに対応。  
このパソコンの PCI スロットには、PCI ボードの増設はできません。  
地上波 TV & データボードと、IEEE1394 ボードが標準で取り付けられています。

電話回線用モジュラーコネクタ( ( ) )  
電話回線を接続するためのコネクタ。

通風孔  
本体内部の熱を逃がすための孔です。壁などでふさがないように注意してください。

LINE OUT 端子( ステレオ )( ( ( ) ) )  
添付の外付けスピーカや市販のオーディオ機器などに、音声信号( ステレオ )を出力するためのミニジャック端子。

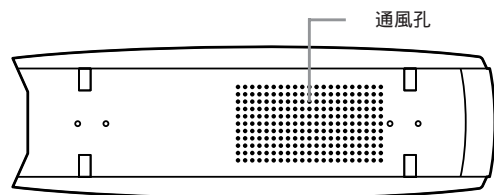
LINE IN 端子( ステレオ )( ( ( ) ) )  
市販のオーディオ機器などから、音声信号( ステレオ )を本体に入力するためのミニジャック端子。

マイクロホン端子( モノラル )( ( ) )  
マイクロホンを接続するためのミニジャック端子。

USB コネクタ( ( ) )  
USB 対応機器を接続するためのコネクタ。  
Windows 98、Windows 2000 でのみ使用可能。  
USB コネクタに接続する周辺機器がこのパソコンで使用できるかどうかは、周辺機器の製造元または発売元にご確認ください。

液晶ディスプレイ専用コネクタ( LCD )  
セットの液晶ディスプレイを接続するためのコネクタです。セットの液晶ディスプレイ以外は接続できません。

## 本体底面



通風孔  
本体内部の熱を逃がすための孔。  
底面にスタビライザを取り付けることで、通風孔をふさがない状態になります。

### ✓チェック!!

パソコン本体を横置きにする場合は、通風孔をふさがないようにしてください。

# 機能仕様

VT667J/3FD3、VT667J/3FD4

モデル		VT667J/3FD3	VT667J/3FD4
CPU		Pentium® プロセッサ (667MHz) キャッシュメモリ32Kバイト セカンドキャッシュメモリ256Kバイト (CPUに内蔵)	
メモリ	BIOS ROM	512Kバイト、プラグ&プレイ対応	
	メインRAM	128Mバイト 2 *ユーザーズメモリ127.6Mバイト	
	RAM 1	DIMMSロット×2 (うち1スロットに128Mバイトメモリを取り付け済) 最大256Mバイト	
	ディスプレイキャッシュ	4Mバイト (SDRAM)	
表示機能	ビデオRAM	8~11Mバイト 2	
	グラフィックアクセラレータ	Intel®810E Chipset内蔵	
	グラフィック表示	640×480ドット 800×600ドット 1,024×768ドット	16色/256色/65,536色/1,677万色 3 256色/65,536色/1,677万色 3 256色/65,536色/1,677万色 3
入力装置	キーボード	ワイヤレス接続、JIS標準配列 (英数、かな) 109キーレイアウト準拠、電源ボタン、ワンタッチスタートボタン、CD/DVDプレーヤボタン、テンキー・12ファンクションキー付き	
	マウス	ワイヤレス接続、スクロール機能付きマウス	
映像関係機能	TVチューナー	音声多重対応 受信チャンネル: VHF(1~12ch)、UHF(13~62ch)	
	データ放送受信	地上波データ放送 (Bitcast、ADAMS)、文字多重放送	
	映像合成表示機能	DirectShow™により任意サイズで合成表示可能 (全画面表示可能) ただし、ビットキャストブラウザ使用時は240×180ドット以上 (縦横比3:4固定)	
	テレビ録画機能	MPEG2 (高画質モード: 640×480ドット、7Mbps/標準画質モード: 320×480ドット、6.2Mbps)、MPEG1 (2Mbps) で録画可能 最長録画時間 (標準画質モード): 約8時間30分 4 6 最長録画時間 (標準画質モード): 約12時間 5 6	
	ビデオ出力機能	TV等のビデオ入力を持つ機器へパソコン画面 (DVD映像) の出力可能 7	
補助記憶装置	ハードディスク 8	約30Gバイト 9	約40Gバイト 10
		Microsoft Windows 98 Second Editionをインストール済	
	CD-R/RW with DVD-ROM	CD-R/RW with DVD-ROM内蔵 読み込み: 最大4倍速 (DVD-ROM) 最大24倍速 (CD-ROM) 書き込み: 最大4倍速 (CD-R) 最大4倍速 (CD-RW)	
	5型ベイ	1スロット (CD-R/RW with DVD-ROMで1スロット占有済) [空きスロット0]	
	内蔵3.5型ベイ		1スロット (ハードディスクで1スロット占有済) [空きスロット0]
拡張スロット	PCIスロット	2スロット (地上波TV&データボード、IEEE1394ボードで占有済) [空きスロット0]	
	PCカードスロット	TYPE ×2スロット (TYPE ×1も可) PC Card Standard準拠 Card Bus対応	
サウンド機能	サウンドチップ	Creative社製 EV1938	
	音源	PCM録音再生機能: ステレオ、量子化8ビット/16ビット、サンプリングレート4~48KHz、全二重対応 (モノラル、量子化8ビット時)、ウエーブテーブルシンセサイザ 一機能搭載 (GM演奏モード対応)、最大同時発音数64音、Downloadable Sound (DLS) Level-1対応	
	サラウンド	エンハンスステレオ対応	
11	スピーカ	ディスプレイに内蔵、ステレオスピーカ添付	ディスプレイに内蔵、サラウンドスピーカシステム (5.1チャンネル対応) 添付
通信機能	データ通信	最大送信33.6Kbps / 最大受信56Kbps、V.90、K56flex、V.34、V.32bis、V.32、V.22bis、V.22、V.21 エラー訂正V.42/MNP4、データ圧縮V.42bis/MNP5	
	FAX通信	最大14.4Kbps (V.17)、FAX制御 CLASS 1	

## VT667J/3FD3、VT667J/3FD4

モデル		VT667J/3FD3	VT667J/3FD4
インターフェイス	ディスプレイ	液晶ディスプレイ専用(専用30ピン) 12	
	オーディオ	入力	マイク入力(モノラル) 入力インピーダンス 10K 入力レベル最大100mVrms ゲイン20dB ライン入力(ステレオ) 入力インピーダンス 10K 入力レベル最大2Vrms ゲイン・6dB 本体に1ポート、地上波TV&データボードに1ポート
		出力	ライン出力(ステレオ) 出力レベル最大1Vrms(負荷インピーダンス47k) 本体に1ポート、地上波TV&データボードに1ポート、光デジタルオーディオ出力(S/PDIF)
	映像関連	アンテナ入力(U/V混合、75、同軸F型)、ビデオ入力(コンポジット)、ビデオ出力(TV-OUT端子、S-ビデオ/コンポジット共用、ミニDIN7ピン)	
	プリンタ	パラレルインターフェイス(D-Sub25ピン)	
	シリアル	最大115,200bps(D-Sub 9ピン)	
	USB 13	本体	1ポート内蔵
	ディスプレイ	2ポート内蔵	
IEEE1394	2ポート内蔵(4ピン×1、6ピン×1)		
カレンダー時計	電池によるバックアップ		
電源	AC 100V±10%、50/60Hz		
温湿度条件	10～35、20～80% 14(ただし結露しないこと)		
外形寸法	本体	106(W)×337(D)×315(H)mm(突起部除く)	
		155(W)×337(D)×325(H)mm(スタビライザ取り付け時)	
	キーボード	382(W)×179(D)×40(H)mm	
質量	本体	約7.6kg	
	キーボード	約0.9kg 15	
消費電力 16	標準構成時 約56W 内蔵オプション最大接続時 83W スタンバイモード時 約28W		

- 1 利用OSにより、使用可能なメモリ容量は異なります。
- 2 ビデオRAMは、メインRAMを使用します。表示領域として使用するのは、この一部です。
- 3 本機にセットの液晶ディスプレイでは、ディザリングにより1,619万色表示となります。
- 4 高画質モードによる最長録画時間は、約7時間30分です。
- 5 高画質モードによる最長録画時間は、約10時間40分です。
- 6 録画時間は、映像の内容によって前後する場合があります。
- 7 ビデオデッキ等への録画用途には使用できません。また、ビデオデッキ経由でのテレビ出力はできません。
- 8 ハードディスクの容量は、1Gバイトを10億バイトで計算した場合の数値です。OSから認識できる容量は、実際の値より小さく表示されることがあります。
- 9 Windowsのシステムから認識できる容量は、約27.9Gバイトとなります。
- 10 Windowsのシステムから認識できる容量は、約37.2Gバイトとなります。
- 11 サウンド機能を利用したアプリケーションソフトのうちハードウェアを直接制御しているものは、一部使用できないものがあります。アプリケーションソフト購入に際しては、発売元に確認してください。
- 12 セットの液晶ディスプレイを接続する専用ポートです。セットの液晶ディスプレイ以外は接続できません。
- 13 Windows 98、Windows 2000でのみサポート。接続する周辺機器の使用可否については、周辺機器の製造元または発売元にご確認ください。
- 14 18～28、45～75%での使用を推奨します。
- 15 乾電池の重量は含まれていません。
- 16 セットの液晶ディスプレイの消費電力を含みます。

## セットのスピーカの機能仕様

	VT667J/3FD3
最大定格出力	3W + 3W
外形寸法	約107(W)×122(D)×210(H)mm(片側)
質量	スピーカ(右)約710g、スピーカ(左)約630g、 ACアダプタ約470g

VT667J/3FD4にセットのサラウンドスピーカシステム(5.1チャンネル対応XPK-SP500)の機能仕様については、スピーカに添付のマニュアルをご覧ください。



# このパソコンが使用しているリソース

このパソコンは、ご購入時の設定では次のようにリソースを使用しています。

## 割り込みレベル(IRQ)

IRQ	機能
0	システムタイマ
1	キーボード
2	割り込みコントローラ
3	(空)
4	シリアルポート (COM1)
5	(空)
6	(空)
7	パラレルポート
8	リアルタイムクロック
9	アクセラレータ/ACPI/IEEE1394
10	サウンド/USBインターフェイス/SMBus/ CardBus/FAXモデムボード
11	地上波TV&データボード
12	マウス
13	数値データプロセッサ
14	IDEコントローラ (プライマリ)
15	IDEコントローラ (セカンダリ)

## DMA チャンネル

DMA	機能
#0	(空)
#1	Creative SB Audio PCI 64V Legacy Device
#2	(空)
#3	(空)
#4	DMAコントローラ
#5	(空)
#6	(空)
#7	(空)

# 索 引

## 英数字

AC電源コネクタ .....	160
ADAMSインジケータ .....	134
ADAMSナビ .....	131
ADAMSナビツールバー .....	134
ADAMS放送 .....	21,131,156
ADAMS放送を受信できる放送局 .....	132
BMP .....	70
BUSYインジケータ .....	158
CD-R/RW .....	93,96
CD-R/RW with DVD-ROMドライブ ...	158
DMAチャンネル .....	164
DVDit! .....	80,88
DVDタイトル .....	80,92,94
DVDプレーヤ .....	94
EPG .....	21
F型コネクタプラグ .....	2,5,152
F型コネクタプラグ付きアンテナケーブル...	2
IEEE1394 .....	72
IEEE1394コネクタ .....	72,158,160
IRQ .....	164
JPEG .....	70
LINE IN端子 .....	160
LINE OUT端子 .....	160
LINEケーブル .....	8
MD .....	108
MPEG .....	85,86
PCIスロット .....	160
PCカードスロット .....	158
PCカードスロットイジェクトボタン .....	158
SmartGallery .....	71,94,98,103,151
SmartVision/EPG .....	21,25,49
SmartVision/TV ...	16,28,36,47,60,107
SmartVision/TVの設定 .....	38,43
TVコントロール .....	128
TVチューナー .....	162
USBコネクタ .....	160
VHF/UHFアンテナ端子 .....	160
VideoStudio .....	72,81,148,149
Video Wizard .....	73

## あ行

アーカイブ .....	155
-------------	-----

アース端子 .....	160
アンテナ線 .....	2,7
一時停止 .....	34,38,39,63
一時停止機能 .....	34
インターネット .....	122
インターネットエクスプローラ .....	133
裏番組 .....	41
映像出力端子 .....	160
映像入力端子 .....	160
液晶ディスプレイ専用コネクタ .....	160
追っかけ再生機能 .....	35
オプション設定 .....	124
音声切り替え .....	43,117
音声出力端子 .....	160
音声入力端子 .....	160
オンラインヘルプ .....	37,62
オンラインマニュアル .....	120
音量の調整 .....	13,15,143,144

## か行

外部ビデオ機器 .....	72
カウンター表示部 .....	38,63
画質 .....	43,51,52,54,148
カラー調整 .....	43,128
完了ステップ .....	85
キャッシュ .....	155
キャッシュコントロール .....	114,118
キャプチャ .....	46,66,73,146,149
キャプチャ設定 .....	68,148
切り替え .....	117
検索 .....	53,99,103
コントロールバー .....	37,38,116

## さ行

再生 .....	60,63,94,101
サムネイル .....	71,98,103
視聴予約 .....	51,52,54,58
字幕放送 .....	139,140
詳細モード .....	126
シリアルコネクタ .....	160
スタビライザ .....	158
スタンバイ状態 .....	57
ステータスバー .....	37

ステータスパネル	120
スピーカ	10,143
静止画	66,98
静止画キャプチャボタン	70
全画面表示	42,117,127
全表示	99,151
即時再生機能	35

## た行

タイムアジャスト機能	29
タイムシフトモード	35
ダイヤルアップの接続	121
ダウンロードプログレスバー	120
地上波TV&データボード	160
地上波データ放送	112,152
チャンネル	16,38
チャンネル設定	16
チャンネルバー	37
チャンネル表示パネル	117
通風孔	160,161
ディスクトレイジェクトボタン	158
デコーダ	11,13
データ放送予約	27,58
テレビコントロール	114
テレビ番組表	21,24,50
テレビ表示部	37
【テレビ】ボタン	64
テレビモード	37,62
テレビ録画機能	162
電源スイッチ	158
電源ランプ	158
電子メール	106
電話回線用モジュラーコネクタ	160
電話機用モジュラーコネクタ	160
動画	46,99,101,104
動画キャプチャの制限	46
動画の簡易再生	101
特殊再生	38,39,43,63
独立ウィンドウモード	126
トランジション効果	78
トリム	76

## な行

ナビゲーションインジケータ	120,123
入力切り替え	117

## は行

バインダーモード	62
ハードディスク	94,162
ハードディスクアクセスランプ	158
パラレルコネクタ	160
番組の詳細情報	41
番組表	21,24,50,145
光デジタルオーディオ(S/PDIF) 出力端子	158
ビットキャストインジケータ	115
ビットキャストバー	114,118
ビットキャストブラウザ	28,67,113,152
ビットキャスト放送	113
ビットキャスト放送を 受信できる放送局	116
ビットキャストローダー	17,124,132,137
ビットマーク	115,118
表示モード	126
標準モード	126
フィルタ	99
ブックマーク	38,40
ブラインド	78
ブラウザコントロール	114
ブラウザコントロールのボタン	120
プリセット	19,27
プログレスバー	38,63
プロジェクト名	74,85
ヘルプ	120
ホームページ	122
ボリュームコントロール	144,147

## ま行

マイクロホン端子	160
巻き戻し機能	34
マルチキャプチャ機能	66
ミュート(音を消す)	38,63,117,143,144
ムービーを作成	85
メディア	99,101
メール	106

文字放送 .....	136
文字放送を受信できる放送局 .....	138
モード切替ベゼル .....	37,62
モジモジ-NX .....	136

## や行

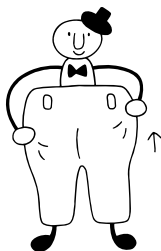
予約一覧 .....	55,58
予約実行結果 .....	58,145

## ら行

リアルタイム .....	38,39,40,63
リソース .....	164
録画 .....	40,46,49
録画時の画質 .....	43,51,52,54
録画の制限 .....	46
録画のタイトル .....	61
録画番組 .....	38,61,62
録画予約 .....	49,145

## わ行

割り込みレベル .....	164
---------------	-----




# やりたいことはスマートにはじめよう！

録画したテレビ番組やビデオカメラで撮った映像、デジタルカメラで撮った写真、それに音楽やホームページといったいろいろなデータを利用してみましょう。「SmartGallery」を使えば、マルチメディアファイルをまとめて管理でき、ひとつの入り口からスマートにはじめられます！


## 豊富な機能でデータ管理！

### カテゴリ

種類別にデータを表示したいときは  カテゴリ) をクリック！


例えば、「TV」を選べば、録画したテレビ番組が一覧表示されます。

### フィルタ

たくさんのデータの中から、目的のデータを絞り込みたいときは  (フィルタ) をクリック！

例えば、録画したテレビ番組を「ジャンル」から絞り込みます。

### 検索

キーワードでデータを見つけたいなら  検索) をクリック！

例えば、アーティスト名から音楽データを検索できます。



## 簡単操作でソフトを起動！

サムネイル(画像一覧表示)から、直接目的のソフトを起動して、ファイルを開けます。

これで、やりたいことがすぐに始められる！



録画番組を再生



動画を編集



音楽データを再生

## 参照

「SmartGallery」について詳しくは、この本のPART5の「やりたいことはスマートにはじめよう」(p.98)をご覧ください。

## チェックも楽々！動画を簡易再生

サムネイル(画像一覧表示)のまま、動画の簡易再生や音楽データの再生ができます。

これで、ファイルのチェックはOK！



ここで動画を簡易再生

# TVモデルガイド

# VALUESTAR



PC98-**NX** SERIES  
**VALUESTAR**

初版 2000年8月  
NEC  
P  
808-884670-033-A